

市民の声を施策に反映
**まちづくりネットモニター
を実施しました**



令和元年9月17日
(ネットモニターに關すること)
郡山市政策開発部広聴広報課
担当：上田 利実
TEL：924-2061
※ 調査内容については各担当まで。

SDGs Goals16 「全ての人々に説明責任のある包摂的な制度を構築する」
まちづくりネットモニター（第2～4回調査）の調査結果をお知らせします。

○調査概要（詳細は別紙のとおりです。）

・第2回(5月13日(月)～22日(水))

テーマ	開成山公園について
目的	市民の皆様が日頃から開成山公園について感じていること、望んでいることを把握し、今後の施策に活かすため
考察	来園した時に飲食しながらくつろげるような施設の設置や誰でも気軽に参加できる賑わいをもたらす多様なイベント等の開催(誘致)が期待されている。
回答者数/率	334名(男性 150名 女性 184名) 92.8%
担当	都市整備部公園緑地課 山岸 美佐子 TEL：924-2361

・第3回(5月23日(木)～6月1日(土))

テーマ	子どもの読書について
目的	本市では、「第四次郡山市子ども読書活動推進計画」の策定を予定しており、市民の皆様意見を把握し、計画に反映させるため
考察	子どもの読書活動を推進するために、図書館の様々な役割のひとつとして、幼稚園、保育所、学校との連携による読書環境の整備に対するニーズが高まっている。
回答者数/率	331名(男性 149名 女性 182名) 91.9%
担当	教育総務部中央図書館 安田 倫子 TEL：923-6601

・第4回(6月3日(月)～12日(水))

テーマ	日本遺産
目的	日本遺産に対して、市民の皆様が感じていることや今後の活用方法について、ご意見を把握するため
考察	「日本遺産制度」や「日本遺産認定」に対する認知度は前年に比べ高かった。「知ることが、日本遺産（安積疏水）に興味を持ち、郷土愛を実感する機会となっている。
回答者数/率	323名(男性 147名 女性 176名) 89.7%
担当	文化スポーツ部国際政策課 岩浪 正人 TEL：924-3711

<まちづくりネットモニター>

郡山市では、市民の皆さまの意見等をお聞きする取り組みとして、様々な機会や方法等により実施しており、その一つとして、市民モニターの方々にご協力をいただきインターネットを活用した市政アンケートを実施しています。
(モニター数：360名(男性 159名、女性 201名))
今回は、2019年度第2～4回目の調査となります。

2019年度まちづくりネットモニター第2回調査結果

テーマ「開成山公園について」

郡山市では、代表的な市民の憩いの場である開成山公園を更に利用しやすく、多くの方に来園いただくため、今後の活用方法など公園のあり方を含めた長期的な整備方針及び管理手法等について検討をすすめています。

今回のネットモニターでは、開成山公園について市民の皆様が日頃から感じていること、望んでいることを把握し、今後の施策に活かすため、アンケート調査を実施しましたので、その結果についてお知らせします。

※今回アンケートの対象としている開成山公園のエリアとは

体育施設(陸上競技場、野球場、水泳場、弓道場)を除く西側の公園エリア(五十鈴湖周辺)です。

(公園緑地課)

調査概要

- 調査期間 令和元年5月13日(月)～5月22日(水) (10日間)
- 回答方法 専用ウェブサイトから回答を送信する。
- モニター数 360名 (男性 159名 女性 201名)
- 回答者数 334名 (男性 150名 女性 184名)
- 回答率 92.8%

【分析】

回答者内訳(人)

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
男性	6	4	14	34	28	21	36	7	150
女性	4	9	47	72	37	13	2		184
合計	10	13	61	106	65	34	38	7	334

＜公園の利用頻度及び目的＞

- ・82.3%(275人)の方が年に数回以上利用している、ほとんど利用していない方が17.7%(59人)
- ・目的は花見28.4%(166人)、イベント24.1%(141人)、散歩、リフレッシュ等21.6%(126人)

＜公園の利用しやすさ・利用しにくさ＞

【利用しやすい 46.7%】

- ① 交通の便が良い、駐車場が広い、車で行きやすい
- ② 広場が広く自由に利用できる(遊べる)
- ③ 休憩する場所(ベンチ・広場・木陰)が多い

【利用しにくい 53.3%】

- ① 交通の便が悪い、周辺道路や駐車場が混んでいる車で行きにくい
- ② トイレや水道などの衛生設備の数が少ない(古い、汚い)
- ③ 魅力的な施設が少ない

＜公園に期待すること＞

- ・カフェなどくつろげる休憩施設がある47.6%(159人)、イベントで賑わう公園44.9%(150人)
- ・開催イベントは、マルシェ(市場)39.2%(131人)、フリーマーケット33.5%(112人)、食のイベント32.3%(108人)

＜市民参加の意向＞

- ・公園の企画・計画・管理に参加したい方が58.4%(195人)
- ・参加したい内容：公園の企画、計画など32.8%(64人)、イベントの企画、運営27.2%(53人)

【考察】

・開成山公園には、「花見」「イベント」「散歩・リフレッシュ等」を目的に、約8割の方が年に数回以上来園している。一方で、利用しにくいと回答した178人のうち約9割の162人が駐車場の問題や周辺道路の混雑などを理由としており、イベント時などにも対応できる駐車場の整備等が課題である。

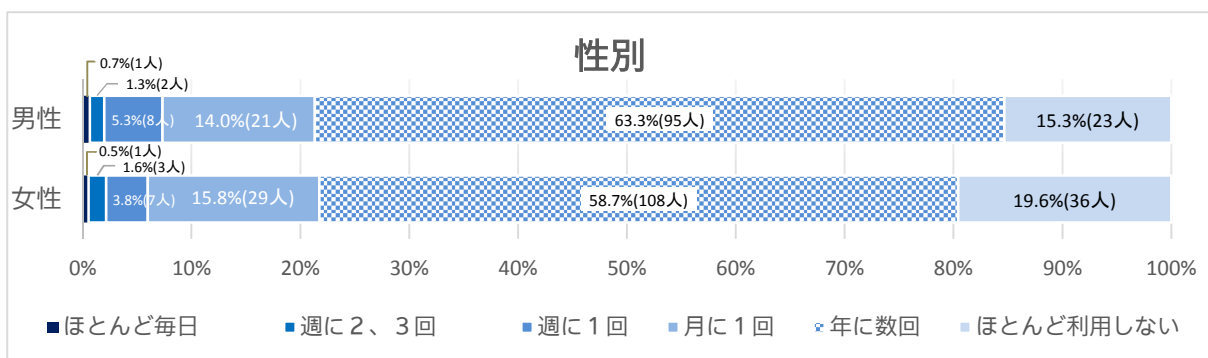
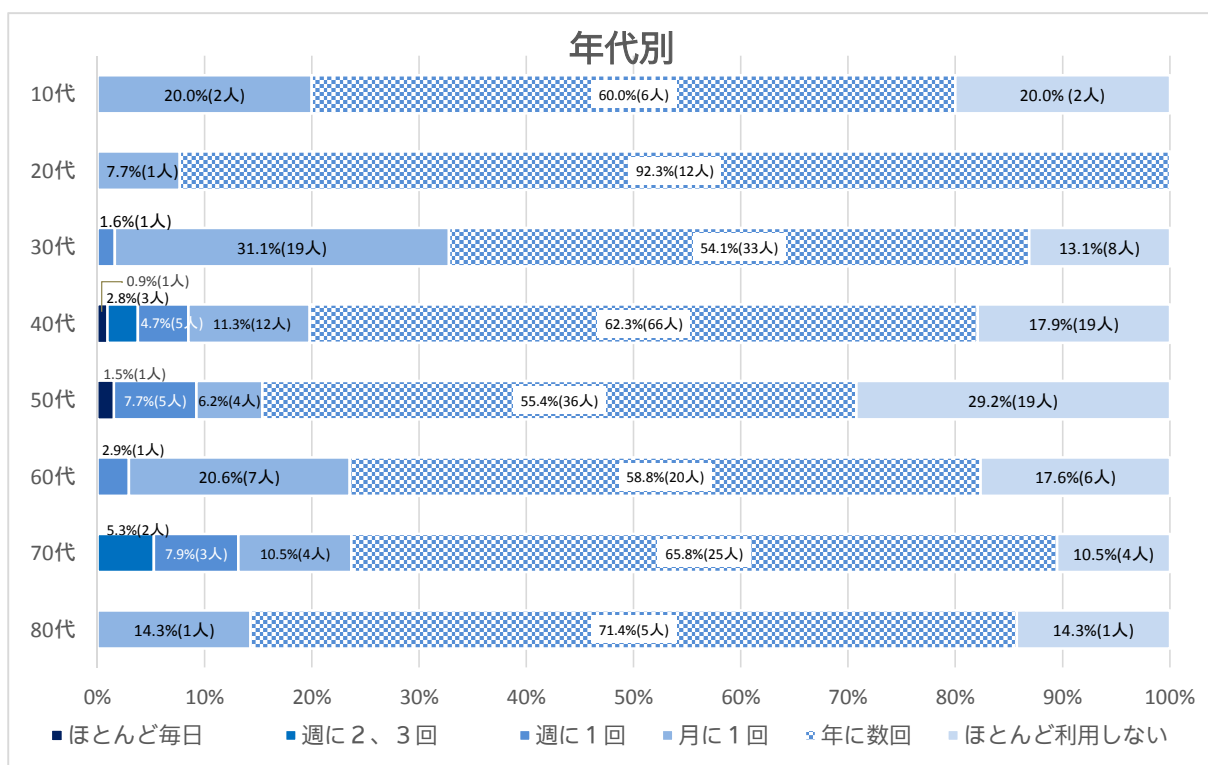
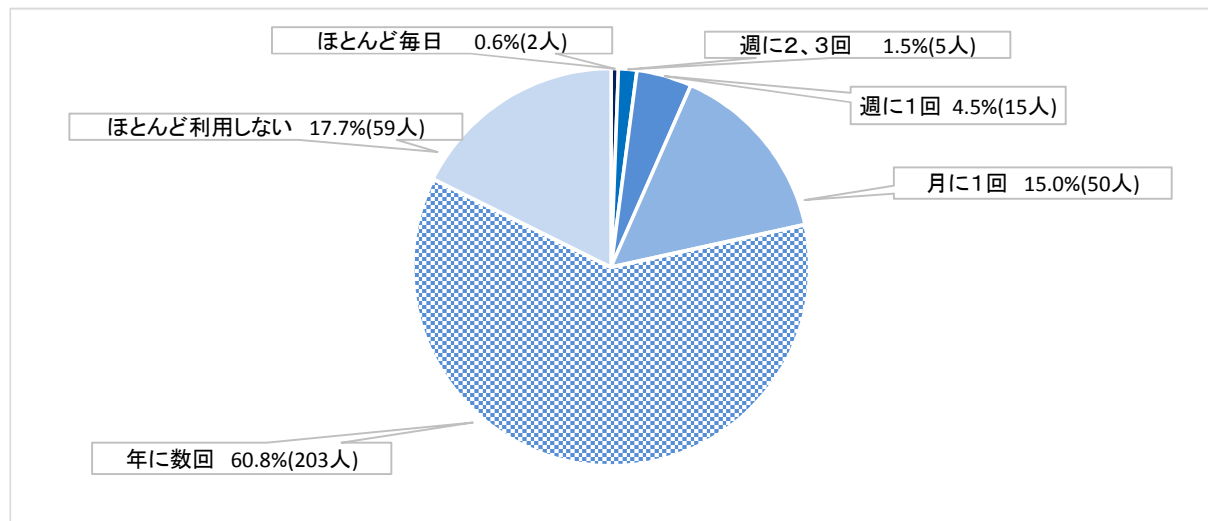
・開成山公園に期待していることについては、くつろげるカフェやレストラン、屋根付きの休憩施設の設置やマルシェ、食のイベント、大規模販売会の開催を希望する意見が多く、来園した時に飲食しながらくつろげるような施設の設置や誰でも気軽に参加できる賑わいをもたらす多様なイベント等の開催(誘致)が期待されている。

・市民参加による公園づくりには、各世代の50%以上の方が「参加したい」と回答しており、公園の計画やイベントの企画・運営に参加したいという意見が多かった。今後、公園の整備、管理、活用等に市民参加の機会をより多く設けるなど利用者である市民と共に公園の活性化を図っていく必要がある。

第1章 開成山公園の活用について

問1 開成山公園をどのくらいの頻度で利用していますか？（1つ選択）

（回答者：334人）

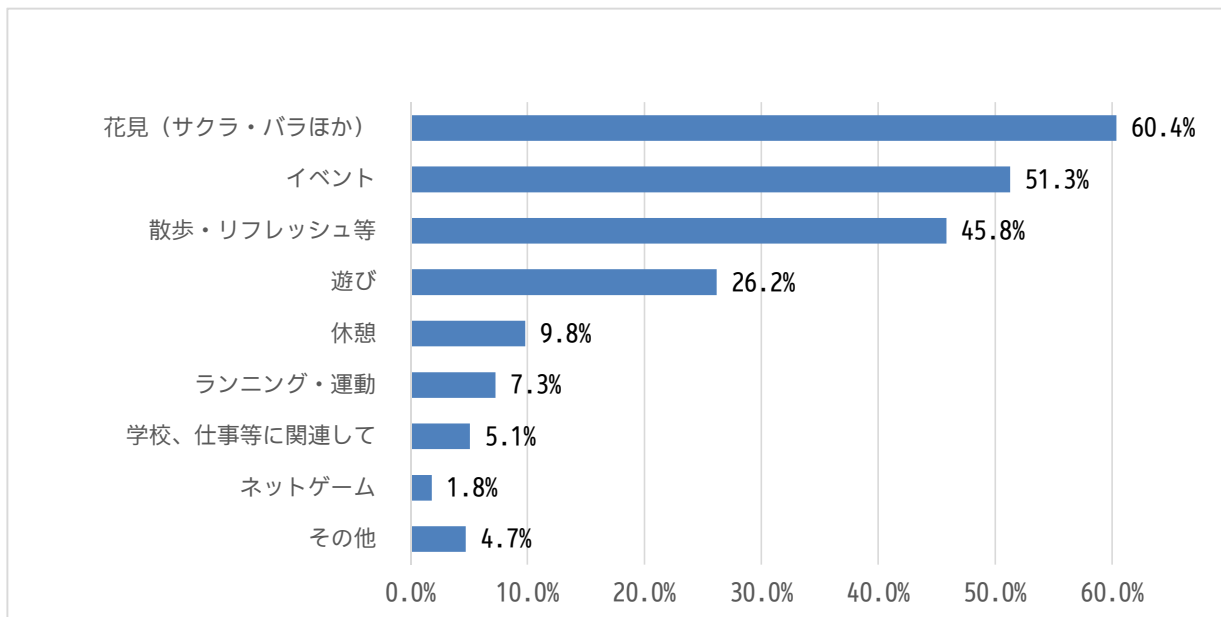


開成山公園の利用頻度について、全体の82.3%が「年に数回」から「ほとんど毎日」利用すると回答。

年代別では、すべての世代で「年に数回利用する」が最も高く、「月に1回利用する」が30代31.1%、次に60代20.6%と高い。「ほとんど利用しない」が高いのは50代で29.2%であり、次に10代で20.0%、その次に40代で17.9%となった。

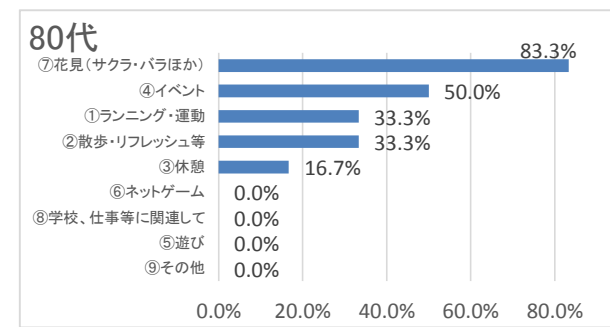
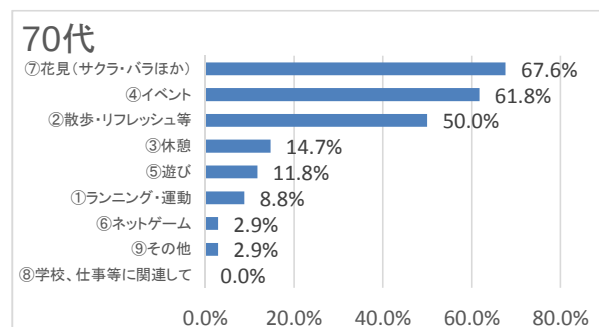
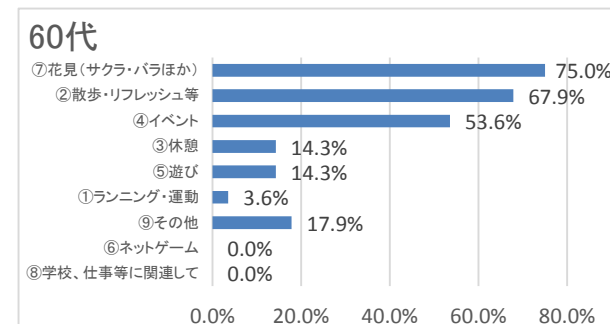
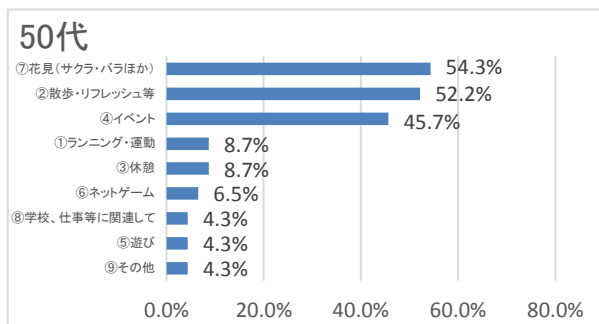
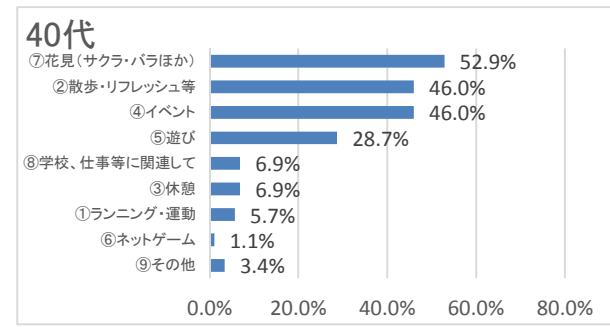
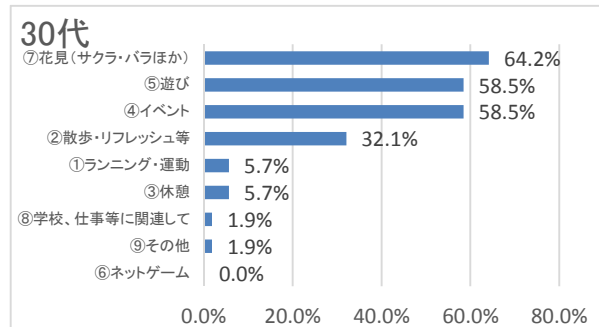
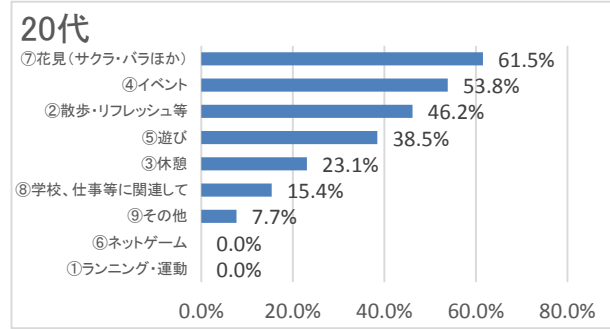
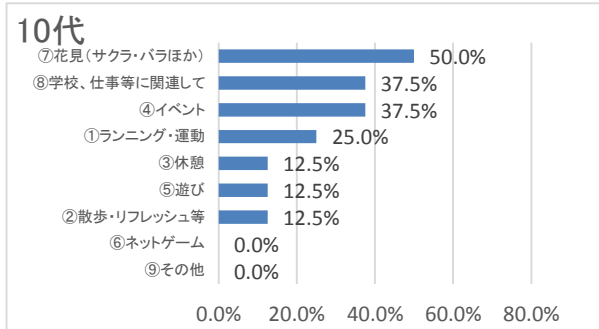
性別では、男女に若干の差はあるが、ほとんど同じ割合で利用している。

問2 問1で「ほとんど毎日」「週に2、3回」「週に1回」「月に1回」「年に数回」を選択した方にお伺いします。どのような目的で開成山公園を利用しますか？（複数選択可）
（回答者：275人）

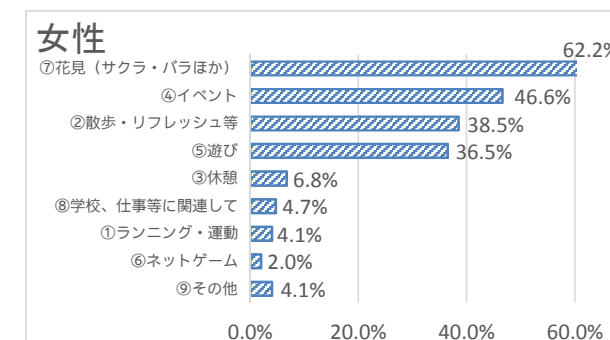
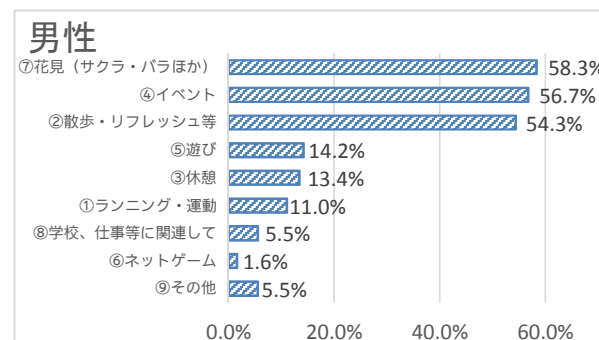


選択肢	回答数
⑦花見（サクラ・バラほか）	166
④イベント	141
②散歩・リフレッシュ等	126
⑤遊び	72
③休憩	27
①ランニング・運動	20
⑧学校、仕事等に関連して	14
⑥ネットゲーム	5
⑨その他	13

◀ 年代別 ▶



◀ 性別 ▶



※「その他」を選択した方の主な意見

- ・写真撮影
- ・野外ステージのライブ、コンサート鑑賞
- ・こどもまつり
- ・通勤の通り道
- ・広い公園で街の喧騒から逃れたい
- ・開成山大神宮初詣

利用目的としては、「花見(サクラ・バラほか)」が60.4%で最も高く、次に「イベント」が51.3%、その次に「散歩・リフレッシュ」が45.8%と回答。

年代別では、すべての世代において「花見(サクラ・バラほか)」が最も高く、次にほぼすべての世代で「イベント」の割合が高い。「ネットゲーム」は50代を除く各世代で0~2.9%と低い。「ランニング・運動」については、10代が25.0%、80代が33.3%でその他の世代に比べ割合が高い。

性別では、男性も女性も「花見」「イベント」「散歩・リフレッシュ等」が高い。「遊び」は女性が男性より22.3ポイント高く、男女差が最も大きい。

どの世代においても花見を目的に来園する方が多いことから、「開成山公園のさくら」について適正な維持保全を行い後世に残していく必要がある。

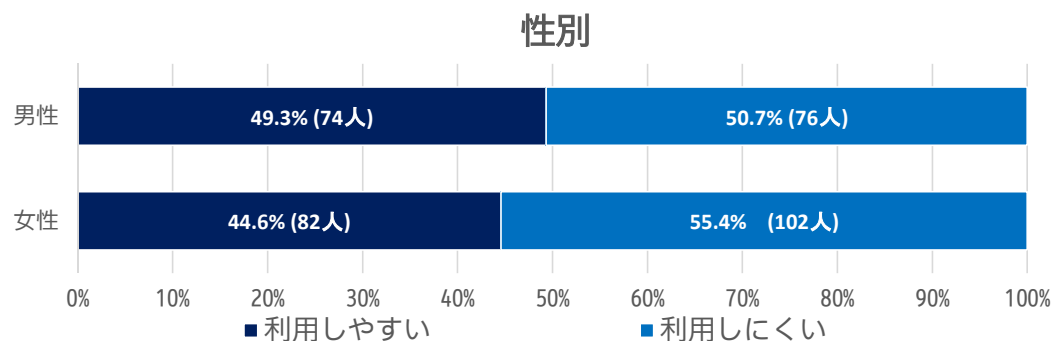
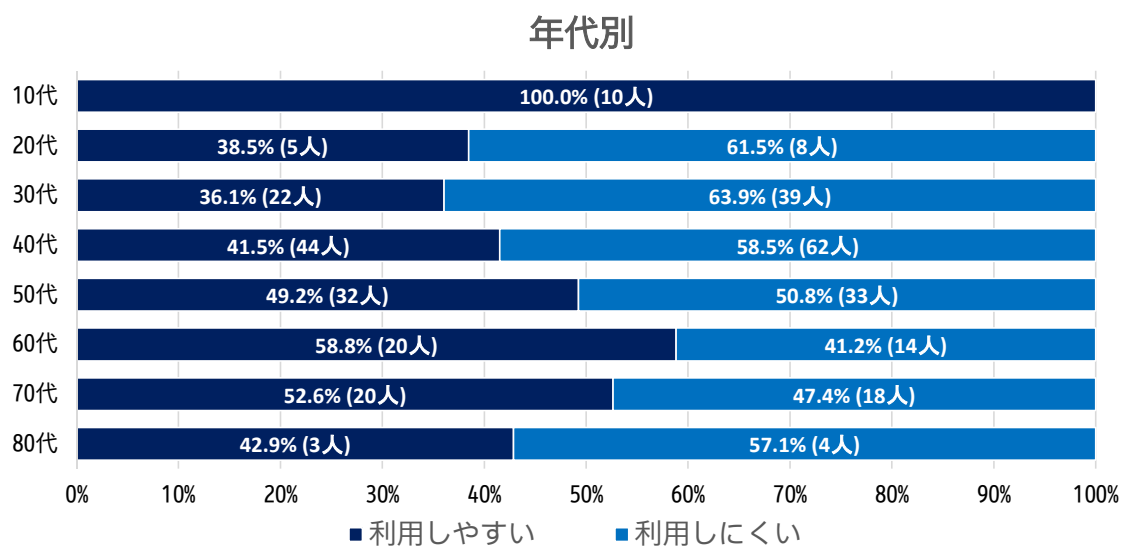
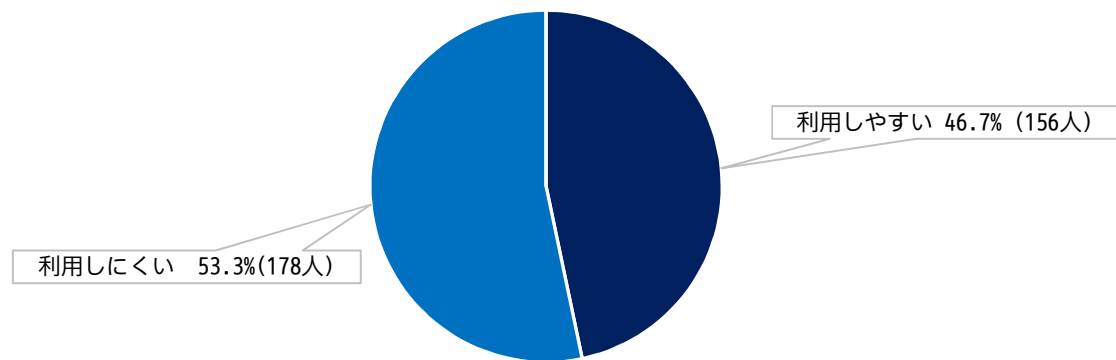
「ランニング・運動」は、市民の健康増進の観点からも身近で効果的な取り組みであるため、これらの公園利用を全世代において高められるような工夫が必要である。

また、イベントを機に来園する方も多く、どの世代も楽しめる多様なイベントを定期的に開催(誘致)し公園の活性化につなげていく必要がある。

第2章 開成山公園の施設等について（現状）

問3 現在の開成山公園はあなたにとって利用しやすいですか？（1つ選択）

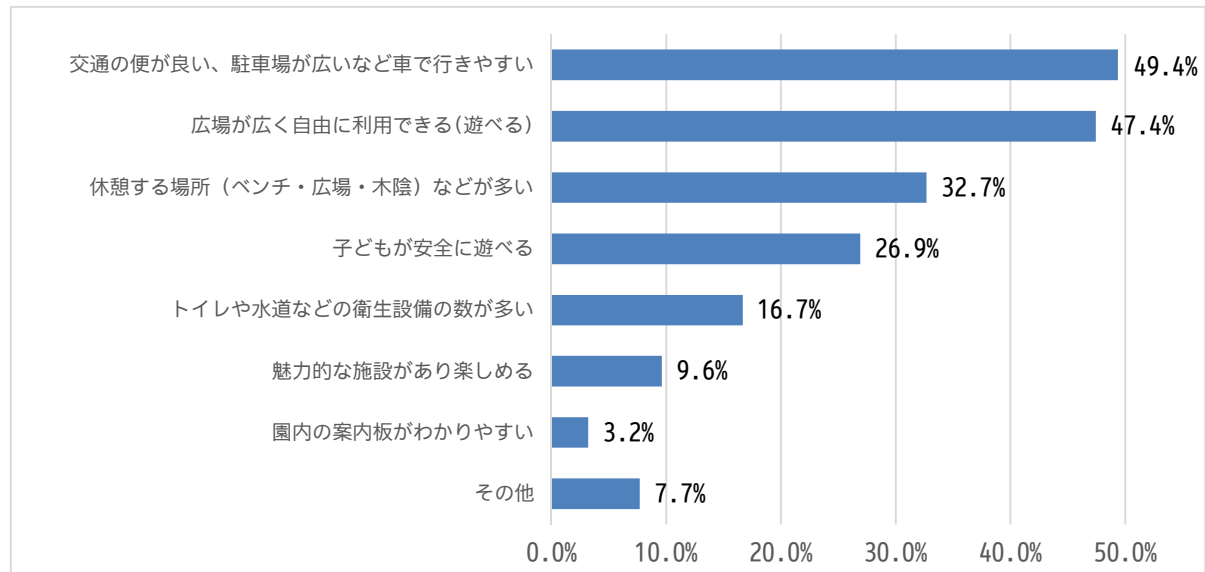
（回答者：334人）



利用しやすさについて、全体の46.7.%が「利用しやすい」と回答。
年代別では、10代が100%「利用しやすい」と回答し、30代が「利用しにくい」63.9%と最も高く、20代～40代の子育て世代が全体的に「利用しにくい」と回答する結果となった。
性別では、男性は「利用しにくい」が1.4ポイント、女性は10.8ポイント高く、女性の方が「利用しにくい」と感じている割合が高い。

**問4 問3で「利用しやすい」を選択した方にお伺いします。理由は何ですか？
(2つまで選択可)**

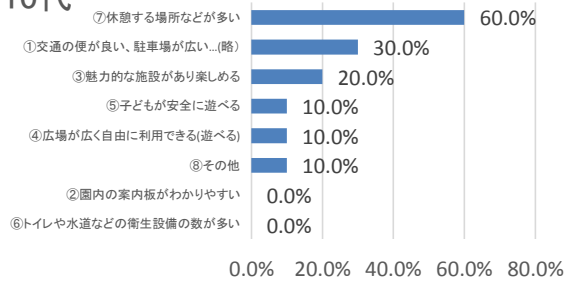
(回答者：156人)



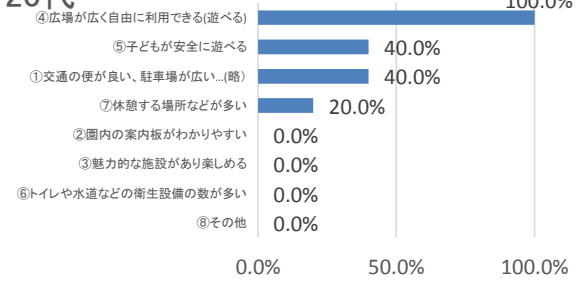
選択肢	回答数
①交通の便が良い、駐車場が広いなど車で行きやすい	77
④広場が広く自由に利用できる(遊べる)	74
⑦休憩する場所(ベンチ・広場・木陰)などが多い	51
⑤子どもが安全に遊べる	42
⑥トイレや水道などの衛生設備の数が多い	26
③魅力的な施設があり楽しめる	15
②園内の案内板がわかりやすい	5
⑧その他	12

<< 年代別 >>

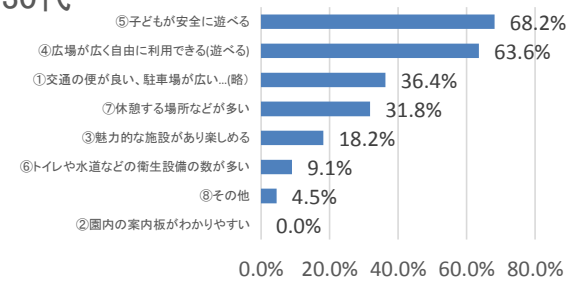
10代



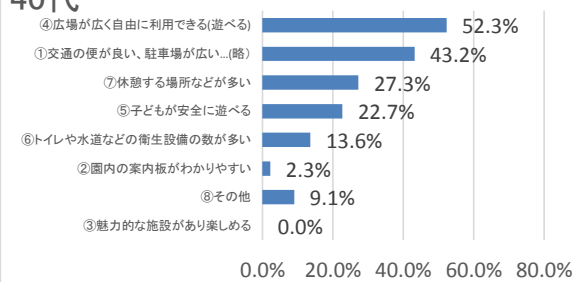
20代



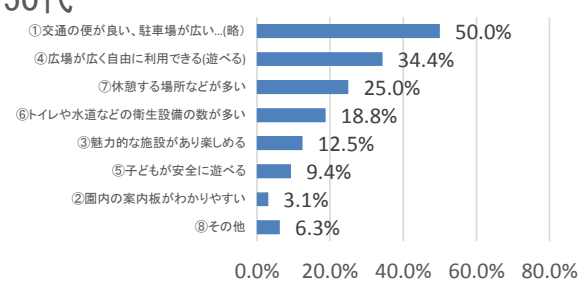
30代



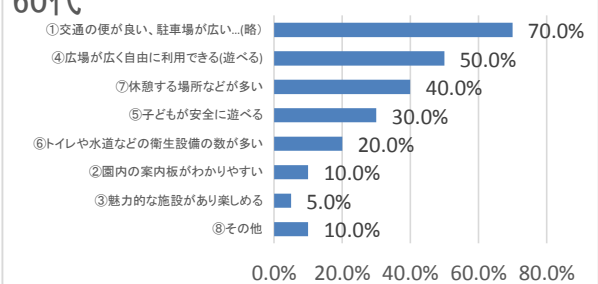
40代



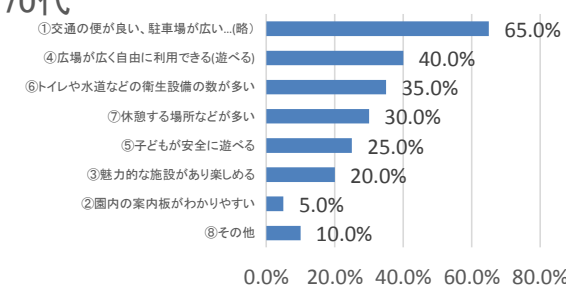
50代



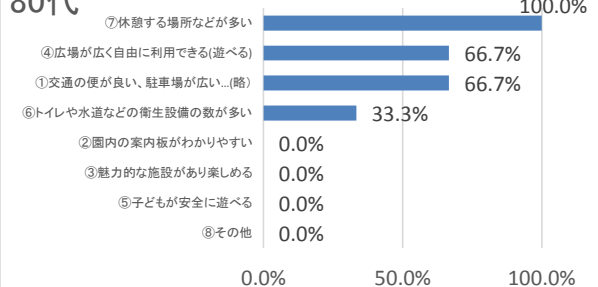
60代



70代

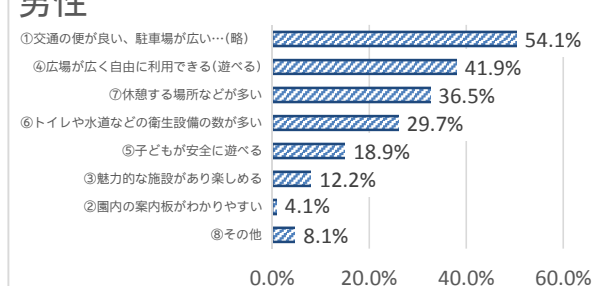


80代

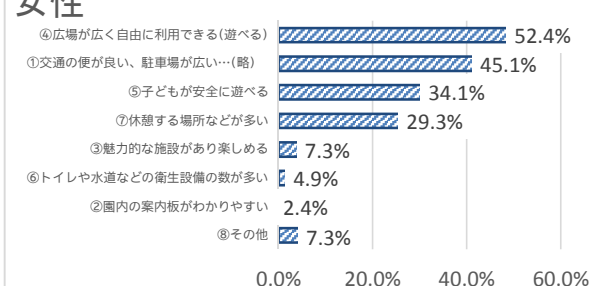


<< 性別 >>

男性



女性



※「その他」を選択した方の主な意見

- ・自宅から近い、徒歩圏内、職場が近い
- ・ロケーションが良く、癒される
- ・犬の散歩がしやすい

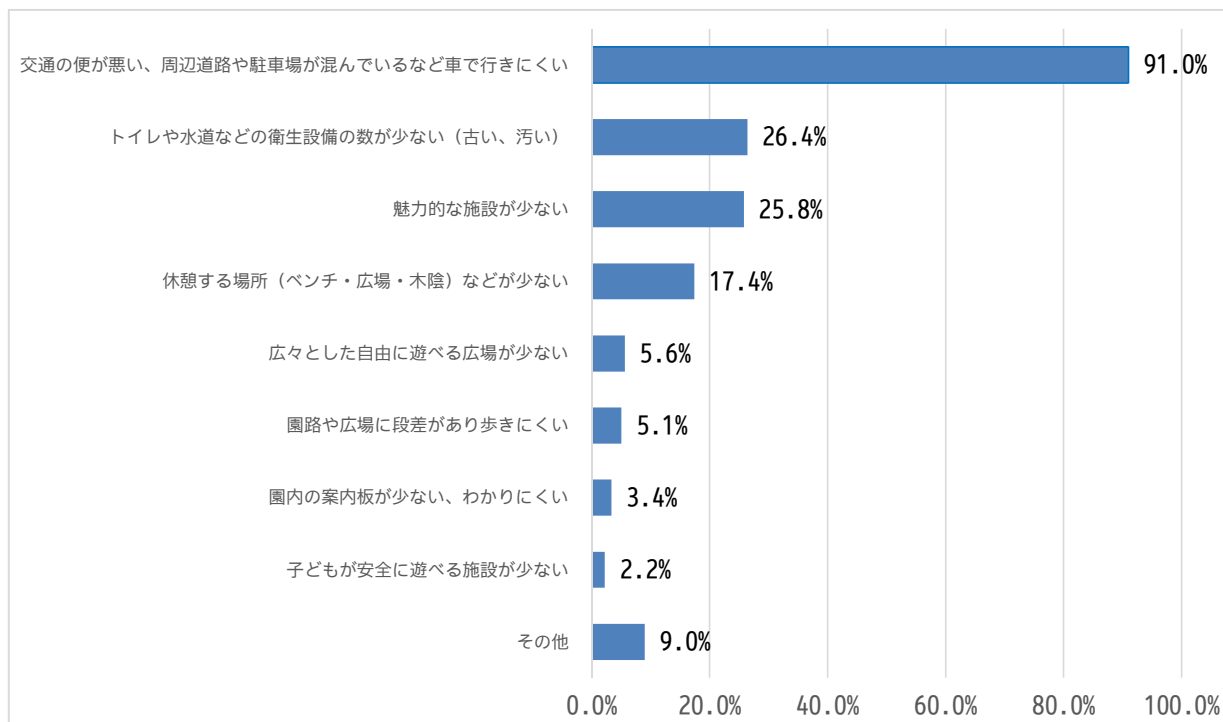
利用しやすい理由としては、「交通の便が良い、駐車場が広いなど車で行きやすい」が49.4%で最も高く、次に「広場が広く自由に利用できる(遊べる)」が47.4%、その次に「休憩する場所(ベンチ・広場・木陰)などが多い」が32.7%と回答。

年代別では、「広場が広く自由に利用できる(遊べる)」が20代100%、80代66.7%、30代63.6%と高く、次に「休憩する場所(ベンチ・広場・木陰)などが多い」が80代100%、10代60.0%と高く、その次に「交通の便が良い、駐車場が広いなど車で行きやすい」が60代70.0%、70代65.0%、80代66.7%と高い。「園内の案内板がわかりやすい」は各世代を通して0~10.0%と低く、次に「魅力的な施設があり楽しめる」が20代、40代、80代で0%、60代で5.0%と低い。

性別では、男性・女性とも「交通の便が良い、駐車場が広いなど車で行きやすい」、「広場が広く自由に利用できる(遊べる)」が高い。「トイレや水道などの衛生設備の数が多い」は男性が女性より24.8ポイント高く、「子どもが安全に遊べる」は女性が男性より15.2ポイント高く、男女差が大きい。

開成山公園の魅力の一つとして、「自由に利用できる(遊べる)広場」という回答が多かったことから、今後、整備を検討するにあたっては、誰でも利用できる多目的エリアの確保や、利用者の憩いの場、やすらぎの場となるような公園づくりを行う必要がある。

問5 問3で「利用しにくい」を選択した方にお伺いします。理由は何ですか？
(2つまで選択可) (回答者：178人)

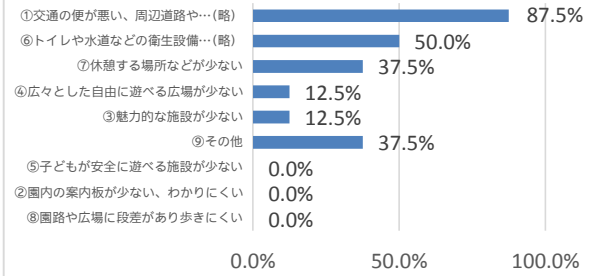


選択肢	回答数
①交通の便が悪い、周辺道路や駐車場が混んでいるなど車で行きにくい	162
⑥トイレや水道などの衛生設備の数が少ない（古い、汚い）	47
③魅力的な施設が少ない	46
⑦休憩する場所（ベンチ・広場・木陰）などが少ない	31
④広々とした自由に遊べる広場が少ない	10
⑧園路や広場に段差があり歩きにくい	9
②園内の案内板が少ない、わかりにくい	6
⑤子どもが安全に遊べる施設が少ない	4
⑨その他	16

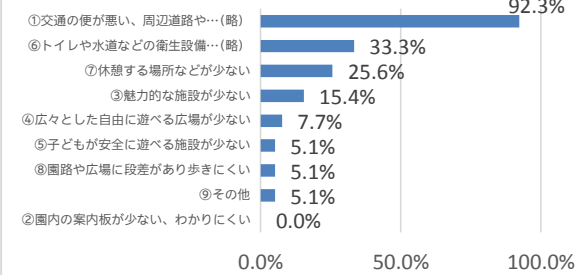
≪ 年代別 ≫

10代なし

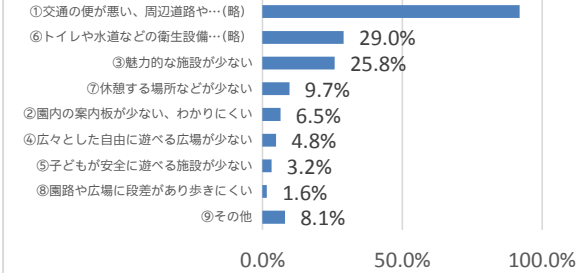
20代



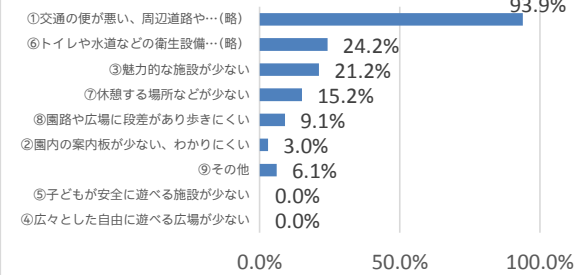
30代



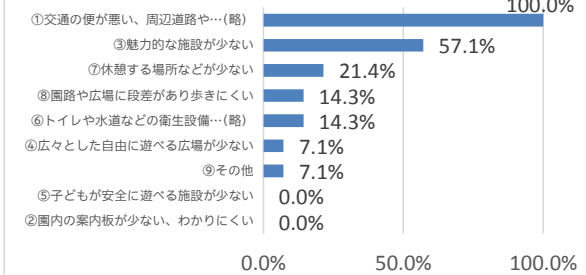
40代



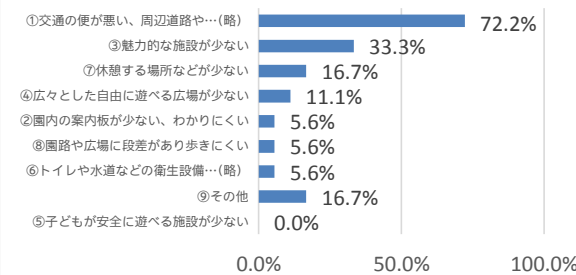
50代



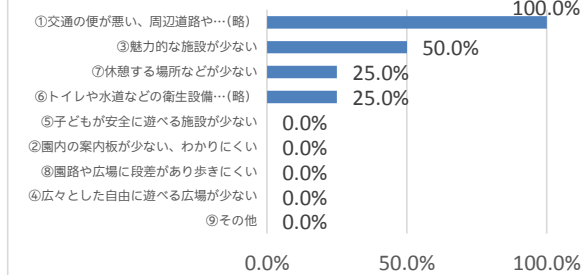
60代



70代

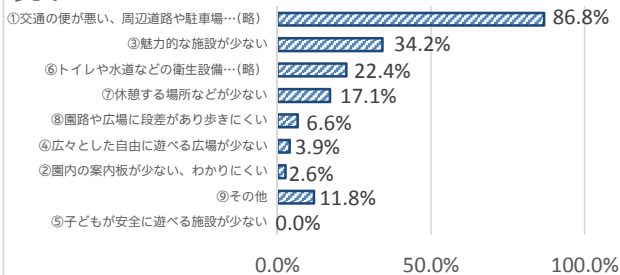


80代

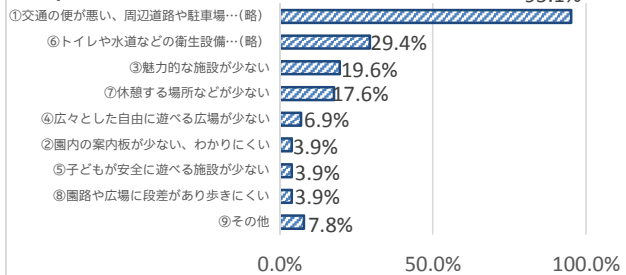


≪ 性別 ≫

男性



女性



※「その他」を選択した方の主な意見

＜＜駐車場・車の利用＞＞

- ・駐車場が少ない、わかりにくい
- ・慢性的な渋滞

＜＜トイレ＞＞

- ・きれいなトイレがない
- ・おむつ替えがしづらい
- ・トイレトペーパーが少ない

＜＜利用者に対して＞＞

- ・犬の散歩をしている

＜＜施設設置等＞＞

- ・売店がない
- ・小さな子連れには広すぎる
- ・つまらない

利用しにくい理由としては、「交通の便が悪い、周辺道路や駐車場が混んでいるなど車で行きにくい」が91.6%で最も高く、次に「トイレや水道などの衛生設備の数が少ない（古い、汚い）」が26.4%、その次に「魅力的な施設が少ない」が25.8%と回答。

年代別では、10代を除くすべての世代において「交通の便が悪い、周辺道路や駐車場が混んでいるなど車で行きにくい」が最も高く、次に60代、70代、80代で「魅力的な施設が少ない」の割合が高い。「子どもが安全に遊べる施設が少ない」は、各世代で0～5.1%と最も低く、次に「園内の案内板がわかりにくい」が20代、30代、60代、80代で0%、50代3.0%と低い。

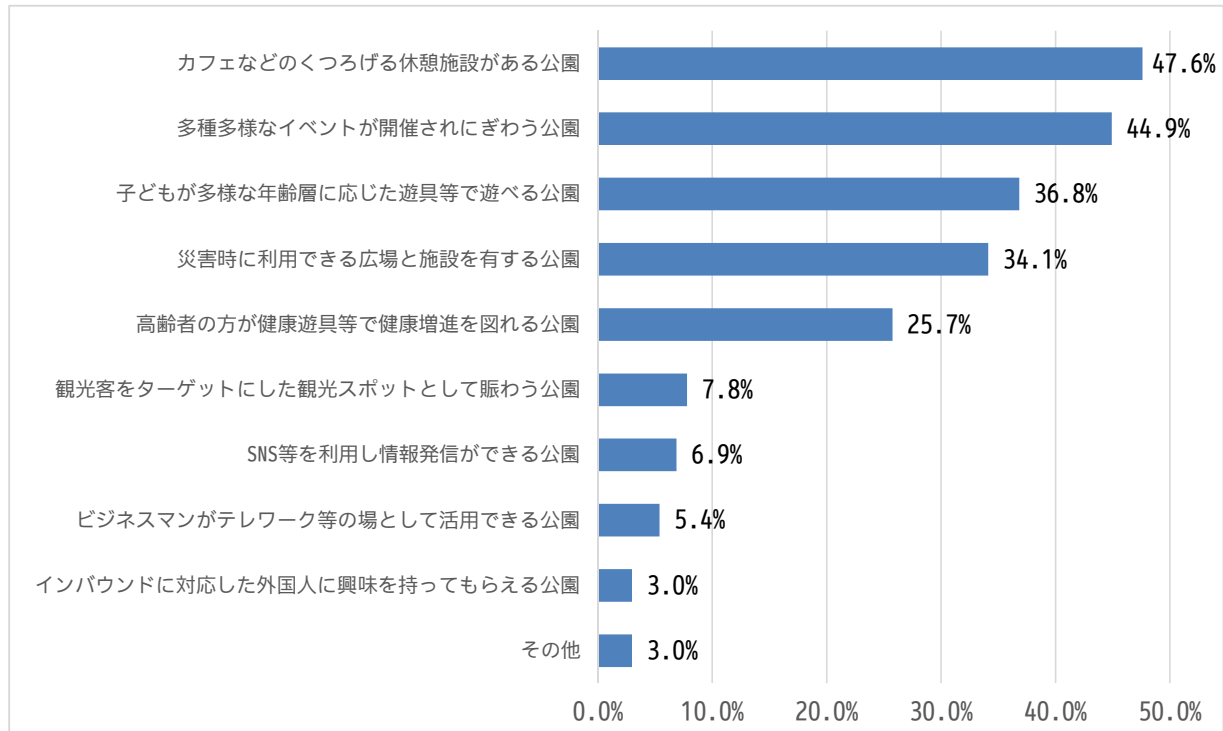
性別では、「交通の便が悪い、周辺道路や駐車場が混んでいるなど車で行きにくい」が男性86.8%、女性95.1%と最も高い。「魅力的な施設が少ない」は男性が女性より14.6ポイント高く、「トイレや水道などの衛生設備の数が少ない（古い、汚い）」は女性が男性より7.0ポイント高く、わずかであるが男女差が出ている。

回答数の91.0% (162人)が駐車場や周辺道路の渋滞などが利用しにくい理由としており、車での利用に対して不便さを感じていることから、今後においては、駐車場問題の解決及び交通アクセスの改善が強く求められている。

第3章 開成山公園の施設について（期待）

問6 これからの開成山公園に特に期待する役割やターゲットは何だと思いますか？
（2つまで選択可）

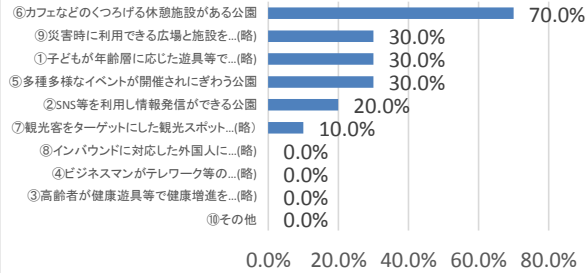
（回答者：334人）



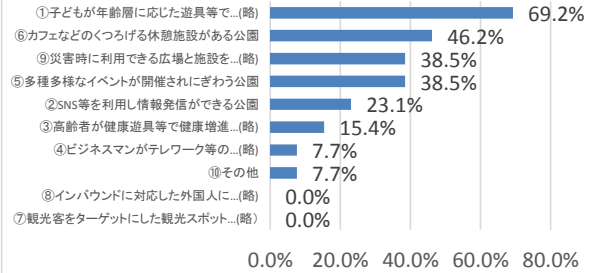
選択肢	回答数
⑥カフェなどのくつろげる休憩施設がある公園	159
⑤多種多様なイベントが開催されにぎわう公園	150
①子どもが多様な年齢層に応じた遊具等で遊べる公園	123
⑨災害時に利用できる広場と施設を有する公園	114
③高齢者の方が健康遊具等で健康増進を図れる公園	86
⑦観光客をターゲットにした観光スポットとして賑わう公園	26
②SNS等を利用し情報発信ができる公園	23
④ビジネスマンがテレワーク等の場として活用できる公園 （※ネットワークを利用しその場にいながら仕事ができる）	18
⑧インバウンドに対応した外国人に興味を持ってもらえる公園 （※入ってくるものという意味から転じて外国（区域外）から訪れる旅行を指す）	10
⑩その他	10

<< 年代別 >>

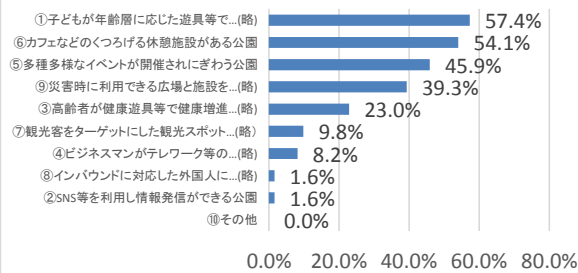
10代



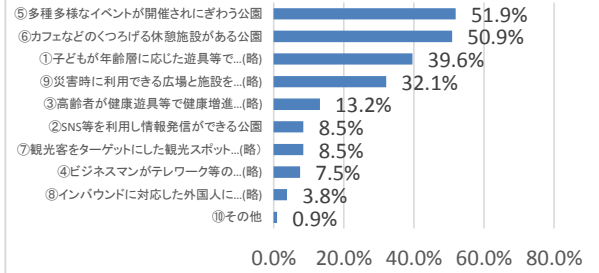
20代



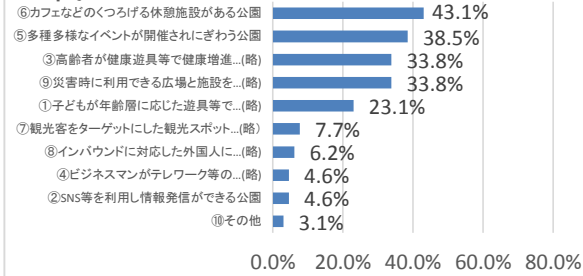
30代



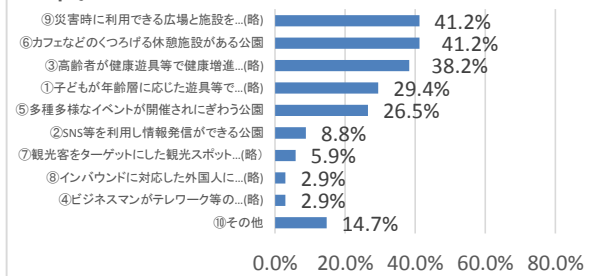
40代



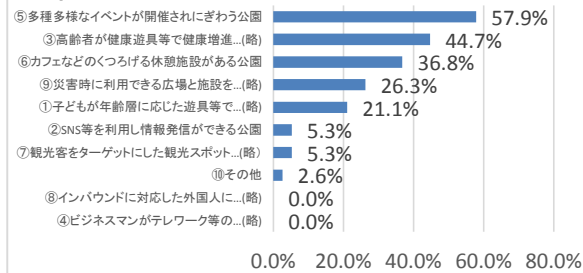
50代



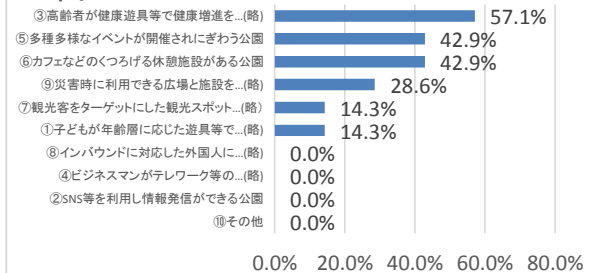
60代



70代

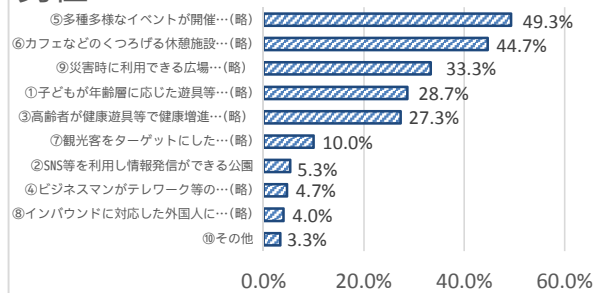


80代

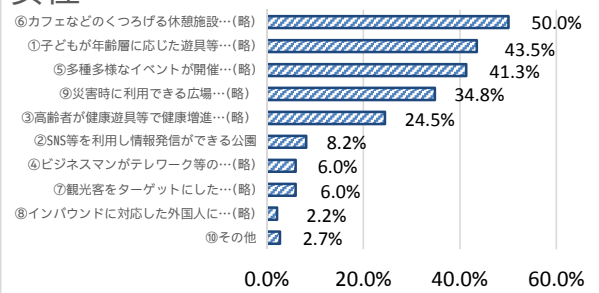


<< 性別 >>

男性



女性



※「その他」を選択した方の主な意見

- ・憩いの場としての雰囲気大切にほしい
- ・公園は静寂と安らぎを求めて憩いの場でありたい、シンプルでいい
- ・穏やかに過ごせる普通の公園でいい
- ・深い緑のエリアがほしい
- ・桜以外の花(バラ園)の充実
- ・子ども向けのイベントをしてほしい(須賀川のロジマのようなイベント)
- ・スポーツ施設とミュージカルがくと館などの文学施設が集まる広場
- ・ミニボルダリングなど洗練された遊具があると良い
- ・公園は金儲けの場として提供するところではない
- ・利用したくない(渋滞で迷惑している)

公園に期待する役割としては、「カフェなどのくつろげる休憩施設がある公園」が47.6%で最も高く、次に「多種多様なイベントが開催されにぎわう公園」が44.9%、その次に「子どもが多様な年齢層に応じた遊具等で遊べる公園」が36.8%と回答。

年代別では、すべての各世代において「カフェなどのくつろげる休憩施設がある公園」の割合が高く、20代、30代においては「子どもが多様な年齢層に応じた遊具等で遊べる公園」、40代、70代、80代においては「多種多様なイベントが開催されにぎわう公園」、50代以上においては「高齢者の方が健康遊具等で健康増進を図れる公園」の割合が高くなっており、それぞれの生活スタイルに合わせた数値が表れている。「インバウンドに対応した外国人に興味を持ってもらえる公園」は10代、20代、70代、80代で0%、30代で1.6%、60代で2.9%、40代3.8%と最も低く、次に「ビジネスマンがテレワーク等の場として活用できる公園」が各世代で0～8.2%と低い。

性別では、「カフェなどのくつろげる休憩施設がある公園」が男性44.7%、女性50.0%と高く、「多種多様なイベントが開催されにぎわう公園」は男性が女性より5.8ポイント高く、「子どもが多様な年齢層に応じた遊具等で遊べる公園」は女性が男性より14.8ポイント高い。

年代別により公園に期待する役割は異なることから、各世代の方々に満足していただけるよう、できるだけ多くの利用者の声を反映した施設整備やイベント等の開催を検討する必要がある。今回「カフェなどのくつろげる休憩施設がある公園」を期待する回答が多かったことから、民間ノウハウの活用による整備を検討し、カフェ等を収益施設として設置し、その収益を施設の管理運営費用の一部に充てる「Park-PFI」をはじめとした、多様なPPP手法を検討する必要がある。

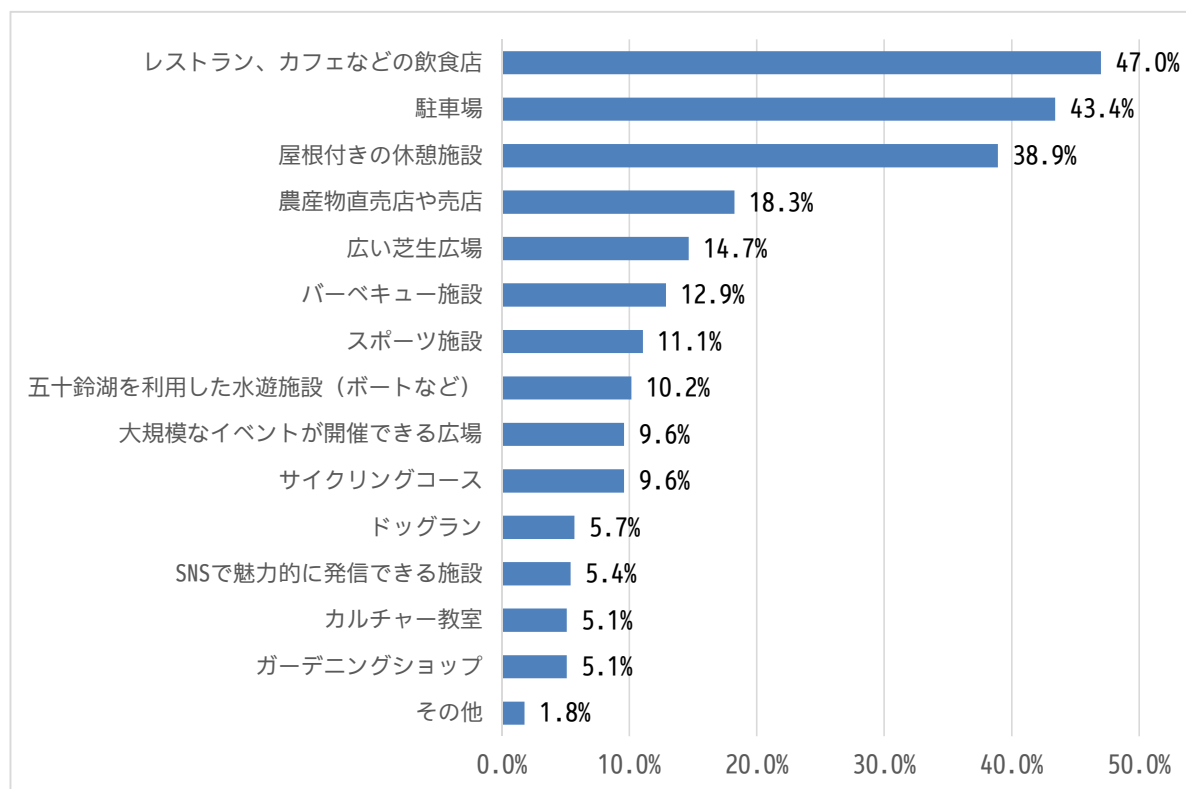
「Park-PFI」とは、

平成29年の都市公園法改正により新たに設けられた、飲食店、売店等の公園利用者の利便の向上に資する公募対象公園施設の設置と、当該施設から生ずる収益を活用してその周辺の園路、広場等の一般の公園利用者が利用できる特定公園施設の整備・改修等を一体的に行う者を、公募により選定する「公募設置管理制度」のこと。

「PPP」とは、

Public Private Partnership の略で、公共施設等の建設、運営等を民間の経営能力等を活用して事業を実施すること。

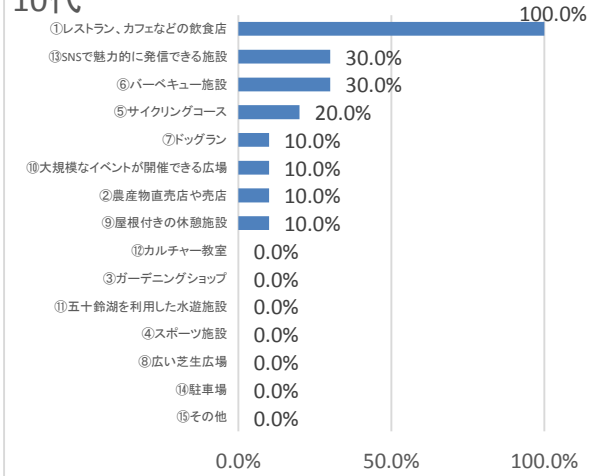
問7 開成山公園に設置してほしい施設は何ですか？(2つまで選択可)
(回答者：334人)



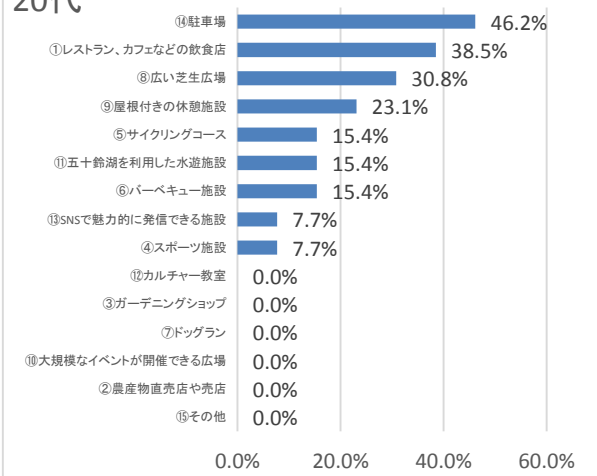
選択肢	回答数
①レストラン、カフェなどの飲食店	157
⑭駐車場	145
⑨屋根付きの休憩施設	130
②農産物直売店や売店	61
⑧広い芝生広場	49
⑥バーベキュー施設	43
④スポーツ施設	37
⑪五十鈴湖を利用した水遊施設（ボートなど）	34
⑤サイクリングコース	32
⑩大規模なイベントが開催できる広場	32
⑦ドッグラン	19
⑬SNSで魅力的に発信できる施設	18
③ガーデニングショップ	17
⑫カルチャー教室	17
⑮その他	6

≪ 年代別 ≫

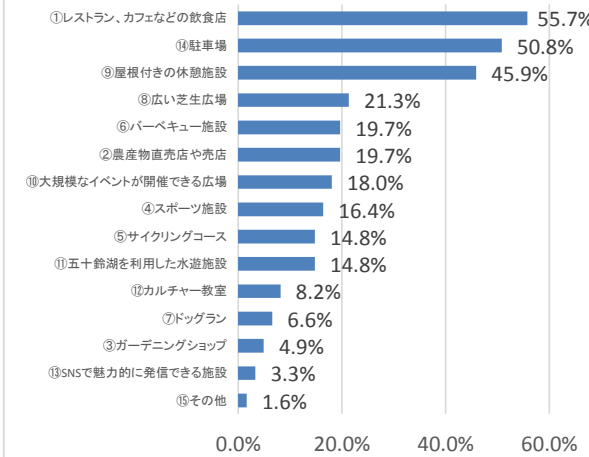
10代



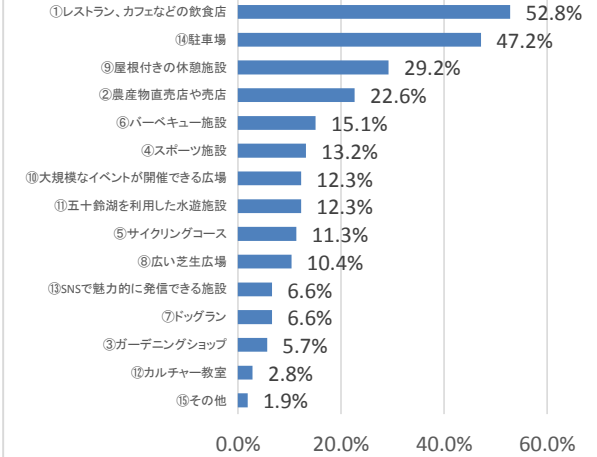
20代



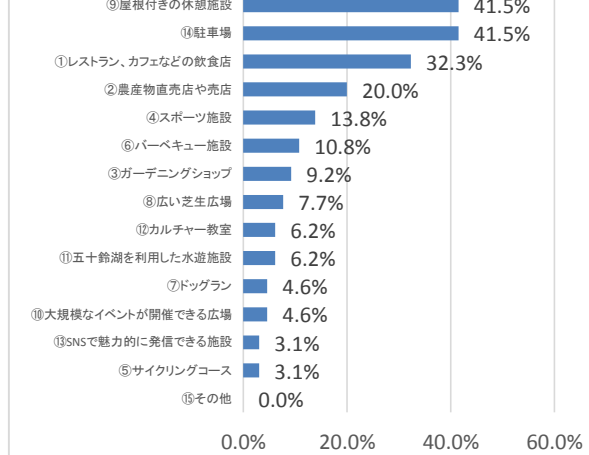
30代



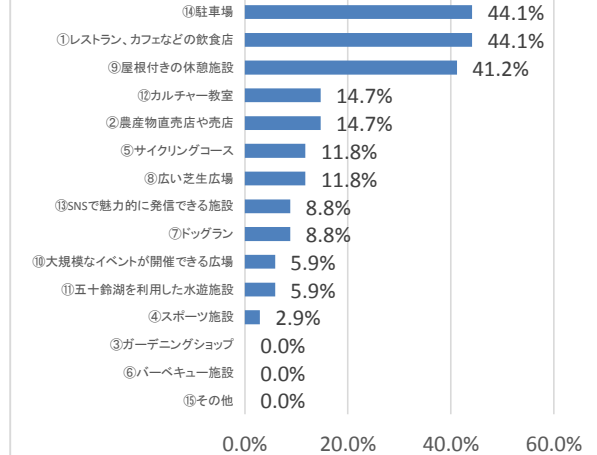
40代

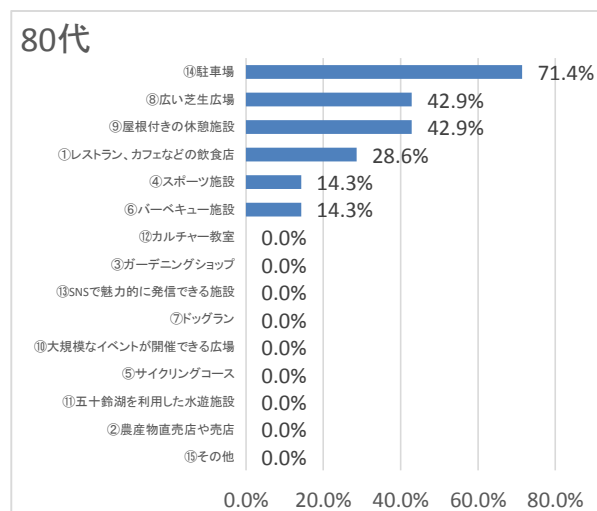
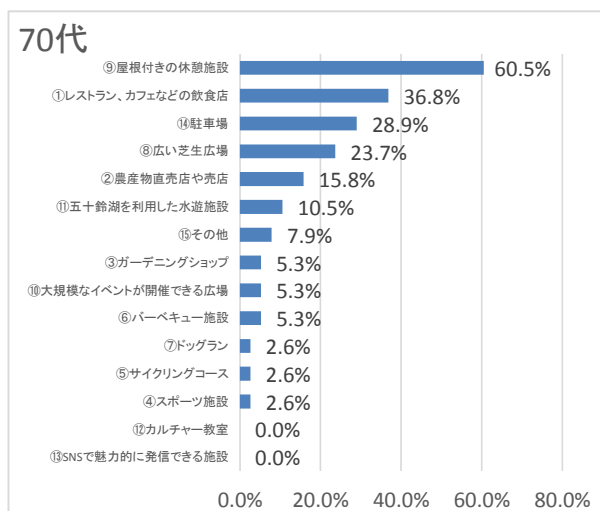


50代

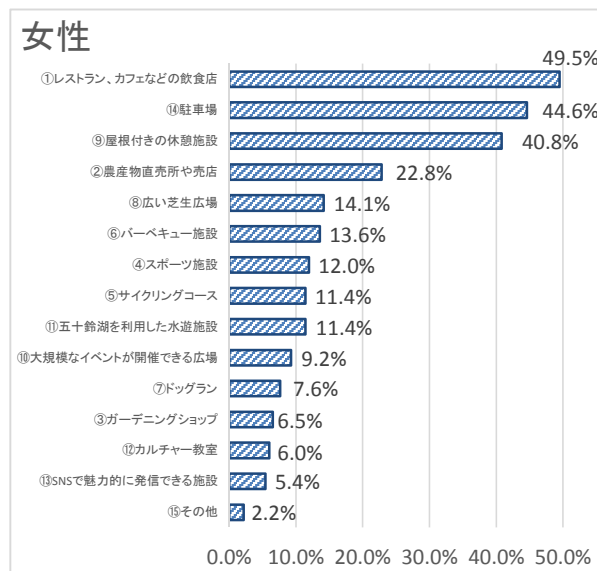
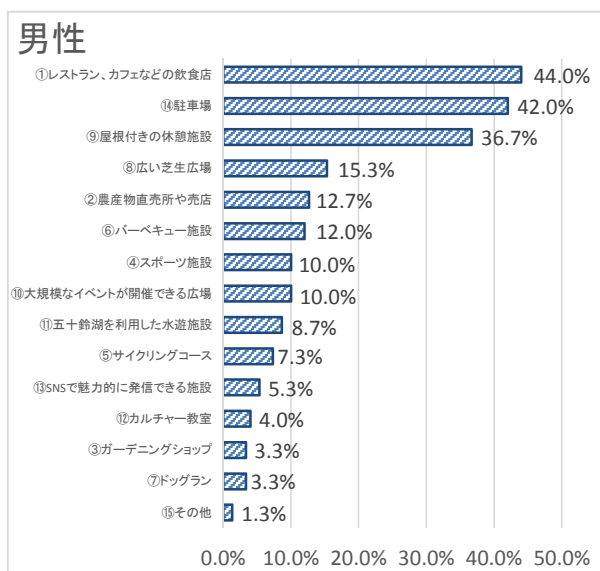


60代





＜ 性別 ＞



※「その他」を選択した方の主な意見

- ・ 各種の施設設備を作り過ぎないでほしい
- ・ 施設や建造物は少ないほうがいい、広々と広がる芝生で癒されます
- ・ 人工的な施設をなるべくつくらないでほしい、穏やかに過ごせる普通の公園でいい
- ・ 健康遊具
- ・ 外周を散歩できるコース
- ・ 展望台コーヒーショップ
- ・ 開成山大神宮と開成山公園の横断歩道を押ボタン式か、歩道橋を作って混雑や危険回避してほしい
- ・ 利用したくない（渋滞で迷惑している）

公園に設置してほしい施設としては、「レストラン、カフェなどの飲食店」が47.0%で最も高く、次に「駐車場」が43.4%、その次に「屋根付き休憩施設」が38.9%と回答。

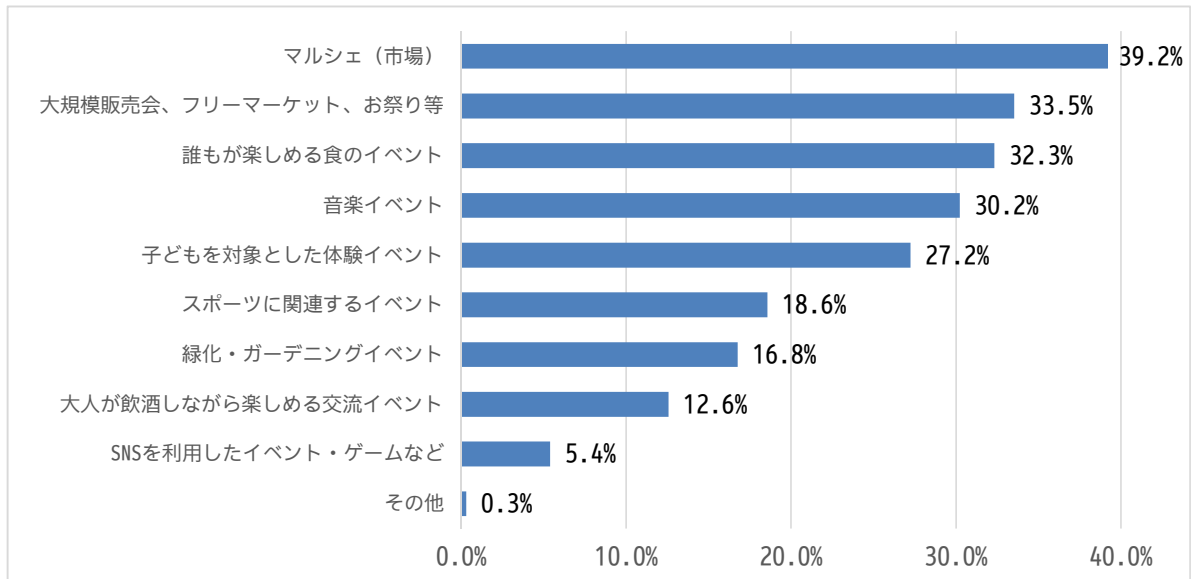
年代別では、10代、30代、40代、60代において「レストラン、カフェなどの飲食店」が最も高く、次に「駐車場」が80代71.4%、30代50.8%、40代47.2%、20代46.2%と高く、その次に「屋根付き休憩施設」が70代60.5%、30代45.9%、50代41.5%と高い。「ガーデニングシヨップ」は10代、20代、60代、80代で0%、30代で4.9%、70代で5.3%と低く、次に「カルチャー教室」が10代、20代、70代、80代で0%、40代2.8%、50代で6.2%と低い、「ドッグラン」も0~8.8%と低い。

性別では「レストラン、カフェなどの飲食店」が男性44.0%、女性49.5%と最も高く、次に「駐車場」が男性42.0%、女性44.6%と高く、その次として「屋根付き休憩施設」は男性36.7%、女性40.8%と高い。

年代により必要とする施設は異なるが、課題となっている「駐車場の整備」や開成山公園に求められている「カフェ」「くつろげる施設」の設置については、効果的かつ効果的な市民サービスを提供するため、民間資金、経営能力等を活用する「Park-PFI」手法も一つの手段として検討していく必要がある。

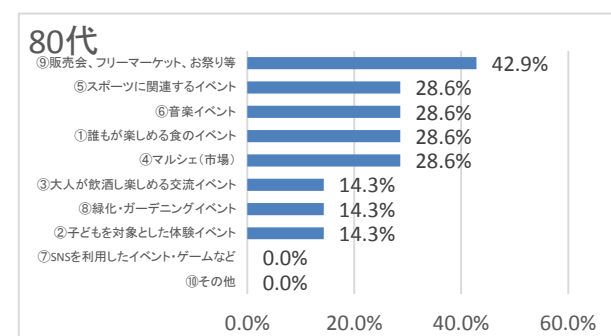
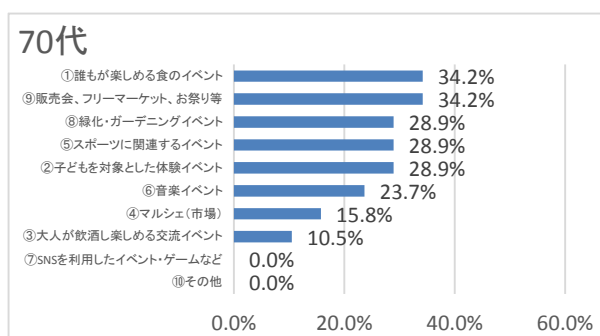
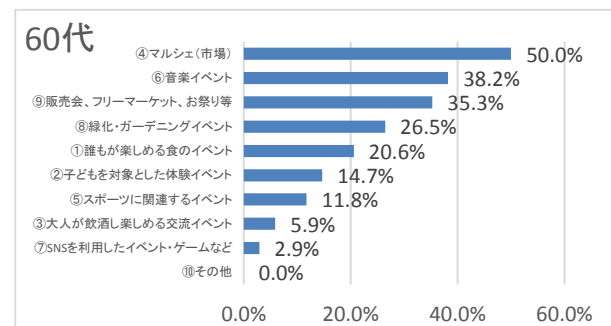
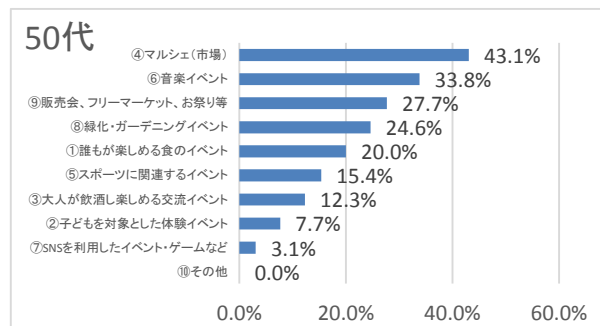
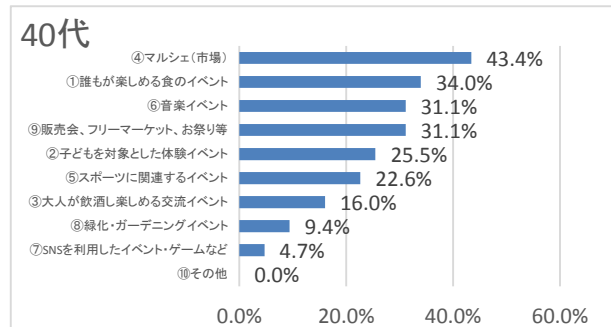
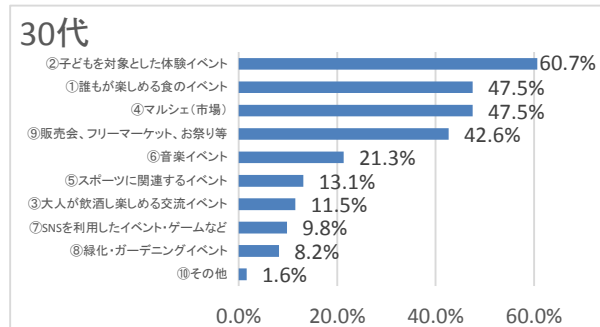
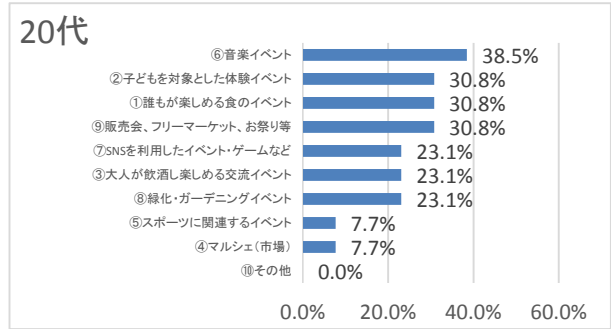
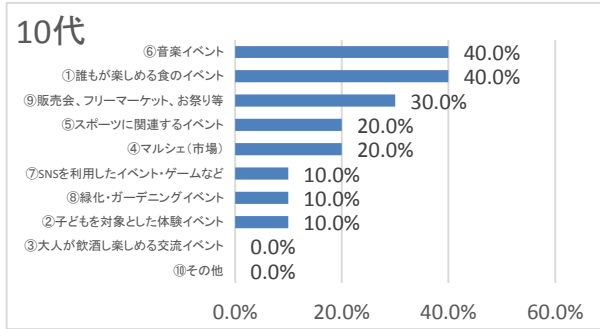
問8 開成山公園で開催してほしいイベントは何ですか？(2つまで選択可)

(回答者：334人)

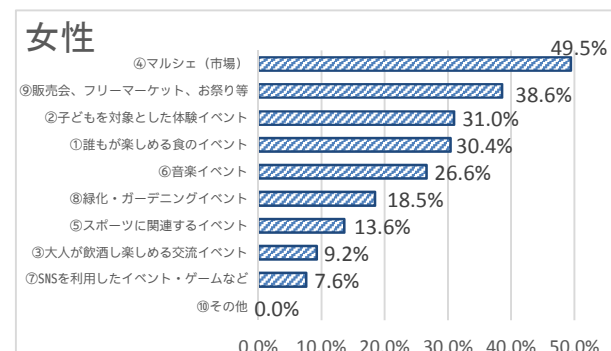
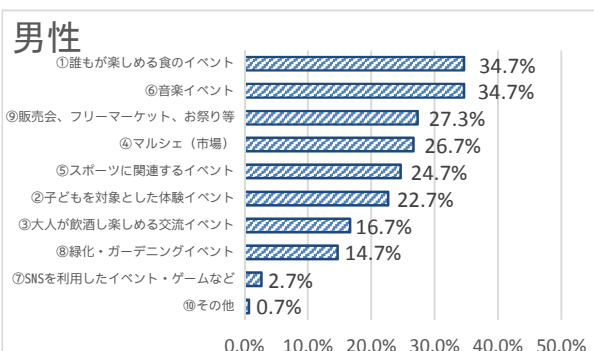


選択肢	回答数
④マルシェ（市場）	131
⑨大規模販売会、フリーマーケット、お祭り等	112
①誰もが楽しめる食のイベント	108
⑥音楽イベント	101
②子どもを対象とした体験イベント	91
⑤スポーツに関連するイベント	62
⑧緑化・ガーデニングイベント	56
③大人が飲酒しながら楽しめる交流イベント	42
⑦SNSを利用したイベント・ゲームなど	18
⑩その他	1

<< 年代別 >>



<< 性別 >>



※「その他」を選択した方の主な意見

- ・ヨガや太極拳などの講座
- ・テント芝居（興行）
- ・福島ホープスの選手との交流会、オランダフェス、台湾祭り
- ・有名人や芸能人を呼ぶイベント
- ・イベントはいらない、少ない方がいい、多過ぎる、一部の団体に使わない・・・8名

公園で開催してほしいイベントとしては、「マルシェ（市場）」が39.2%で最も高く、次に「大規模販売会、フリーマーケット、お祭り等」が33.5%、その次に「誰もが楽しめる食のイベント」が32.3%と回答。

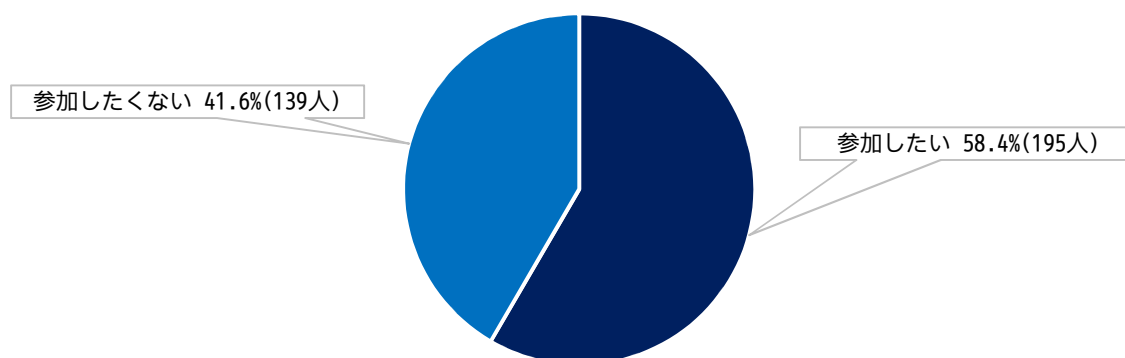
年代別では、「子どもを対象とした体験イベント」が30代で60.7%と最も高く、次に「マルシェ（市場）」が30代から60代で50.0%から43.1%と高く、その次に「誰もが楽しめる食のイベント」が10代40.0%、30代47.5%、70代34.2%と若い世代から高齢者まで高い。「大規模販売会、フリーマーケット、お祭り等」はすべての世代において、27.7%～42.9%と比較的高い。「SNSを利用したイベント・ゲームなど」は20代で23.1%ではあるが、各世代で低く、「大人が飲酒しながら楽しめる交流イベント」は30代で11.5%、60代で5.9%と低い。

性別では、男性は「誰もが楽しめる食のイベント」、「音楽イベント」が34.7%と高く、女性は「マルシェ（市場）」が49.5%と高く、男性より22.8ポイント高い。

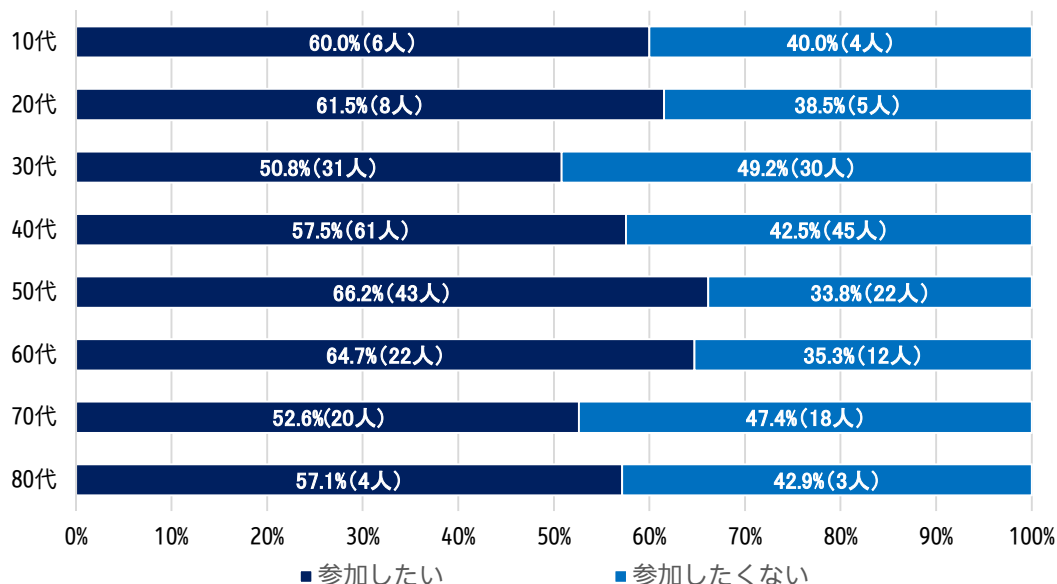
市民が求めるイベントについては、年齢や男女により回答は多少異なるが、イベントを機に来園する方も多くいること、イベントの開催が「人びとの交流」「公園の活性化」「郡山市のPR」に繋がることから、常に市民や時代のニーズを取り入れながら、多種多様なイベントの開催(誘致)を検討していく必要がある。

**問9 公園の企画・計画や管理など市民参加型の公園づくりの機会があれば参加したいですか？
(1つ選択)**

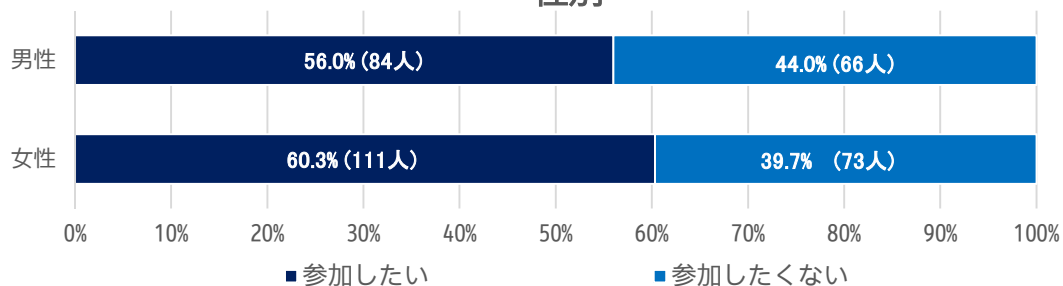
(回答者：334人)



年代別



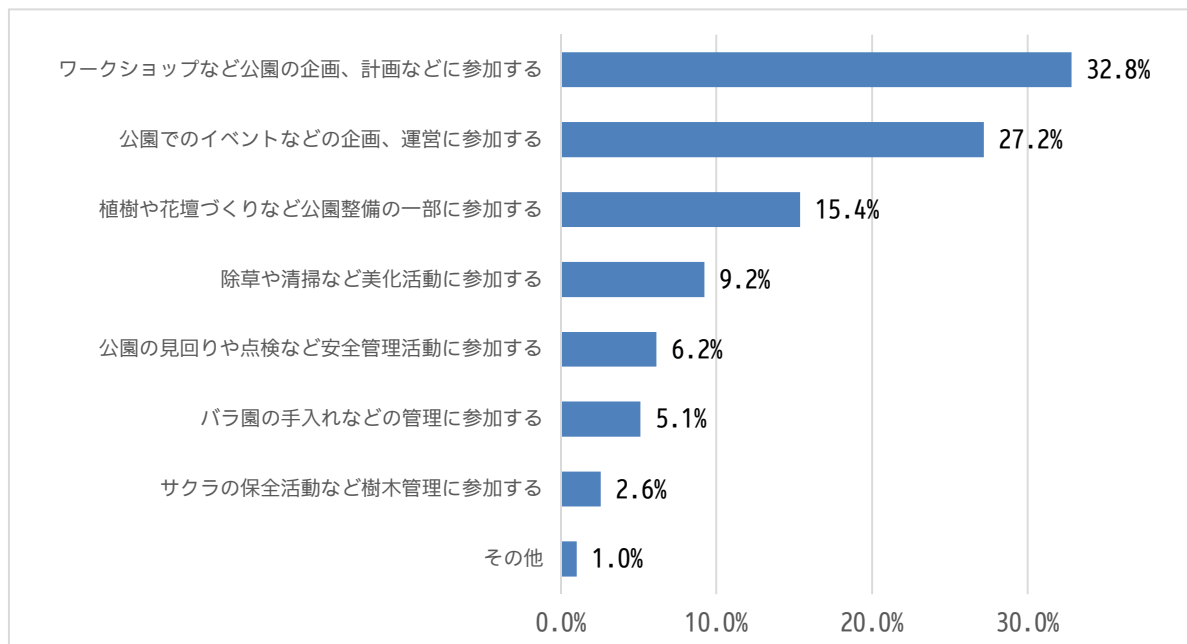
性別



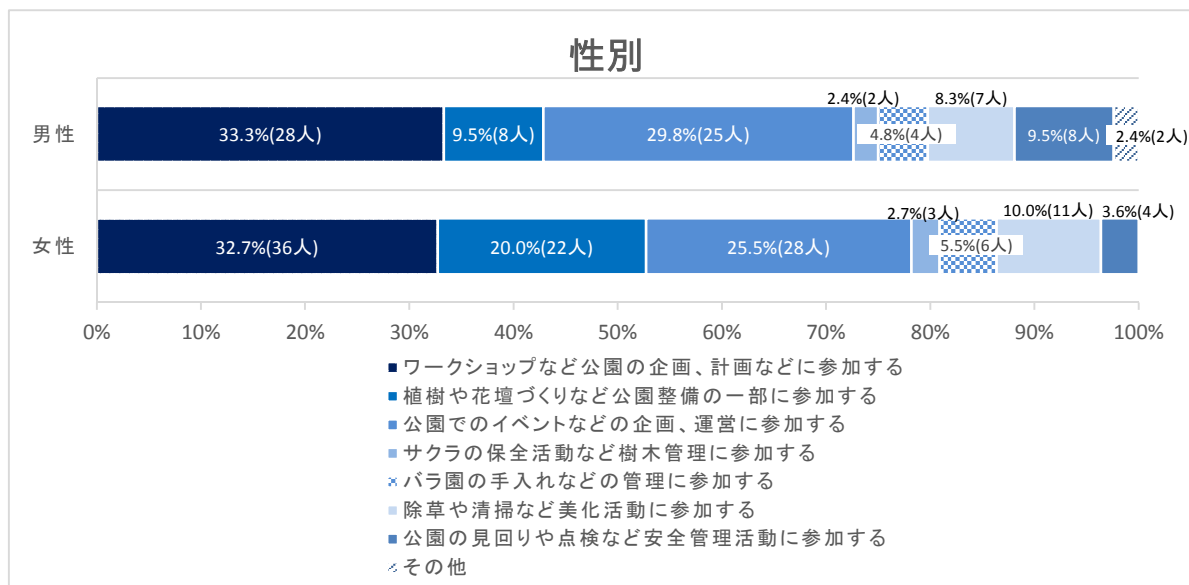
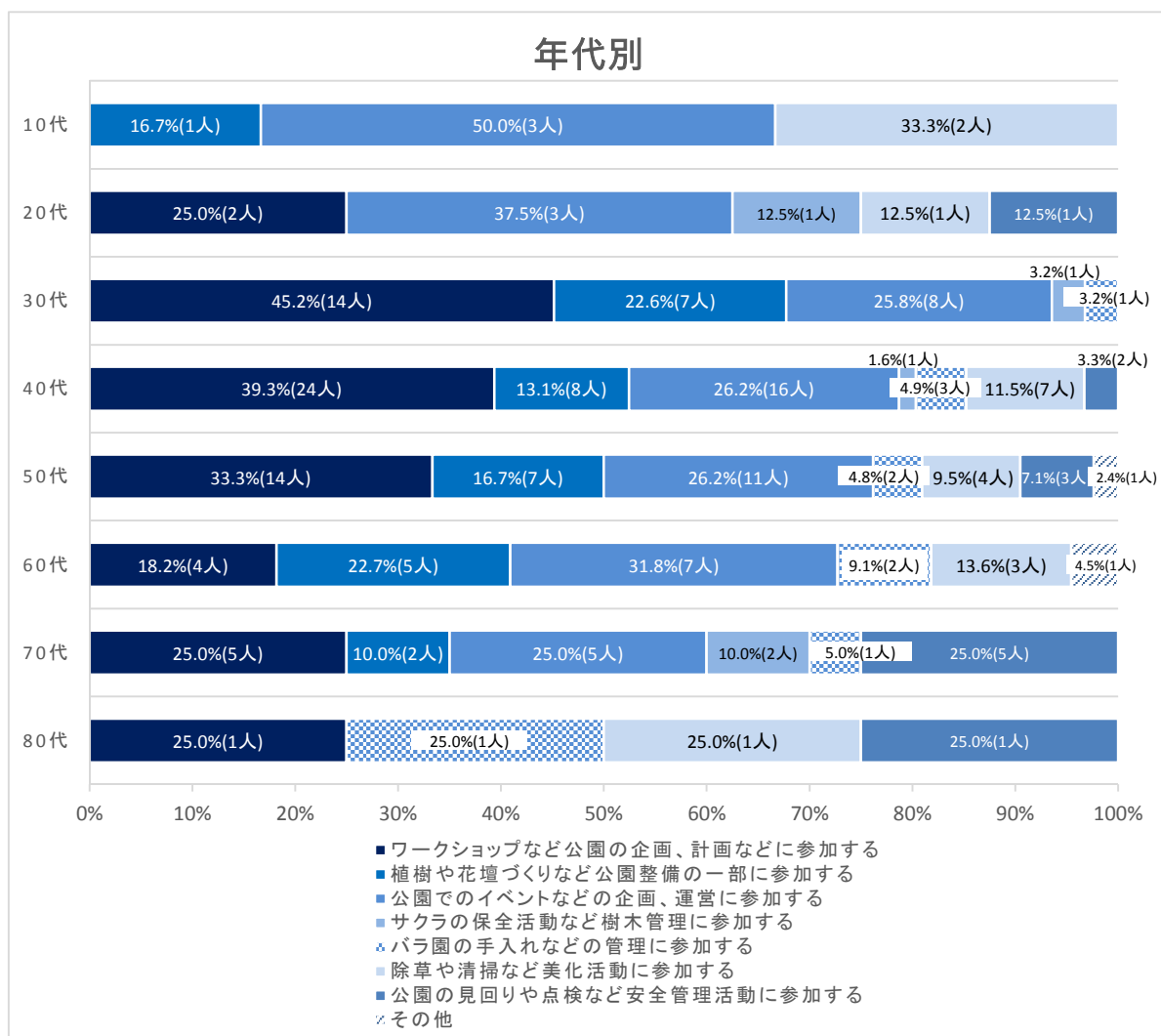
公園づくりに参加したいかについては、全体の58.4%が「参加したい」と回答。
年代別では、「参加したい」は50代で66.2%と最も高く、次に60代で64.7%と高い。「参加したくない」は30代49.2%で最も高く、次に70代で47.4%と高い。
性別では、「参加したい」で女性が男性より4.3ポイント高い。

問10 問9で「参加したい」を選択した方にお伺いします。どのような手段なら参加していただけますか？(1つ選択)

(回答者：195人)



選択肢	回答数
①ワークショップなど公園の企画、計画などに参加する	64
③公園でのイベントなどの企画、運営に参加する	53
②植樹や花壇づくりなど公園整備の一部に参加する	30
⑥除草や清掃など美化活動に参加する	18
⑦公園の見回りや点検など安全管理活動に参加する	12
⑤バラ園の手入れなどの管理に参加する	10
④サクラの保全活動など樹木管理に参加する	5
⑧その他	2



※「その他」を選択した方の主な意見

- ・運動公園にする企画に参加したい
- ・開成山公園と豊田貯水池の利用方法のワーキンググループ

どのような手段で公園づくりに参加したいかについては、「ワークショップなど公園の企画、計画」が32.8%で最も高く、次に「公園でのイベントなどの企画、運営」が27.2%、その次に「植樹や花壇づくりなど公園整備」が15.4%と回答。

年代別では、「公園でのイベントなどの企画、運営」が、10代で50.0%、20代で37.5%と高く、次に「ワークショップなど公園の企画、計画」が30代で45.2%、40代39.3%、50代33.3%と高い。「サクラの保全活動など樹木管理」は10代、50代、60代、80代で0%、40代で1.6%と低く、「バラ園の手入れなどの管理」は10代、20代で0%と若い世代は低いが、80代では25.0%となっている。

性別では「ワークショップなど公園の企画、計画」が男性33.3%、女性32.7%と最も高く、次に「公園でのイベントなどの企画、運営」が男性29.8%、女性25.5%と高い。「植樹や花壇づくりなど公園整備」は女性が男性より10.5ポイント高い。

10代、20代の若い世代が「イベントへの企画・運営」に参加したいとの回答が多かったことから、今後、イベントの企画等に参加できる機会を検討し、公園の活性化を図っていく必要がある。

問 11 開成山公園がこれからどんな公園になってほしいと思いますか？
ご意見がございましたら、ご自由にお書きください。（自由記述）

開成山公園の改善点について

- ・交通の便を良くし周辺にも駐車場を確保して、市民が集うイベントが行えるだけでなく観光スポットとしても、もっと気軽に来られる場所になってほしいです。（40代・女性）
- ・駐車場が狭くちょっとしたイベントでも駐車できなくなるため、駐車場の確保が最大の課題だと思います。（40代・男性）
- ・駐車場は停めにくいし混んでるし、駐車が億劫で開成山公園に行くのを躊躇してしまい頻繁に行けません。遊具側の駐車場をもっと利用しやすくしてほしいです。（30代・女性）

公園に設置してほしい施設について

- ・郡山は約半年が寒いところですので、多目的催事のできる屋内施設の建設が必須条件でしょう。（80代・男性）
- ・広くてよく手入れされていて、子どもと安全に遊べる公園でよく利用します。簡易的なカフェがあったらもっと利用したくなると思います。（30代・女性）
- ・カフェやワークショップが開催できる場所があるとよいです。急な雨や避難所としても活用できるのではないのでしょうか。カフェや物産館など。（40代・女性）
- ・経済活動の中心となる世代が立ち寄り、ある程度の時間と消費を費やすに値する施設を作るべき。（40代・女性）
- ・屋根つきベンチや芝生やテーブルなど、のんびり過ごせる場所が増えたら利用者が増えると思います。また、ワゴンタイプの売店があちこちにあったら嬉しいです。（60代・女性）
- ・運動不足なので、大人も楽しめる遊具があったら嬉しいです(*^*)（30代・女性）

開成山公園のサクラ・バラ園の管理について

- ・桜の木が老齢化しているので、それらの対策を行ってほしい。（70代・男性）
- ・最古のソメイヨシノはきっちり守っていきたい。日本の宝物ですよね。（50代・女性）
- ・桜の木やバラ園等、植物を大切に管理し市民が憩える場であってほしい。（60代・女性）
- ・植樹や花壇づくりなら親子でも参加できそう。家にこもりがちなお年寄りも参加したりすれば、公園もきれいになる。市民もふれあえる公園になってほしい。（30代・女性）

イベントの開催等について

- ・歴史的にも郡山の核となる場所だと思う。「市民が集う場所」「観光の拠点」両方を担うことができる場だと思うので、イベントの企画で活かしてほしい。(50代・女性)
- ・多目的に使える公園であってほしいと思います。広い年齢層が足を運ぶイベント、施設があることで、賑わいと足を多く運ぶことによる公園への愛着が生まれるかと思っています。(30代・男性)
- ・広い敷地を生かし、幅広い年齢の方が利用でき、交流できる、施設やイベント等を作っていただきたいです。そして、福島を代表する公園になってほしいです。(10代・女性)

その他

- ・立地が良いので、県内外から人の集まる大規模イベントに使える公園にすると良いでしょう。豊田浄水場跡地との一体化を望みます。あわせて付近の交通渋滞緩和のため、LRT(次世代型路面電車システム)や、BRT(バス高速輸送システム)を整備すれば、経済、文化両面へのプラス効果が期待できます。(50代・男性)
- ・現状の立地を考えると都市型の公園だと思います。そうなるとイベントの利便性を考え、スポーツ、文化の拠点となるような公園だと思います。(60代・男性)
- ・緑が保たれ、安全に散策できる公園であり続けてほしいです。開成山公園大好きです。
(40代・女性)
- ・安全で子どもから高齢者までのんびり出来る公園にしてほしい。(30代・女性)
- ・年齢関係なく市民が気軽に集える公園になってほしいと思います。(40代・女性)
- ・郡山駅から開成山公園までの無料シャトルバスがほしい。(10代・女性)

2019年度まちづくりネットモニター第3回調査結果 テーマ「子どもの読書について」

子どもたちにとって、読書活動は心豊かで健やかな成長を育むため重要なものですが、近年、子どもたちの生活環境の変化などから、「読書離れ」の傾向が現れるようになりました。

この現状を受け、国においては、子どもの読書活動を推進するため、平成13（2001）年12月に「子どもの読書活動の推進に関する法律」を施行し、これに基づき「子どもの読書活動に関する基本的な計画」を策定し、平成30年4月から第四次計画を進めています。

郡山市においても、子ども達が読書習慣を身につけることができるよう、現在、「第四次郡山市子ども読書活動推進計画」の策定を予定しており、市民の皆様のご意見を把握し、反映するため、アンケートを実施しましたので、その結果についてお知らせします。
(中央図書館)

調査概要

- 調査期間 令和元年5月23日(木)～6月1日(土) (10日間)
- 回答方法 専用ウェブサイトから回答を送信する。
- モニター数 360名 (男性 159名 女性 201名)
- 回答者数 331名 (男性 149名 女性 182名)
- 回答率 91.9%

【分析】

《回答者内訳（人）》

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
男性	3	5	15	33	29	21	36	7	149
女性	3	9	45	73	36	14	2	0	182
合計	6	14	60	106	65	35	38	7	331

《図書館の利用状況》

- ・45.6%が最近1年以内に図書館から本を「借りた」と回答

《読み聞かせについて》

- ・自分の子どもに本を読んであげたことが「たくさんあった」人は44.9%、「少しはあった」人は38.4%

《おはなし会について》

- ・「知っている」が71.9%であるが、参加したことが「ある」人は27.3%

《電子書籍について》

- ・電子書籍で読書をしたことが「ある」人は44.7%
- ・「ない」と回答した人のうち、今後使ってみたいと思う人は30.1%

《子どもの読書活動推進のために郡山市図書館ですべきことについて》

- 「幼稚園、保育所、学校との連携による読書環境の整備」が最も多く回答（65.9%）
- 「おはなし会等の子ども向け行事（イベント）の開催」が次に多く回答（46.5%）

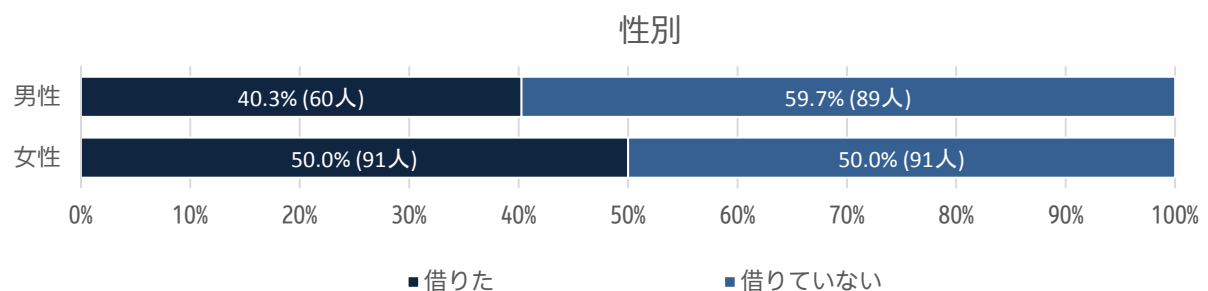
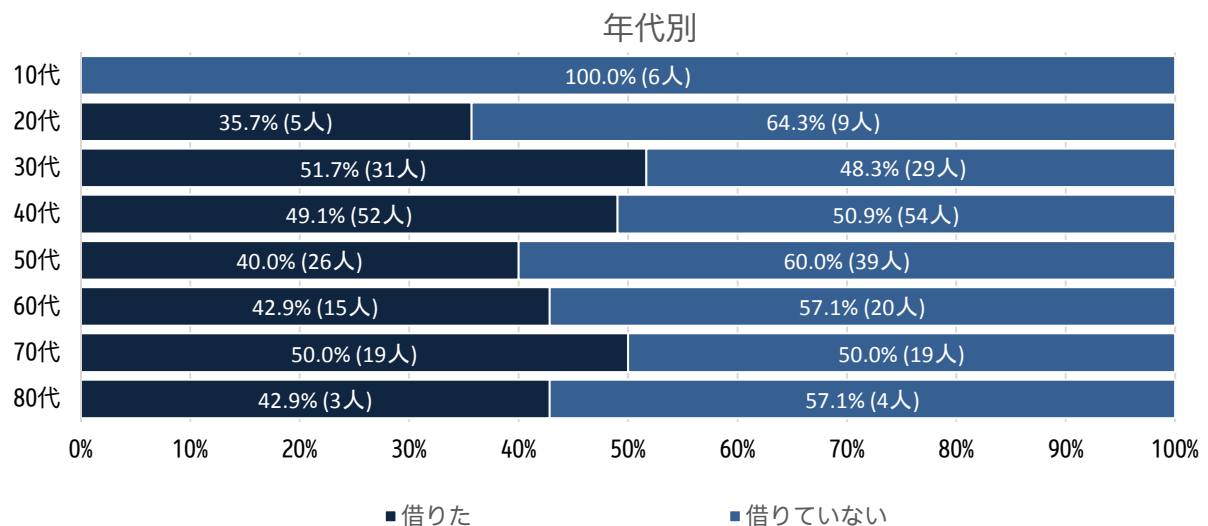
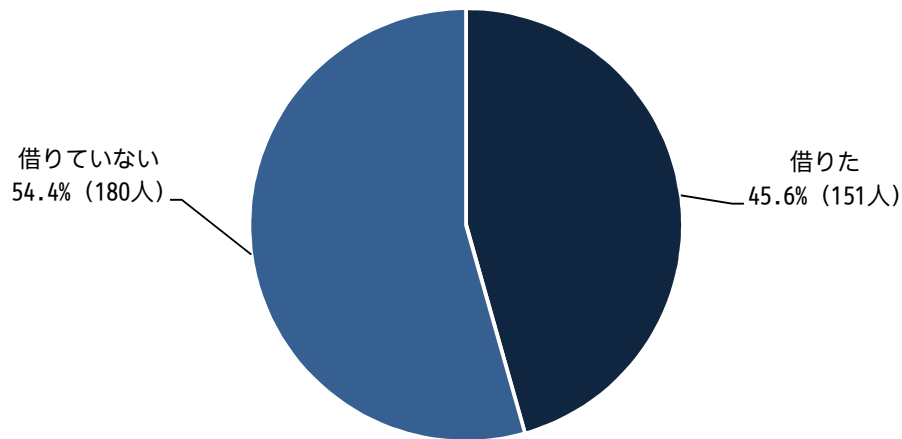
【考察】

- ・読み聞かせについては、自分の子どもに対して積極的に行っている。
- ・おはなし会についての認知度は高いが、参加率が低いことから、開催日時・場所等を工夫する必要がある。
- ・電子書籍については、半数近くの人を利用したことがあると回答したが、利用したことがない人のうち、今後利用したいと思うと回答した割合が低いことから、電子書籍の利点を発信する必要がある。
- ・子どもの読書活動を推進するために、図書館の様々な役割のひとつとして、幼稚園、保育所、学校との連携による読書環境の整備に対するニーズが高まっている。
- ・図書館のイベントや本の紹介について、積極的にPRをしていくことが求められる。
- ・若い年代ほど家族に本を読んでもらったり、昔話を聞いたことが「たくさんあった」の割合が高い。引き続き本に親しみ、読書習慣を身に付けるためには、家庭・学校・図書館での取り組みが重要である。

第1章 図書館や書店の利用状況について

問1 あなたは、最近1年以内に図書館から本を借りましたか？（1つ選択）

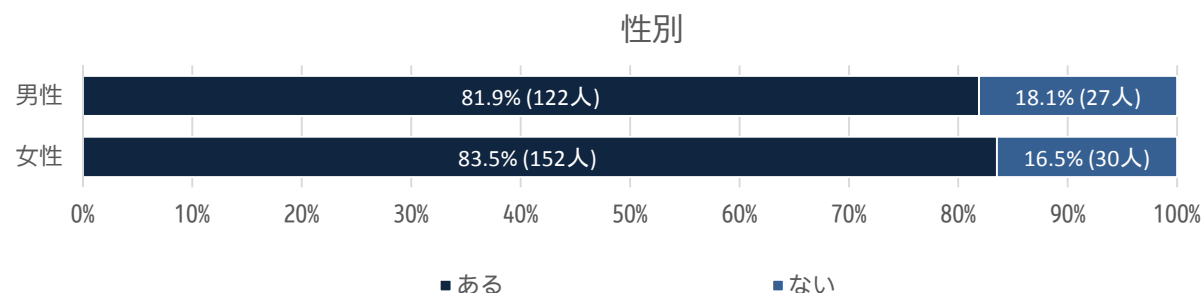
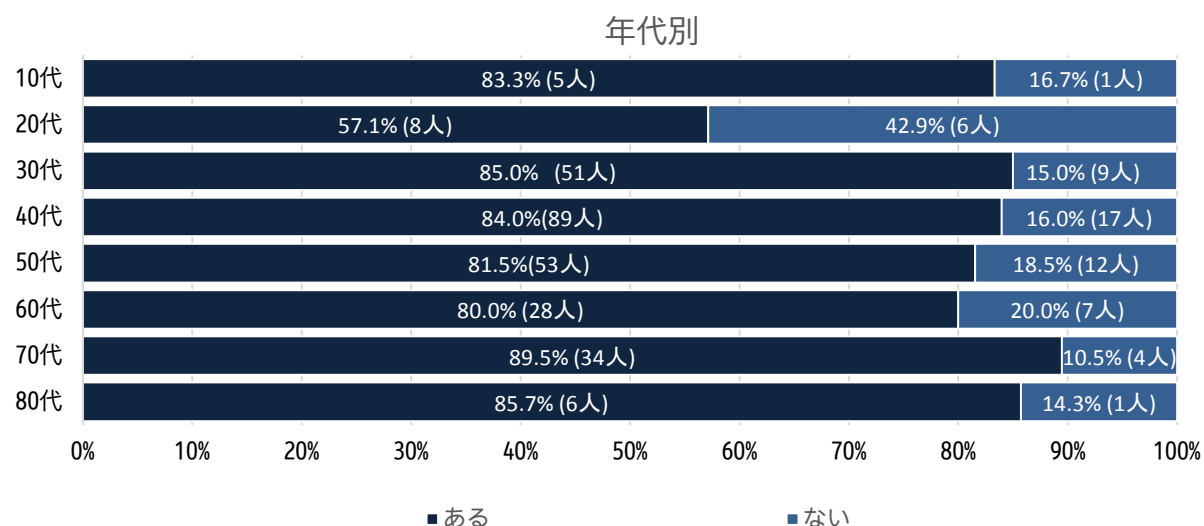
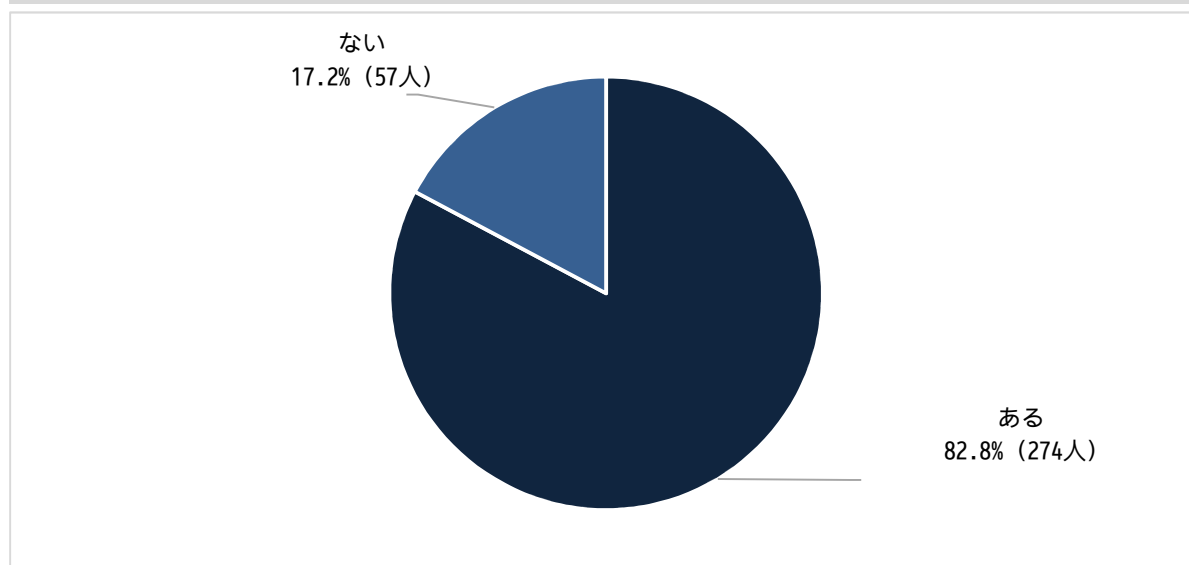
（回答者：331人）



図書館の利用状況について、全体の45.6%の人が図書館から本を「借りました」と回答。
年代別では、30代（51.7%）が最も高く、次いで70代（50.0%）、40代（49.1%）であり、30代、40代の子育て世代の利用率が高い。
性別では、男性が「借りました」と「借りていない」の割合が2：3であり、「借りました」人が少なく、女性は同数である。

問2 あなたは、最近1年以内に本を購入したことがありますか？（1つ選択）

（回答者：331人）



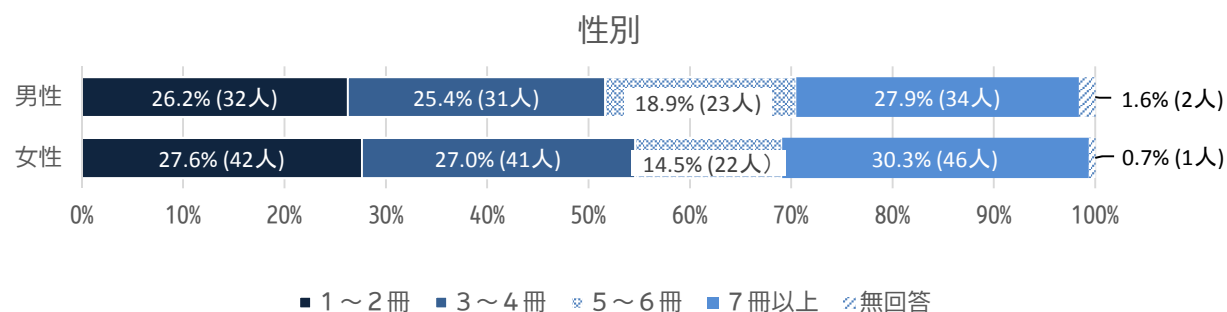
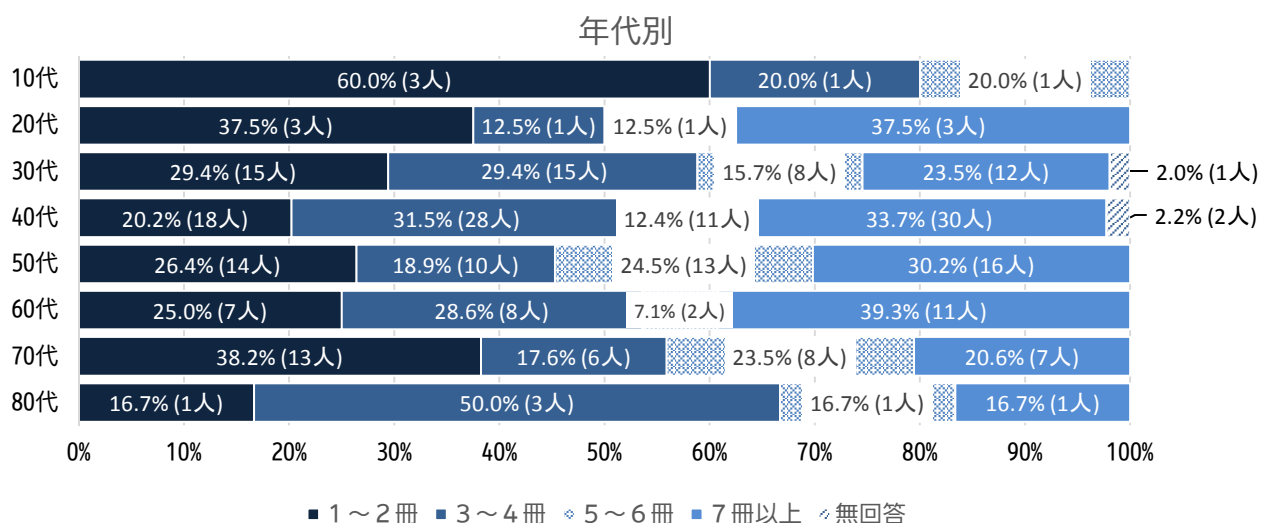
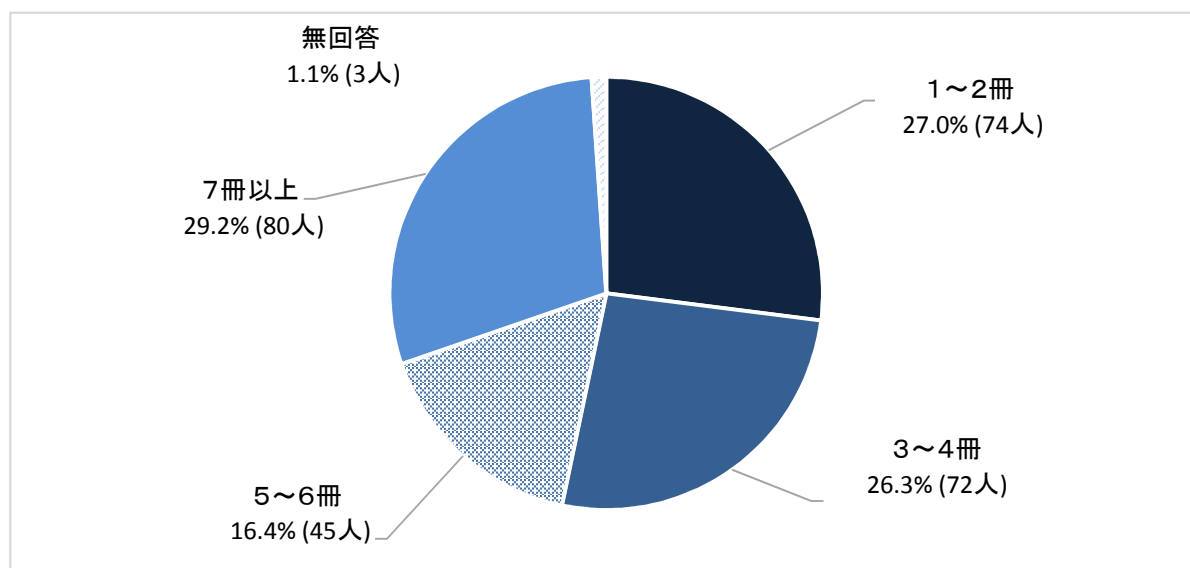
問1で、54.4%と過半数は図書館から本を借りていないが、80%を超える人が本を購入している。

年代別では、20代を除く10代から80代までで、購入した人が80%を超えており、中でも70代は89.5%と最も高い。

性別では女性の購入した人が1.6ポイント高い。

問3 問2で「ある」を選んだ方にお尋ねします。
何冊ぐらい購入しましたか？（1つ選択）

（回答者：274人）

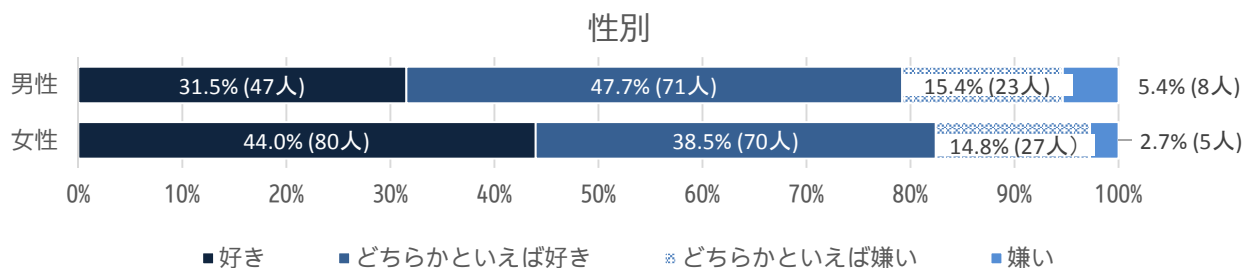
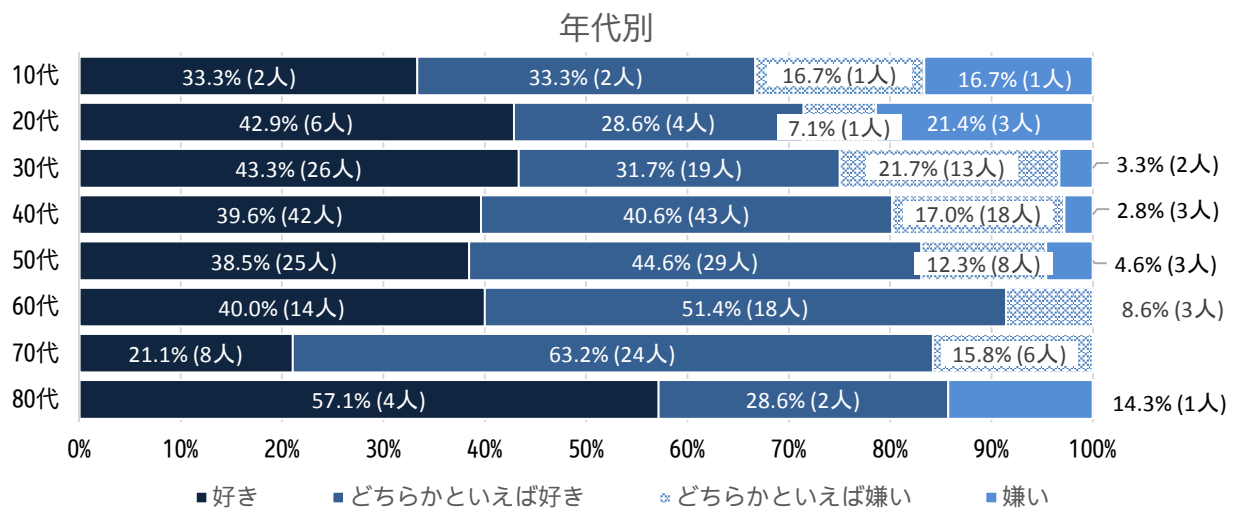
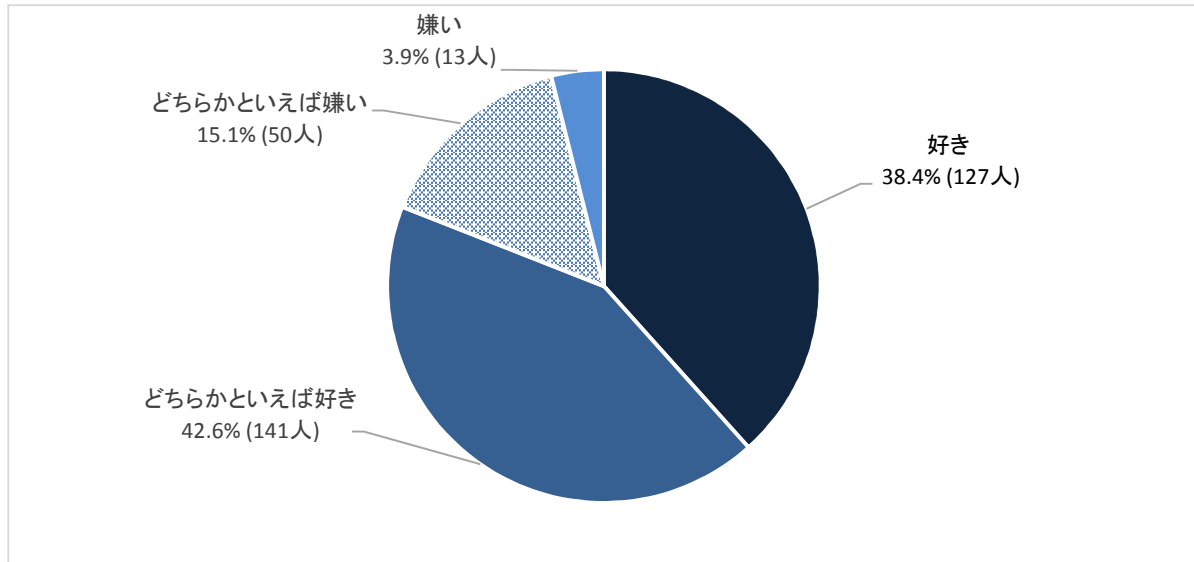


購入した人のうち、3割近くの方が7冊以上の本を購入している。
年代別では、20代、40代、50代、60代の3割を超える方が7冊以上購入しており、中でも60代が39.3%と最も高い。

第2章 読書活動の状況について

問4 あなたは、本を読むことが好きですか？（絵本を見ることや読み聞かせを含む。）
（1つ選択）

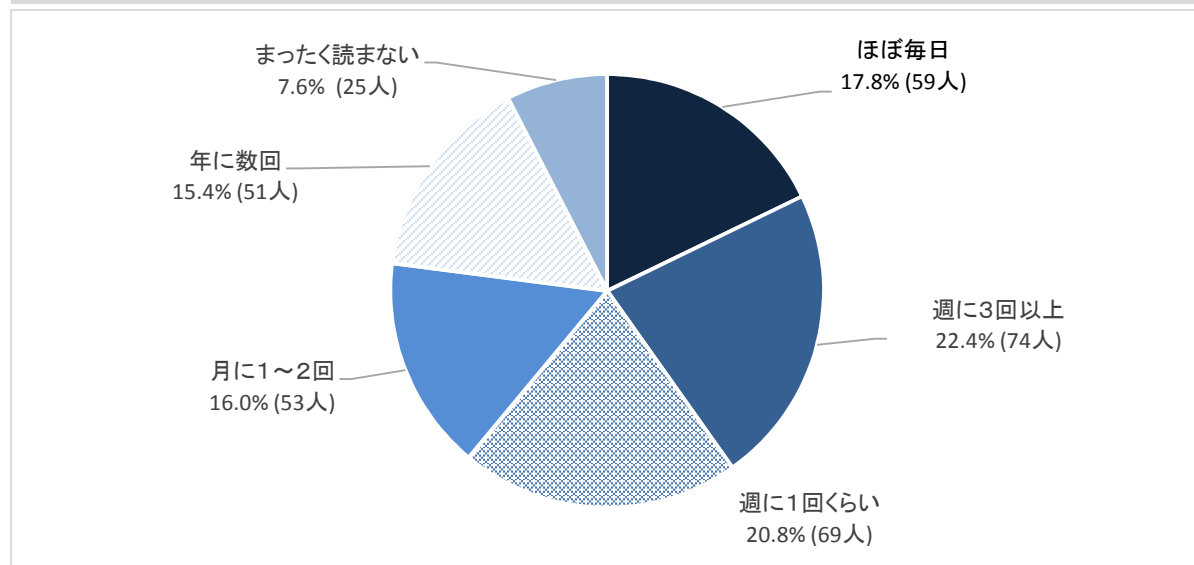
（回答者：331人）



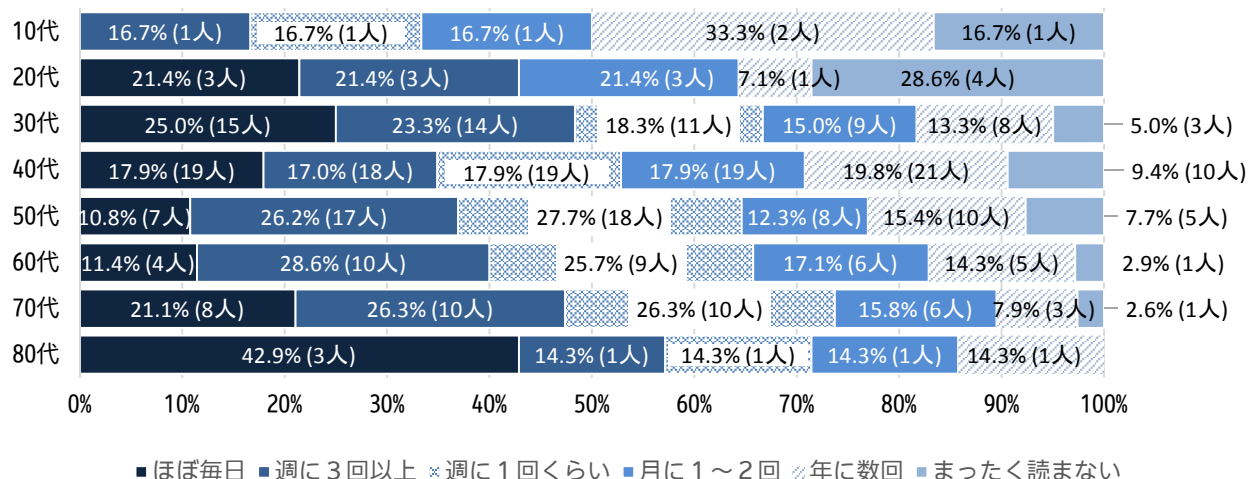
8割を超える人が、「好き」か「どちらかといえば好き」を選択し、「好き」と回答。
年代別では、「好き」「どちらかといえば好き」と答えた割合は、年代が上がるにつれて高くなる傾向が見られる。
性別では、女性が男性より3.3ポイント高い。

問5 あなたは、家でどのくらいの頻度で本を読んでいますか？（絵本を見ることや読み聞かせを含む。）（1つ選択）

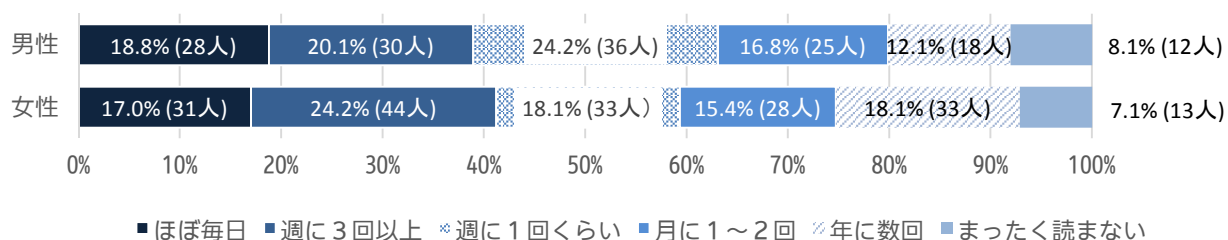
（回答者：331人）



年代別



性別



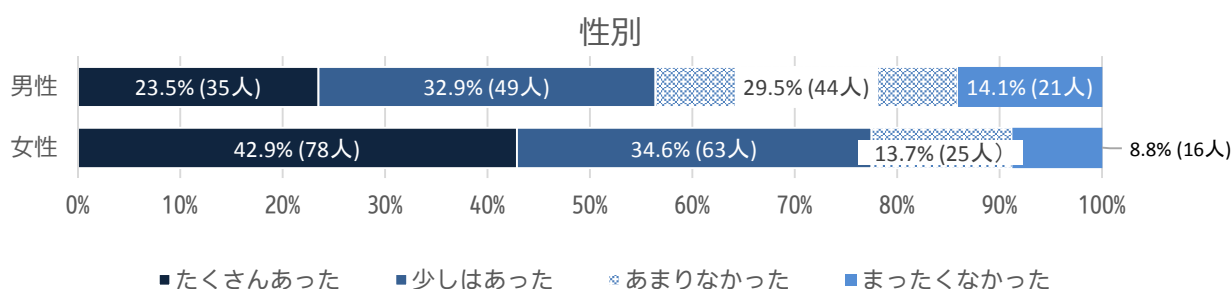
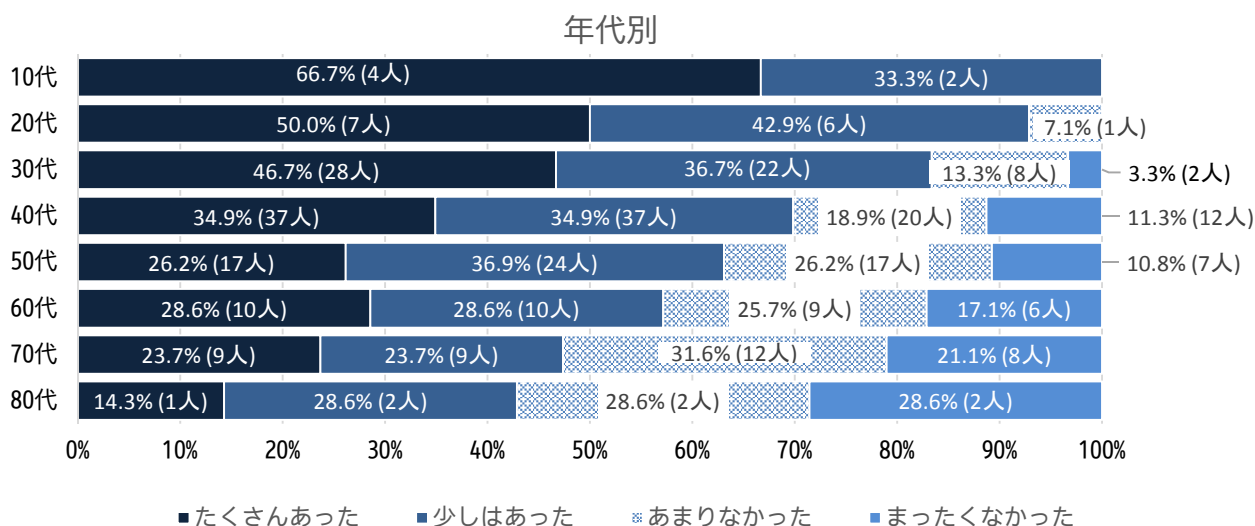
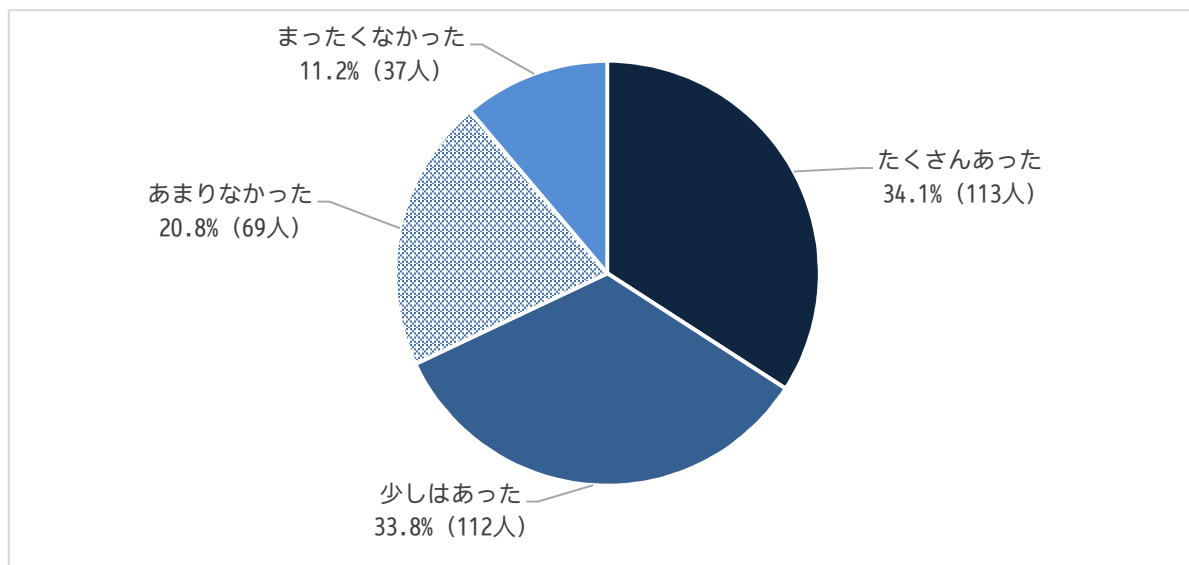
6割を超える人が、週に1回以上本を読んでいる。

年代別では、週に1回以上読んでいる割合は、70代、80代ではともに7割を超え、最も高い。次いで、30代が66.6%と高いが、全体としては、年代が上がるにつれて読書が習慣化する傾向が見られる。

性別では、男性が女性より3.6ポイント高い。

問6 あなたは、子どものとき、家族に本を読んでもらったり、昔話を聞いたりしたことはありますか？（絵本を含む。）（1つ選択）

（回答者：331人）

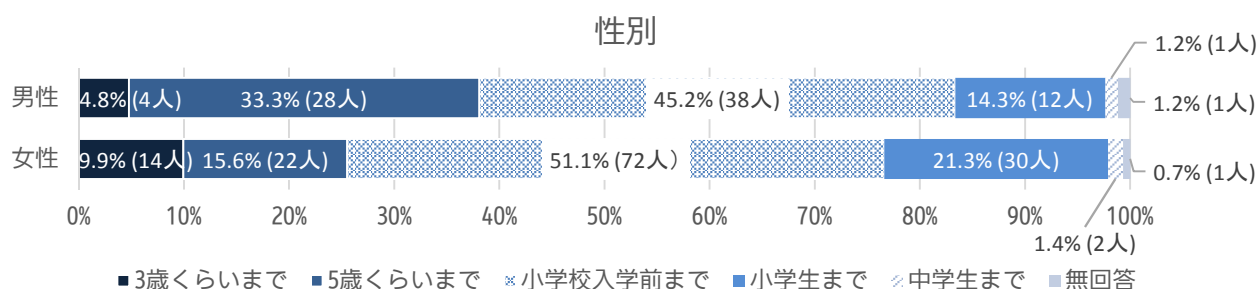
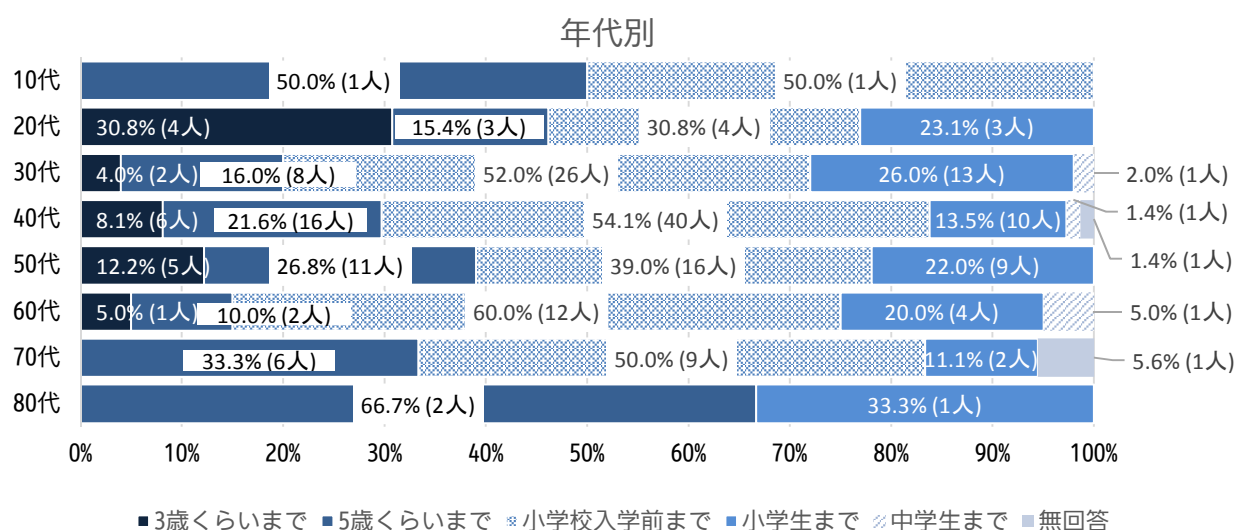
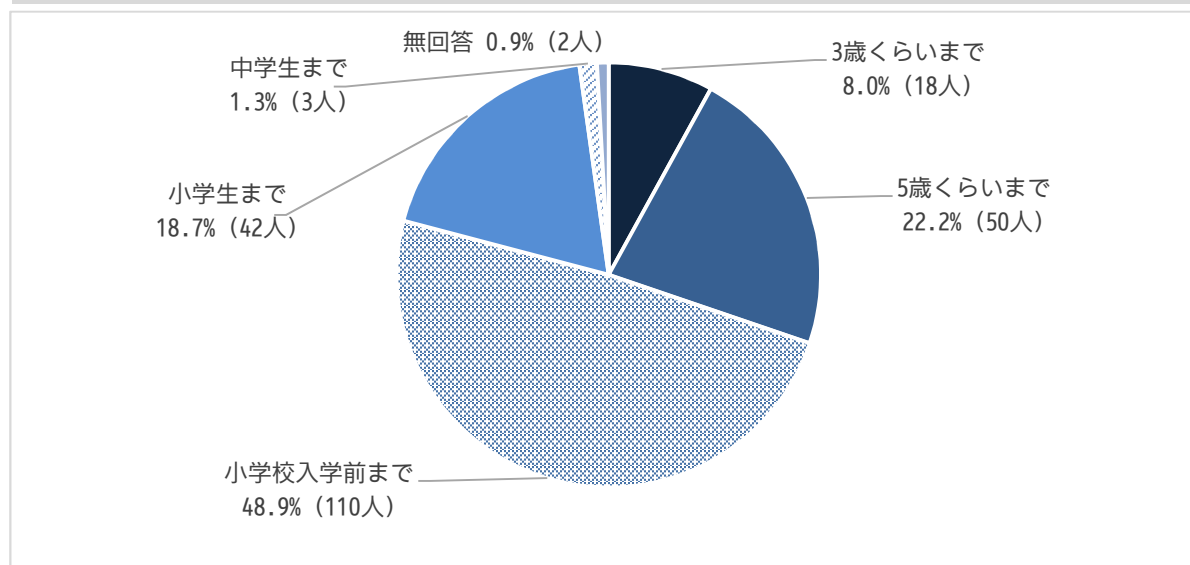


67.9%の人が「たくさんあった」、「少しはあった」と回答。

年代別では、若い年代ほど、家族に本を読んでもらったり、昔話を聞いた割合が高い。今の高齢者が子どもだった時代より、家庭での読み聞かせの機会が増えていることが伺える。

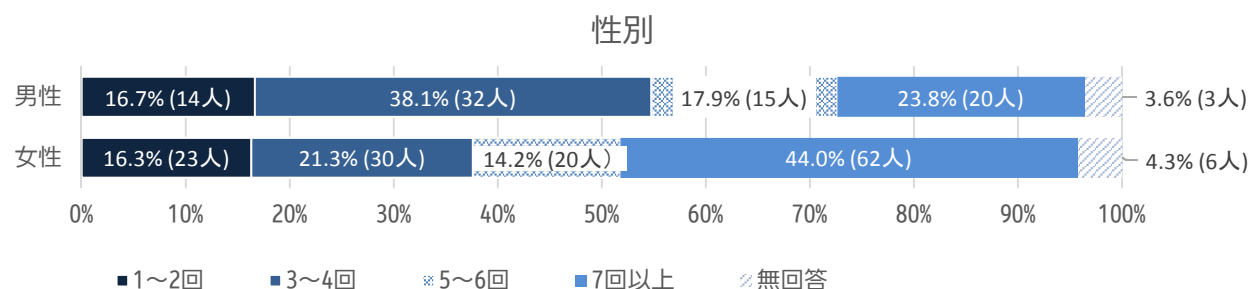
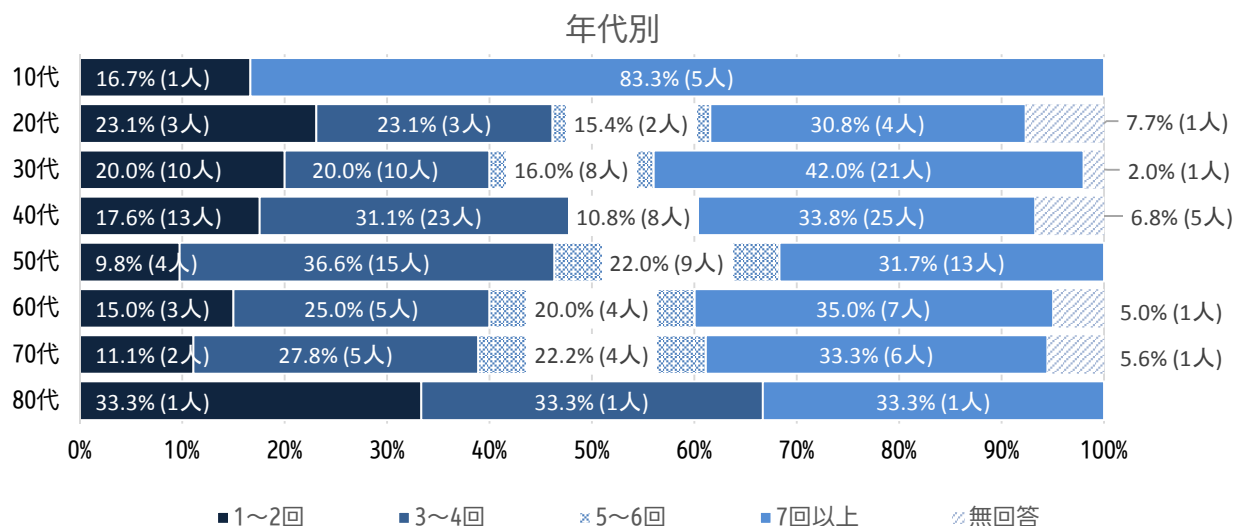
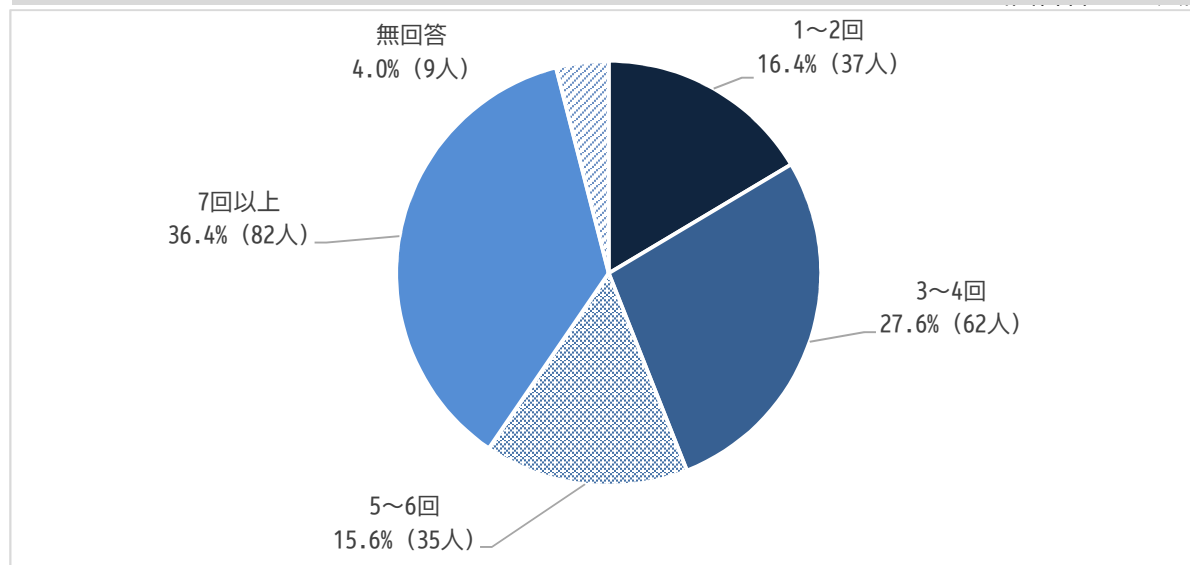
性別では、女性が男性より21.1ポイント高い。

問7 問6で「たくさんあった」「少しはあった」を選んだ方にお尋ねします。
 子どものとき、家族に本を読んでもらったり、昔話を聞いたりしたのは、ご自分が何
 歳くらいまでですか？（1つ選択）
 （回答者：225人）



「小学校入学前まで」読んでもらった人は5割程であり、「3歳くらいまで」、「5歳くらいまで」と合わせると8割近くとなる。
 年代別では、10代から70代までのいずれの年代も、「小学校入学前まで」と回答した割合が多い。
 性別では、「小学校入学前まで」と「小学生まで」を合わせた数は、女性が男性より12.9ポイント高い。

問8 問6で「たくさんあった」「少しはあった」を選んだ方にお尋ねします。
 子どものとき、家族に本を読んでもらったり、昔話を聞いたりしたのは、月に何回くらいですか？（1つ選択）
 （回答者：225人）



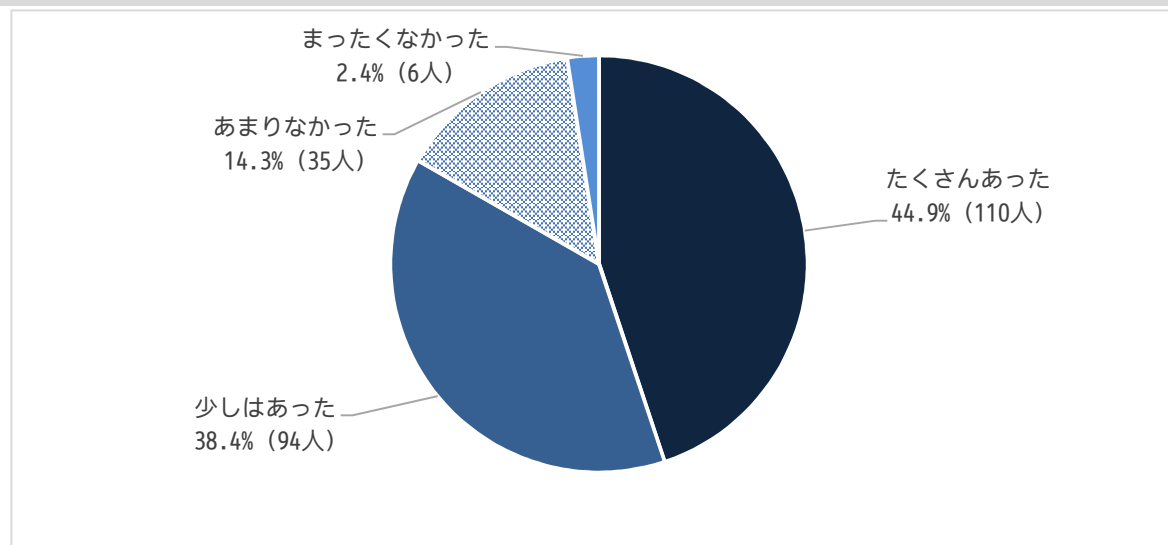
月に「7回以上」読んでもらった人は36.4%と最も多く、「5~6回」と合わせると5割を超える。
 年代別では、10代の「7回以上」読んでもらった人が83.3%であり、20代から70代までのおおよそ5割程度の人は「5~6回」または「7回以上」である。
 性別では、「7回以上」と回答した人は女性が男性より20.7ポイント高い。

問9 お子さんがいらっしゃる方にお尋ねします。

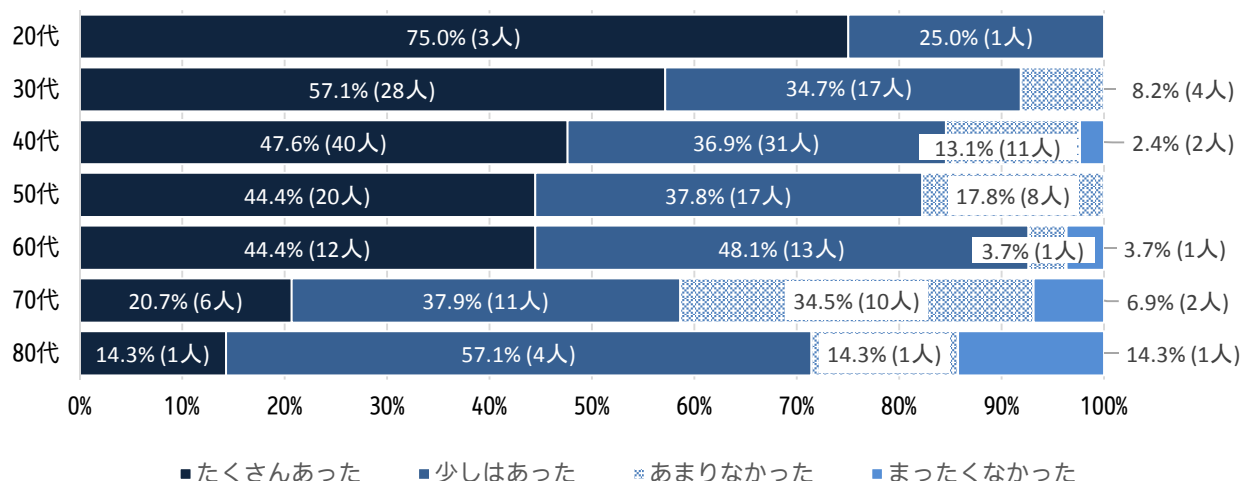
あなたは、お子さんに本を読んであげたり、昔話をしたことがありましたか？

(1つ選択)

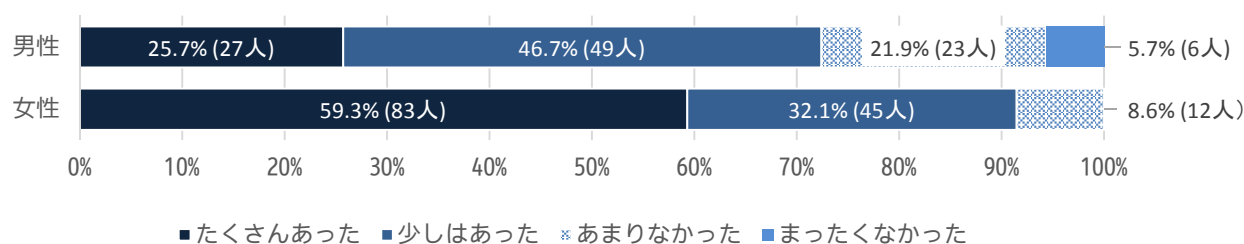
(回答者：245人)



年代別



性別



「たくさんあった」、「少しはあった」と回答した人は、83.3%であり、8割を超える人が、子どもに本を読んであげている。

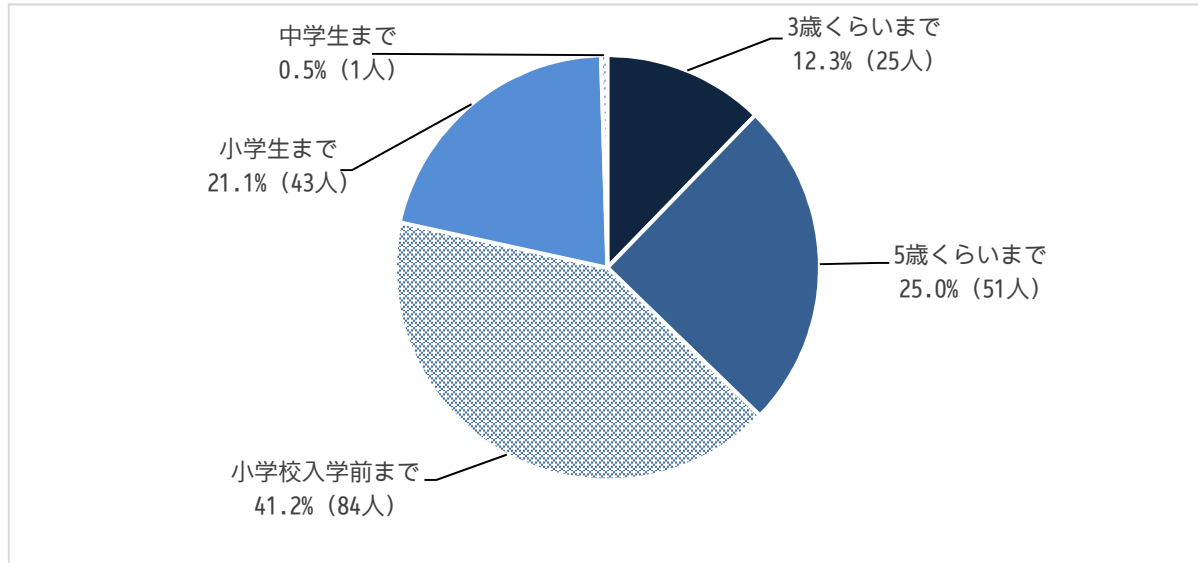
年代別では、「たくさんあった」と答えた割合は、若い年代ほど多くなる傾向が見られる。

性別では、「たくさんあった」、「少しはあった」と回答した人は、女性は91.4%であり、女性が男性より19ポイント高い。

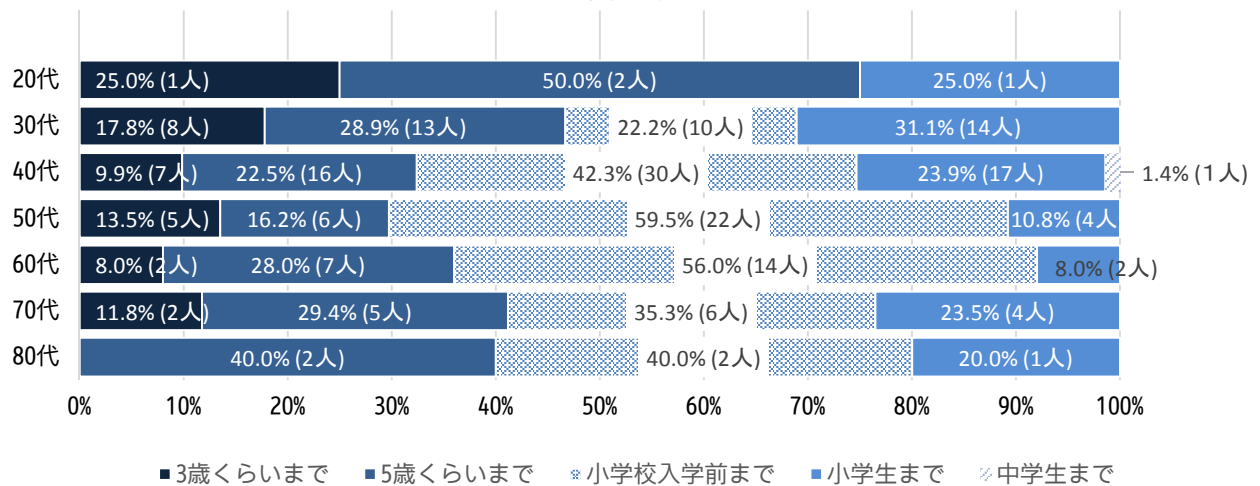
問6で、34.1%の人が自分が子どものときにたくさん本を読んでもらったが、問9で44.9%の人が自分の子どもにたくさん本を読んであげたと回答しており、読み聞かせが積極的に行われている。

問10 問9で「たくさんあった」「少しはあった」を選んだ方にお尋ねします。
本を読んであげたり、昔話をしたのは、お子さんが何歳くらいまでですか？
(1つ選択)

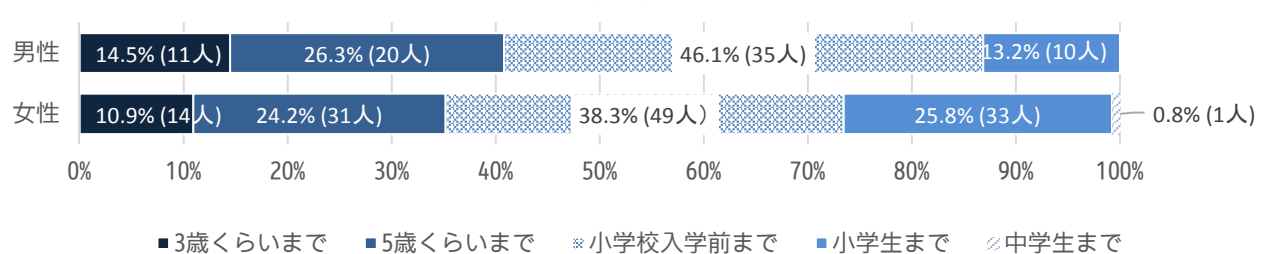
(回答者：204人)



年代別

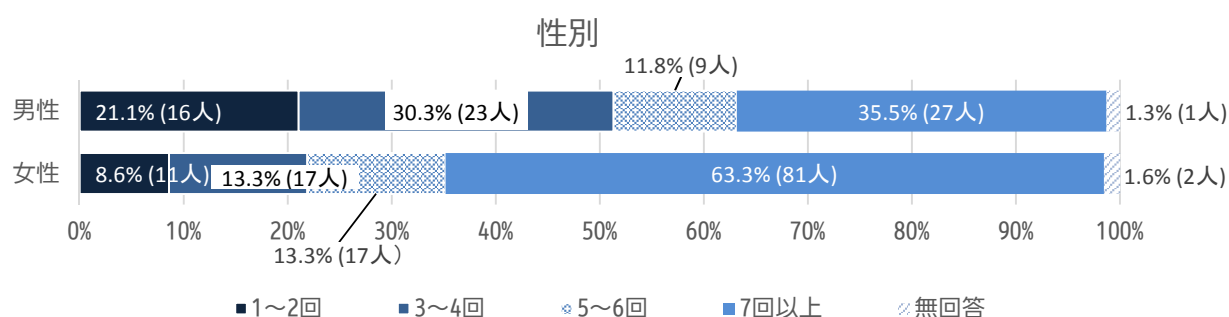
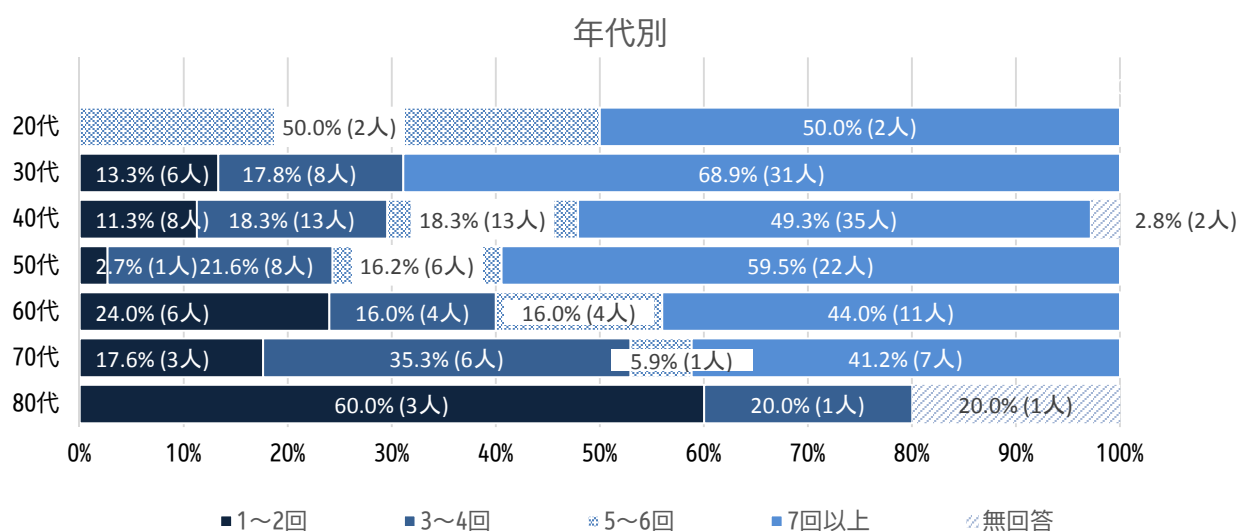
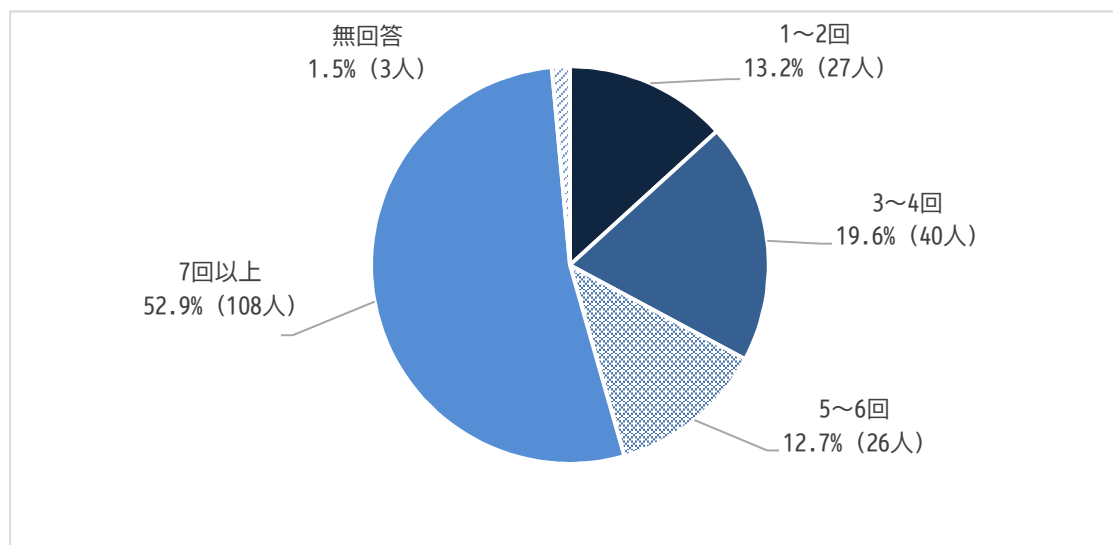


性別



問7では、家族から「小学校入学前」まで読み聞かせをしてもらった人は48.9%であり、自分の子どもに読み聞かせをしたのも「小学校入学前」までが41.2%となっており、それぞれ最も高い割合となっている。

問11 問9で「たくさんあった」「少しはあった」を選んだ方にお尋ねします。
本を読んであげたり、昔話をしたのは、月に何回くらいですか？（1つ選択）
（回答者：204人）



「たくさんあった」「少しはあった」を選んだ方のうち、月に「7回以上」と答えた人は52.9%であり、「5~6回」と合わせると65.6%になる。

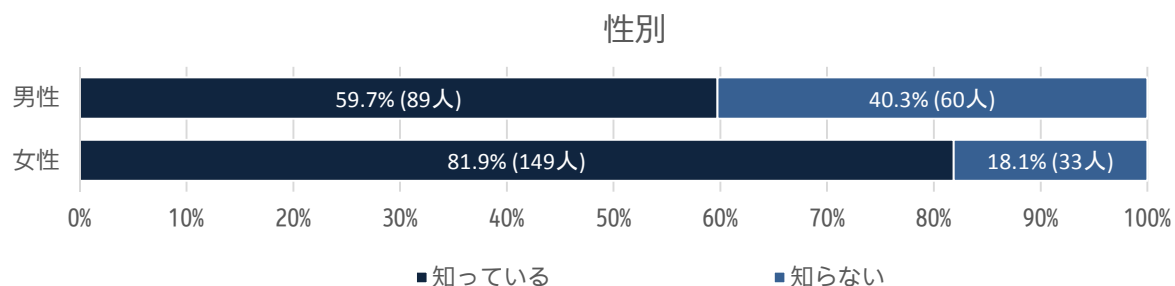
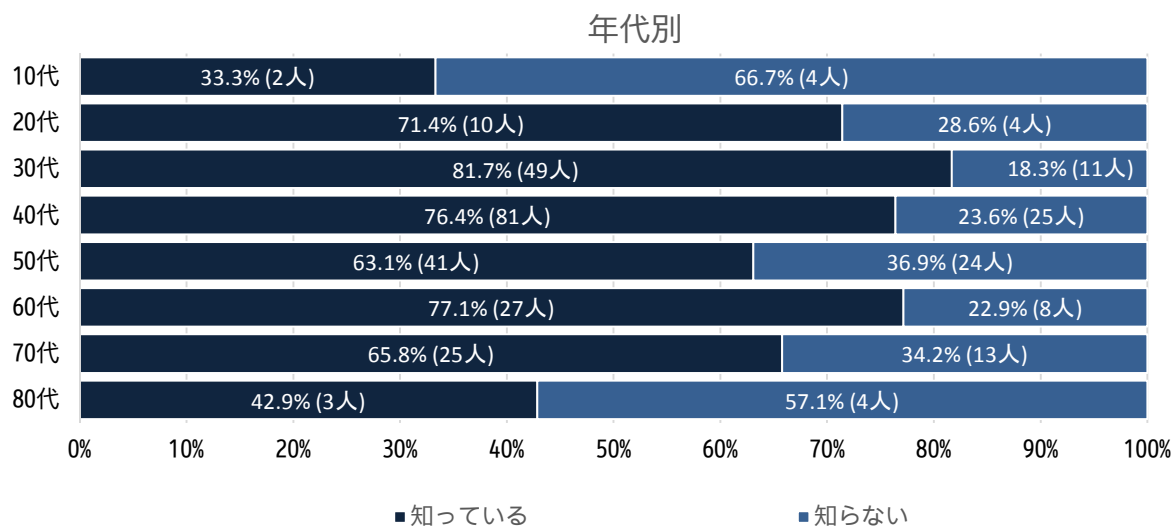
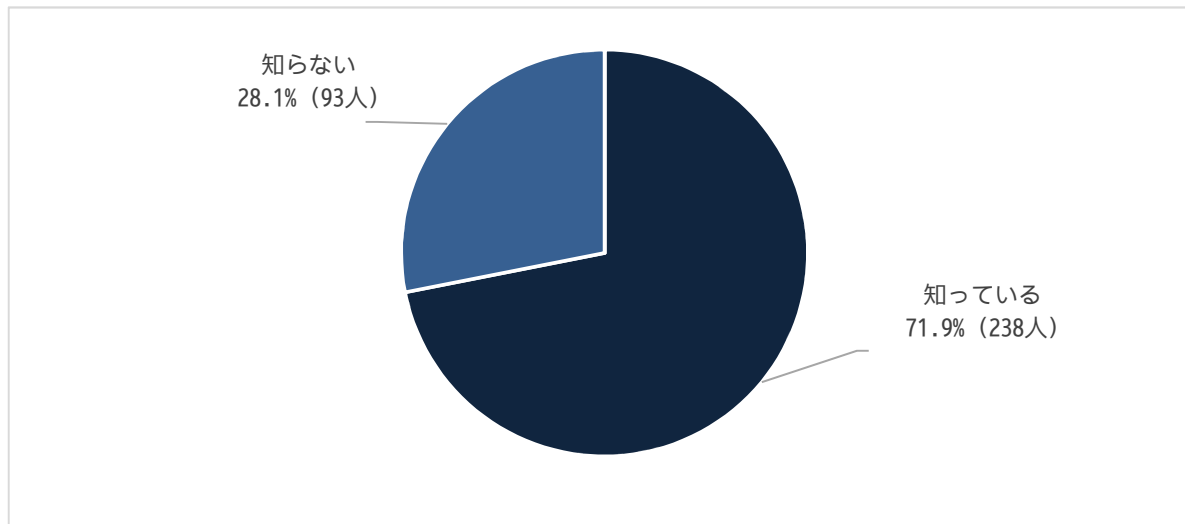
年代別では、子育て世代である30代の7割近くが「7回以上」読んでいる。性別では、「7回以上」と回答した割合は、女性が男性より27.8ポイント高い。

問8で、自分が子どものときに本を読んでもらったのが「7回以上」だった人は36.4%であるが、自分の子どもに「7回以上」本を読んでもらっていたのは52.9%であり、7回以上読む人の割合が増えている。

第3章 郡山市図書館の読書活動推進事業について

問12 郡山市図書館で定期的に子ども向けの「おはなし会」を開催していることを知っていますか？（1つ選択）

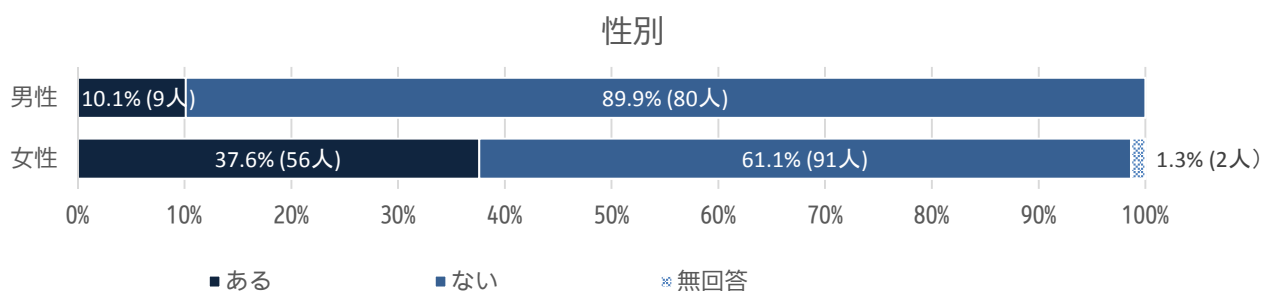
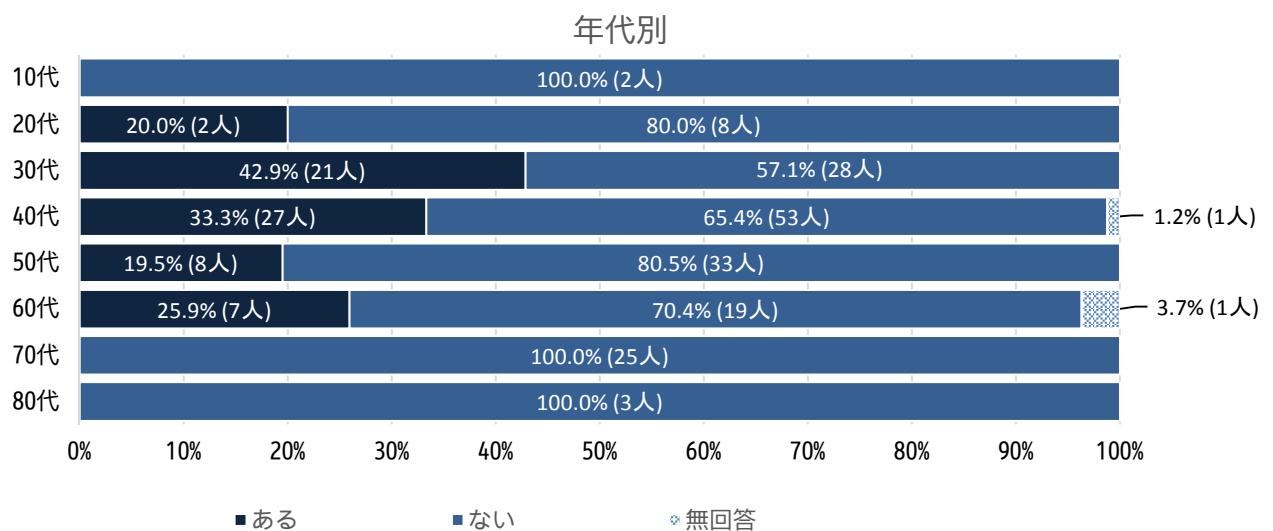
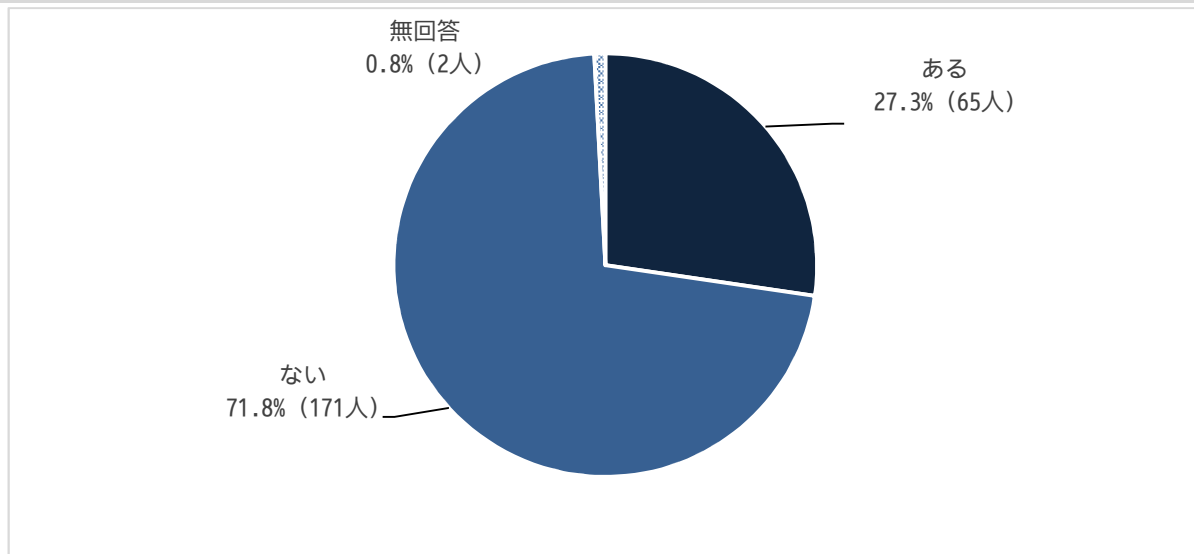
（回答者：331人）



およそ7割の人が「知っている」と回答。
30代が81.7%と最も高く、次いで40代、60代となる。
性別では、女性が男性より22.2ポイント高い。

問13 問12で「知っている」を選んだ方にお尋ねします。
「おはなし会」に参加したことがありますか？（1つ選択）

（回答者：238人）

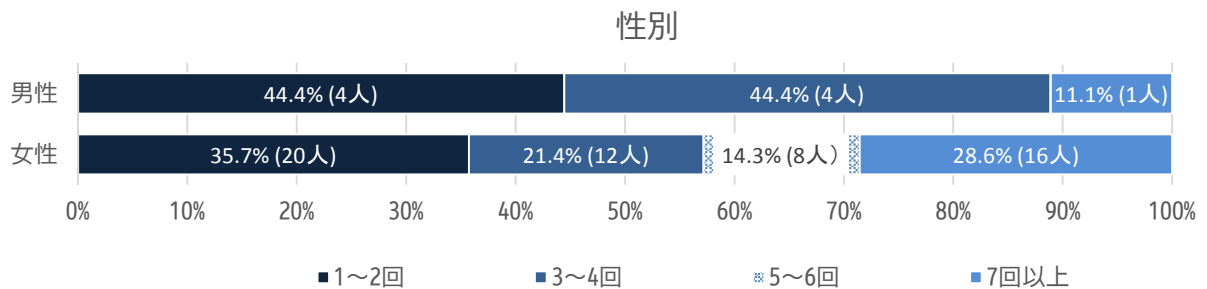
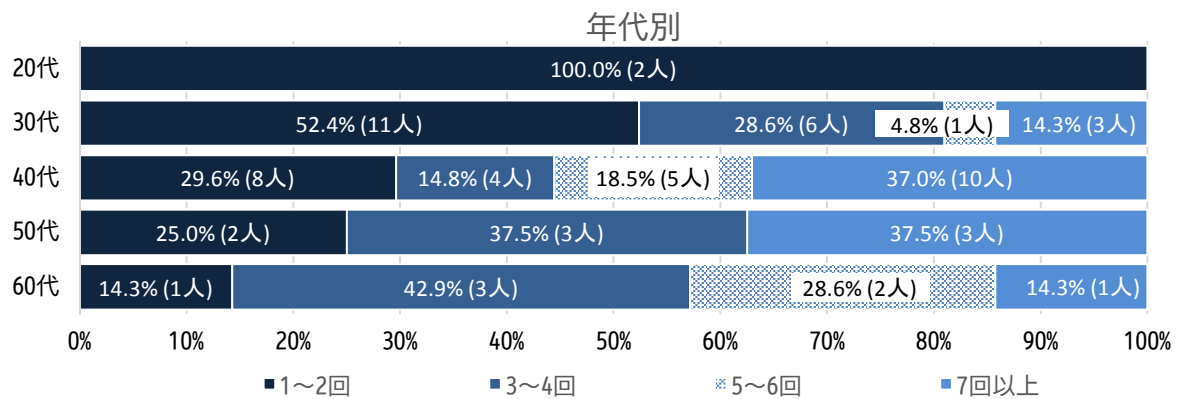
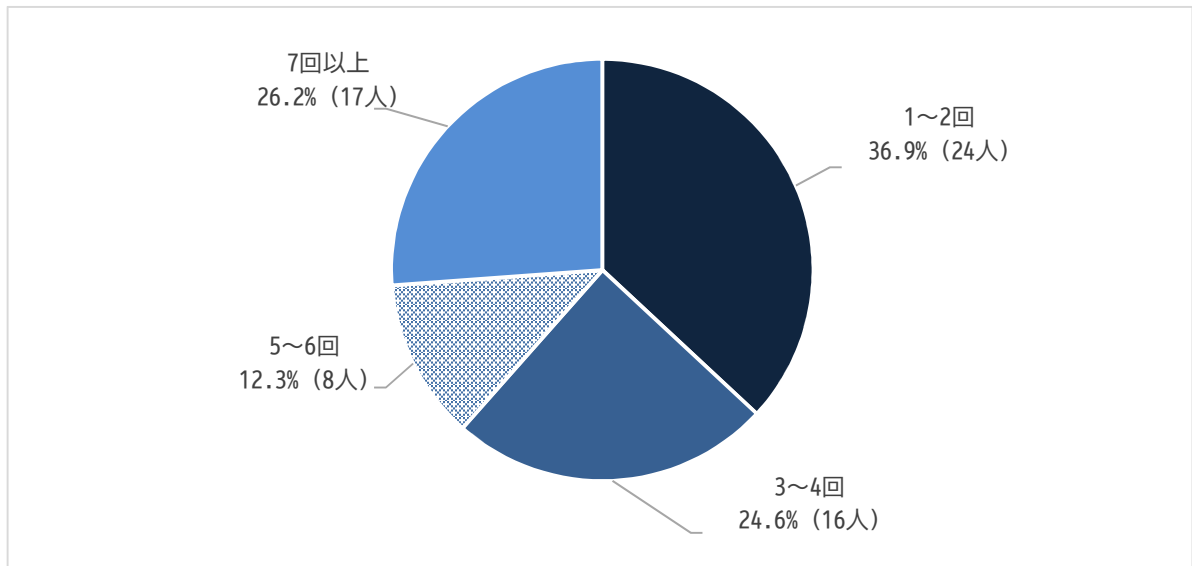


知っていて、参加したことが「ある」人は3割弱である。（ただし、参加できるような子どもが身近にいるかという問題がある。）参加率を上げるためには、開催日時等について工夫する必要がある。

年代別では、子育て世代である30代が42.9%と最も高く、性別では、女性が男性より27.5ポイント高い。

問14 問13で「ある」を選んだ方にお尋ねします。
 延べ何回くらい参加したことがありますか？（1つ選択）

（回答者：65人）

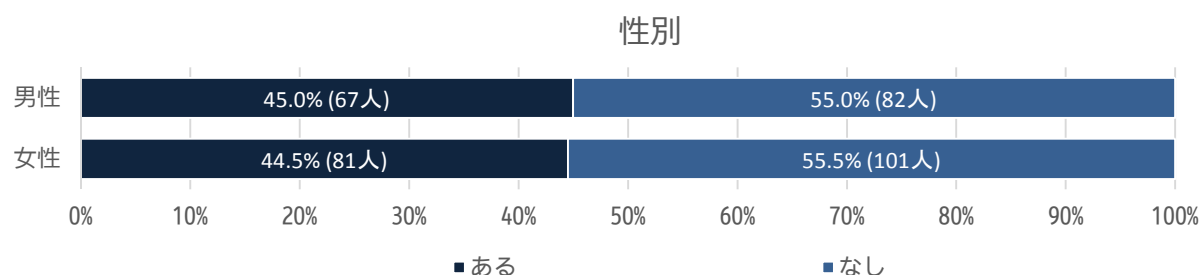
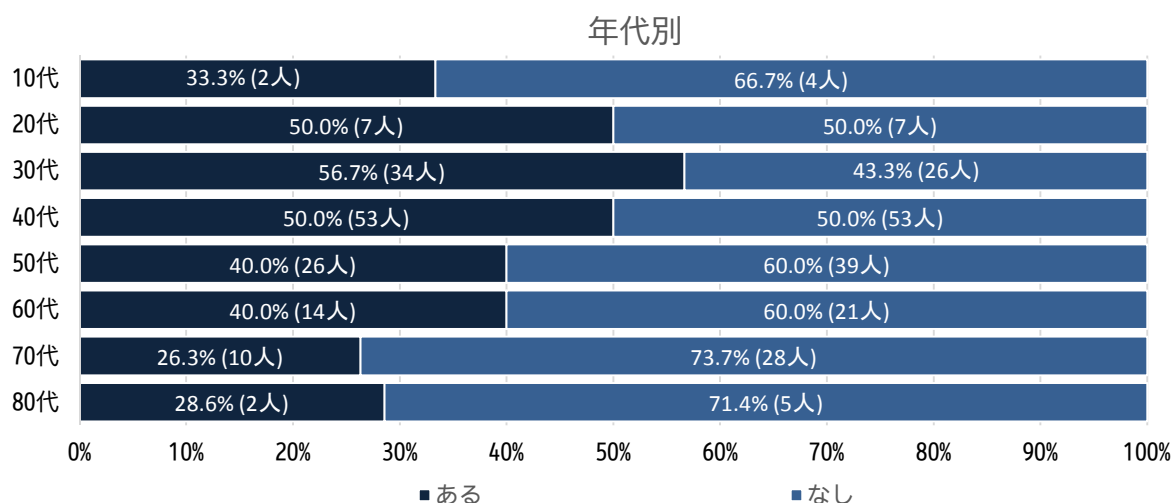
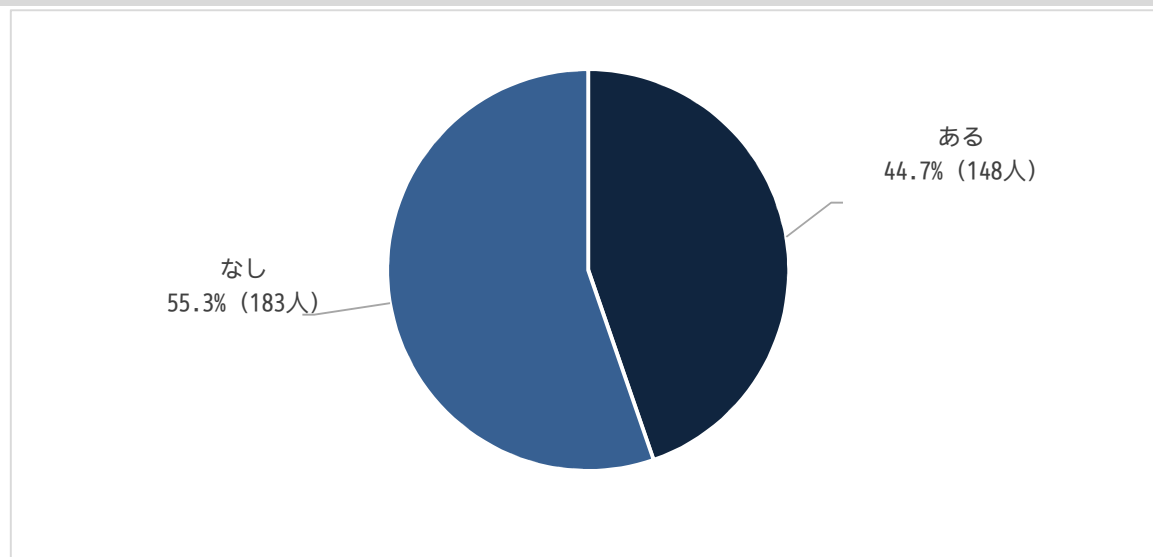


「1~2回」と回答した人が最も多く、36.9%であるが、「7回以上」の人は26.2%と全体の1/4程度である。

年代別では、「7回以上」「5~6回」を合わせると、40代が55.5%（それぞれ37.0%、18.5%）であり、5割を超える。

第4章 電子書籍の利用について

問15 あなたは、電子書籍（※1）で読書をしたことがありますか？（1つ選択）
（回答者：331人）



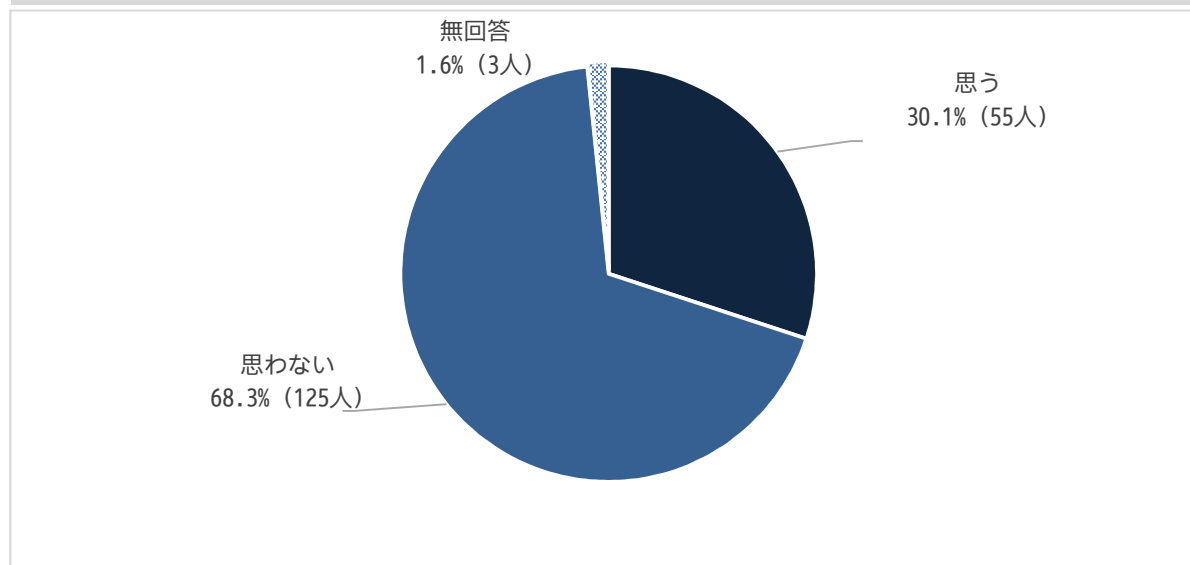
電子書籍を利用したことが「ない」と答えた人は5割を超える。
年代別では、電子書籍を利用したことが「ある」と答えた人が最も多いのは、30代の56.7%であり、20代、40代では「ある」と「ない」が同数である。
性別でみると、男女で大きな差は見られない。

（※1） 専用の端末や、タブレット、スマートフォン、コンピューターなどで読むことのできるデジタルデータ化された書籍。

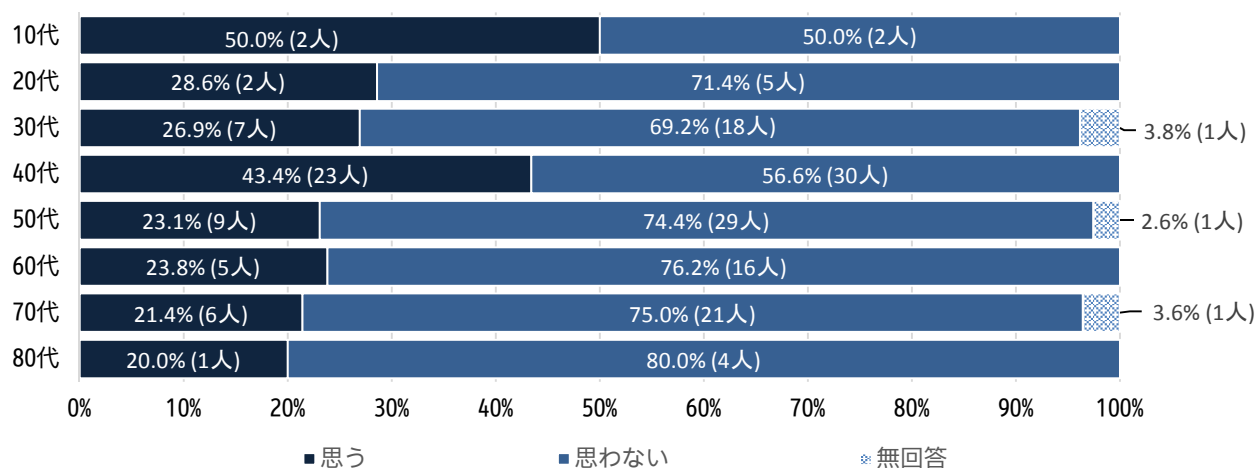
問16 問15で「ない」を選んだ方にお尋ねします。

今後、電子書籍を使ってみたいと思いますか？（1つ選択）

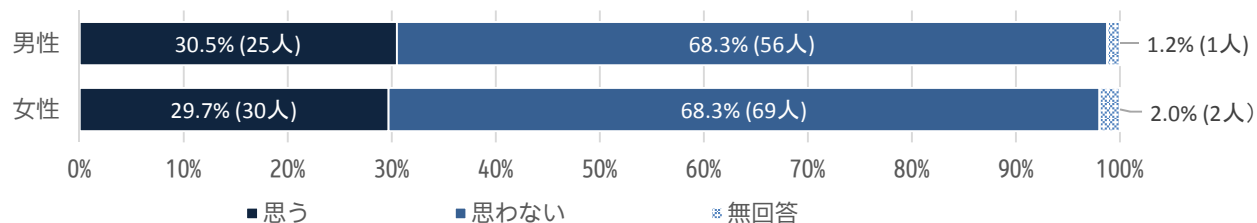
（回答者：183人）



年代別



性別



問15で「ない」と回答した人のうち、7割弱が電子書籍を利用したいと「思わない」と回答しているが、40代では、電子書籍を使ってみたいと「思う」人の割合が43.4%と高い。

性別では、男女とも「思う」と「思わない」の割合はおおよそ3：7であり、ほとんど差はない。

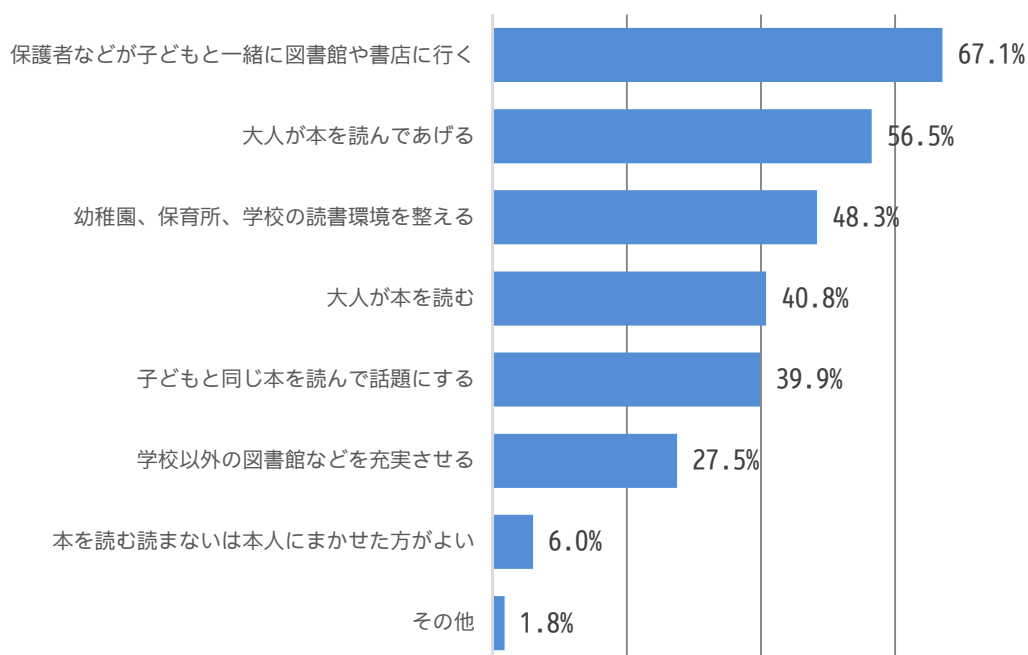
第5章 子どもの読書活動への支援について

問17 どうすれば子どもたちがもっと本を読むようになると思いますか？

(複数回答可)

(回答者：331人)

選択肢	回答数
保護者などが子どもと一緒に図書館や書店に行く	222人
大人が本を読んであげる	187人
幼稚園、保育所、学校の読書環境を整える	160人
大人が本を読む	135人
子どもと同じ本を読んで話題にする	132人
学校以外の図書館などを充実させる	91人
本を読む読まないは本人にまかせた方がよい	20人
その他	6人



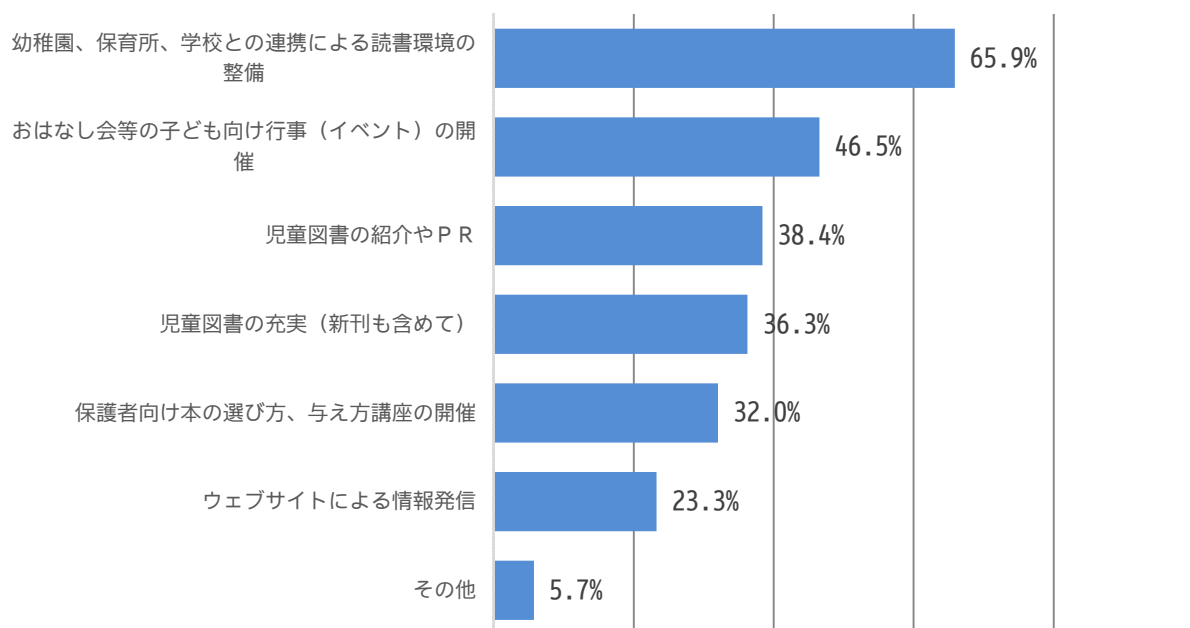
67.1%の人が「保護者などが子どもと一緒に図書館や書店に行く」と回答。次いで、「大人が本を読んであげる」56.5%、「幼稚園、保育所、学校の読書環境を整える」48.3%、「大人が本を読む」40.8%、「子どもと同じ本を読んで話題にする」39.9%であり、身近にいる大人の果たす役割が大きいことが伺える。

このことから、親世代である30～40代が本に触れたり、読書をする機会が増えるような取組についても、併せて進めていく必要がある。

問 18 子どもの読書活動を推進するために郡山市図書館は何をすべきだと思います
(複数選択可)

(回答者：331人)

選択肢	回答数
幼稚園、保育所、学校との連携による読書環境の整備	218人
おはなし会等の子ども向け行事（イベント）の開催	154人
児童図書の紹介やP R	127人
児童図書の充実（新刊も含めて）	120人
保護者向け本の選び方、与え方講座の開催	106人
ウェブサイトによる情報発信	77人
その他	19人



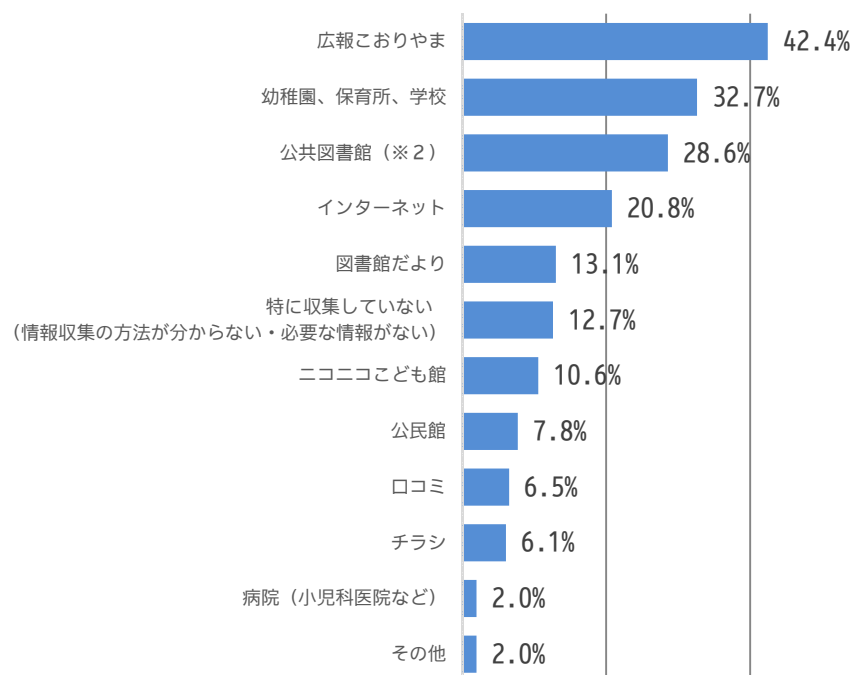
子どもの読書活動を推進するためには、「幼稚園、保育所、学校との連携による読書環境の整備」（65.9%）と回答した人が最も多い。また、おはなし会等のイベントや講座の開催、本の紹介等に対するニーズも挙がっており、積極的にP Rしていくことが求められている。

問19 お子さんがいらっしゃる方にお尋ねします。

子どもの読書活動に関する情報（読み聞かせ方法、選書、図書館での行事等の情報）をどこから収集していますか？（複数選択可）

（回答者：245人）

選択肢	回答数
広報こおりやま	104人
幼稚園、保育所、学校	80人
公共図書館※	70人
インターネット	51人
図書館だより	32人
特に収集していない（情報収集の方法が分からない・必要な情報がない）	31人
ニコニコこども館	26人
公民館	19人
口コミ	16人
チラシ	15人
病院（小児科医院など）	5人
その他	5人



子どもの読書活動に関する情報について、「広報こおりやま」（42.4％）から収集している人が最も多く、次いで「幼稚園、保育所、学校」（32.7％）、「公共図書館」（28.6％）であり、紙媒体での収集率が高い。

（※2） 自治体が設置する公共図書館と、法人等が設置する私立図書館の総称。

問20 郡山市図書館の運営や子どもの読書活動について、ご意見等ございましたら、ご自由にお書き下さい。

(回答者：133人)

図書館の施設環境・資料等について

- ・郡山は図書館がたくさんあり、子育てに最高の環境だと思っています。(30代・女性)
- ・子ども向けに本の貸出atmを設置して欲しいです。(銀行のような通帳に借りた本のタイトル、金額が記載されていくもの)(30代・女性)
- ・子どもが集中して読書が出来る空間があってもいいのかもしれないと思います。(40代・男性)
- ・子どもの本のスペースはもう少し気軽に話しながら本を選べるような雰囲気があると足を運びやすいと思います。(40代・女性)
- ・保護者の一押しの童話や絵本など情報を得ることができるサイトを開設して欲しい。(60代・男性)
- ・図書館へ行かないと、新刊情報等入手できないし、児童書のコーナーが狭い。もっと小さい子どもが床に座って読めるスペースが欲しい。蔵書も少ないし、古い本が多いと思います。(40代・女性)
- ・ライトノベルや参考書など中高生が読みたい分野の本が少ないと思うので、それらを充実させることで、中高生の読書推進につながるのではないかと思います。(40代・女性)

図書館のイベントについて

- ・子どもと一緒に参加できる本の魅力などを発信するようなイベントに期待しています。(30代・女性)
- ・親子だけでなく大人も参加できる魅力的な子どものお話会、保護者や祖父母向けの本の与え方や選び方の情報発信(SNS等を含め)、子どもが楽しむには大人が楽しまないと楽しめないのでは、大人向けのお話会もあれば楽しいかと思います！(40代・女性)
- ・同じ図書館でのおはなし会を週1回程度は開催してほしい。(30代・女性)
- ・親を対象とした良い本の選び方や、子どもが本を好きになるために必要なことなどを教える機会があればいいと思う。(40代・男性)
- ・図書館の中でのおはなし会も、楽しさはあるが、一歩引いた内容ばかりだからリピーターになりにくい。(30代・女性)

学校等との連携について

- ・毎日、学校で10分でもよいから、読書する時間を作り、習慣化できるようになったら良いと思います。(50代・女性)
- ・学校と連携を図り、学校にはない本を移動図書で学校に来たりすると子どもが興味をもち、さらに読書意欲が湧くのではないかと考えます。(30代・女性)
- ・保育園、幼稚園などへ出張図書館など出かけていく機会を増やすとか、イベントを増やして子ども達と本の接点をもっと増やすなどの活動をしてほしいと思います。(50代・女性)
- ・新入学生さん向けに、図書館の利用についてなどのプリントがあればと思います。(30代・女性)

大人の果たす役割について

- ・大人が読書を楽しむ姿を見せるのが一番だと思います。(50代・女性)
- ・親の影響がとても大きいと思うので、なるべく親自身が本に触れる、また子どもを本に触れさせるような環境を作るべきだと思います。(50代・男性)
- ・子どもに読書の習慣をつけさせる王道は、先ず大人が本を読み、楽しみ、その姿を子どもに見せることと考える。それ故、もっと読書をさせたいと考えるあまり、大人の論理で、押しつけや、強制させるようなことは、厳に慎みたいものである。(70代・男性)

幼少期の読書経験が大人になって与える影響について

- ・小さい時本をどのくらい読んでやったかで変わるようです。(30代・女性)
- ・小さい頃は親が本が好きだった影響で、絵本や児童書がたくさんあり、図書館へ行く事も多い環境の中で過ごしました。そのため今もそれが変わらず続いています。(40代・女性)
- ・読後感想を共有できる友人や親、家族が更に習慣化につながる。(60代・男性)

電子書籍について

- ・今後も図書の充実、電子書籍の配信検討をお願い致します。(30代・男性)

第4回まちづくりネットモニター「日本遺産」

(実施期間：2019年6月3日～6月12日 10日間)



安積開拓・安積疏水を結ぶストーリーは、平成28年に文化庁が認定する「日本遺産」になりました。

「日本遺産」とは、地域の歴史的魅力を通じて伝統や文化を語るストーリーです。このストーリーに関わる文化財等を活用することで、郷土愛の醸成を図り、国内外へ地域の持つ魅力を発信していきます。

つきましては、日本遺産認定から3年が経過し、市民の皆さまが感じていることや、日本遺産の今後の活用について、ご意見を把握するため、アンケートを実施しました。

国際政策課

調査概要

- ・回答方法 専用ウェブサイトからの回答
- ・モニター数 360名（男性159名、女性201名）
- ・回答数 323名（男性147名、女性176名）
- ・回答率 90%

【参考】



日本遺産
ウェブページ

結果概要

【日本遺産・安積疏水の認知度】

- ・日本遺産制度、日本遺産認定ともに前回よりも認知度が向上した（問1、問2）
- ・年代別では60代以上、性別では男性の認知度が高かった（問1、問2）
- ・日本遺産に関わらず安積開拓・安積疏水の認知度は高く7割を超えている（問3）

【日本遺産・安積疏水の関心度】

- ・安積開拓・安積疏水に対して、約58%の人が関心をもっている（問6）
- ・日本遺産認定を知っている人ほど関心度が高い傾向にある（問6）
- ・関心がある人ほど日本遺産に関わる活動意欲が高い傾向にある（問6、問12）

【日本遺産に関する取組】

- ・安積疏水の要素が強い施設ほど、日本遺産を認知している人が訪問している（問7）
- ・意図的にみるPRツールは認知度向上に繋がっている（問8）
- ・性別、認知度によって取り組みに対する要望が異なる（問9、問10）

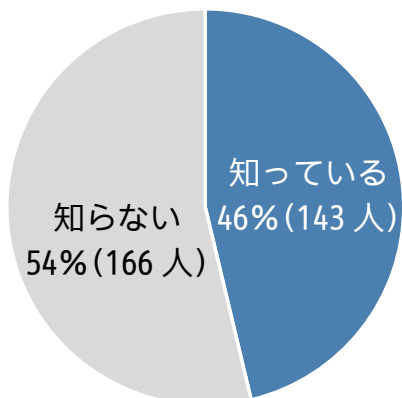
考察

- ・「知る」ことが、安積疏水に興味を持ち郷土愛を実感する機会となっている
引き続き、ターゲットに応じた効果的なアプローチにより、認知度向上に努めたい
- ・家族や知人、学校といった地域の人から安積疏水や日本遺産を知る人が増えた
今後の取組みの柱として、地域プレイヤーの活躍の場を設けたい

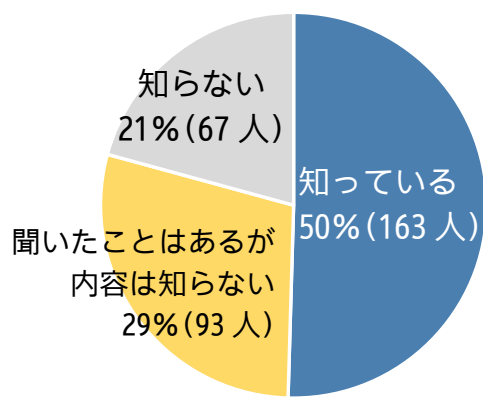
第1章 日本遺産の認知度について

問1 文化庁が地域の文化や伝統が語られているストーリーを「日本遺産」として認定していることをご存知ですか？（1つ選択）

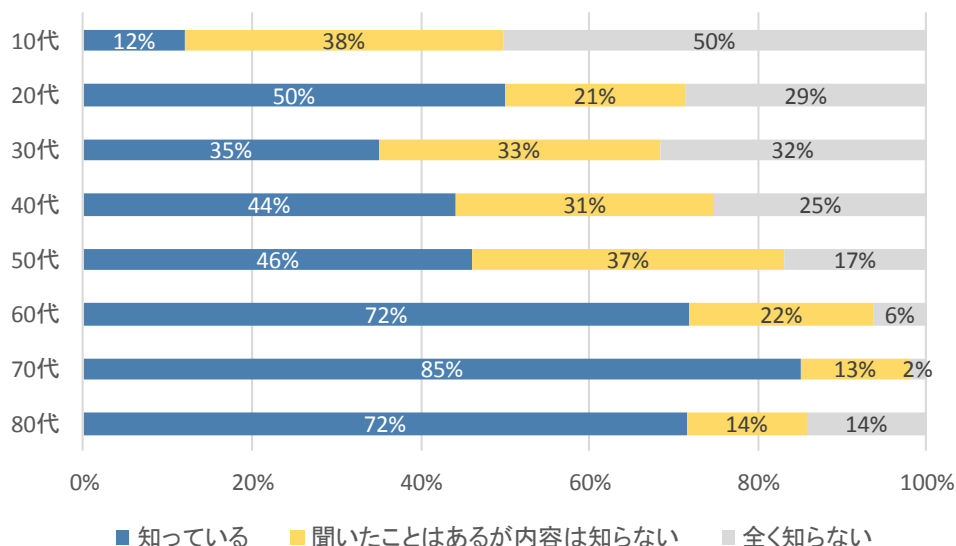
① 【認知度】2018年の調査



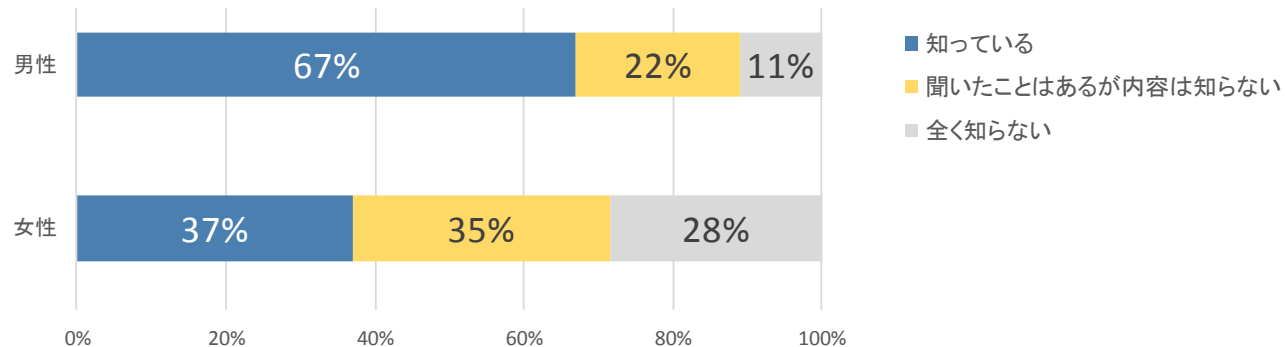
【問1 認知度】2019年の調査



② 【問1 認知度×年代別】年代別の認知度を比較



③ 【問1 認知度×性別】性別の認知度を比較



① 前回調査よりも4ポイント認知度が向上し、認知度は50%に達した。

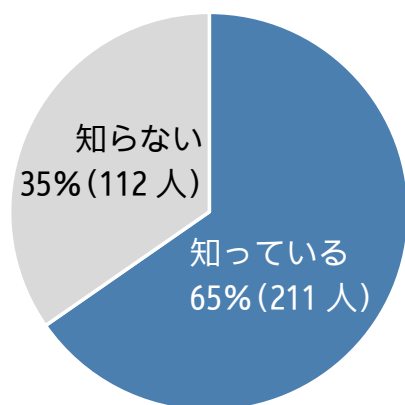
② 年代別に認知度をみると、60代以上が高く、10代と30代が低い。

③ 性別にみると男性の方の認知度が圧倒的に高い。

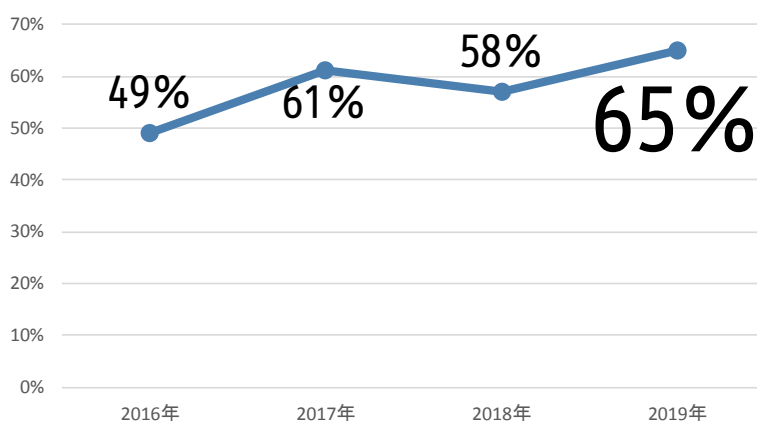
→日本遺産制度を所管する文化庁に報告する。

**問2 安積開拓・安積疏水のストーリーが「日本遺産」に認定されたことをご存知ですか？
(1つ選択)**

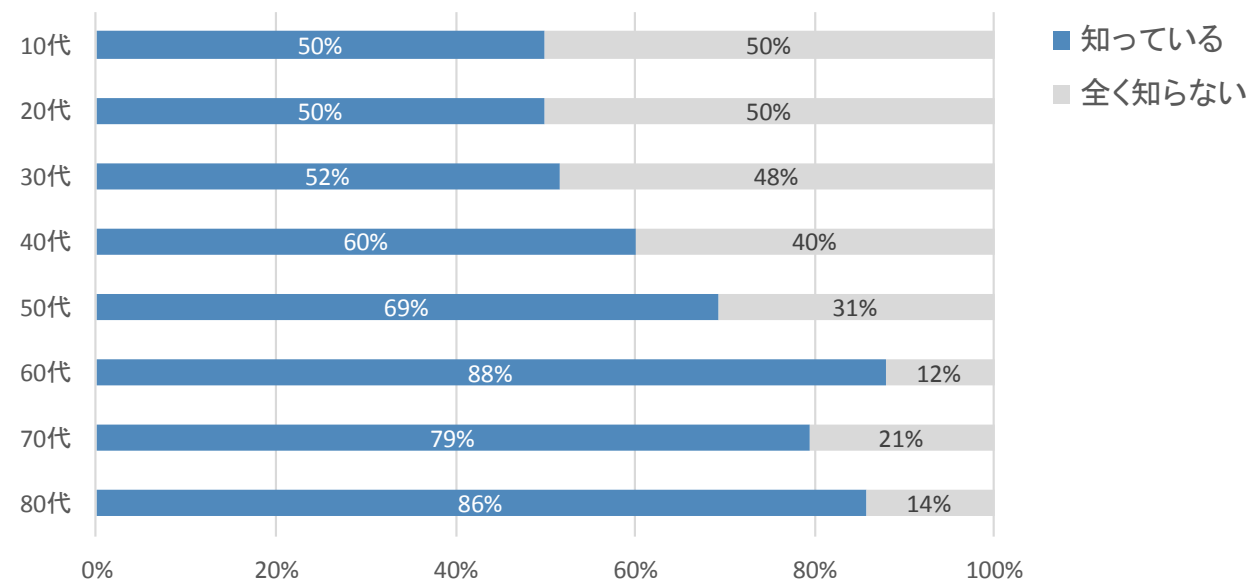
① 【問2 認知度】



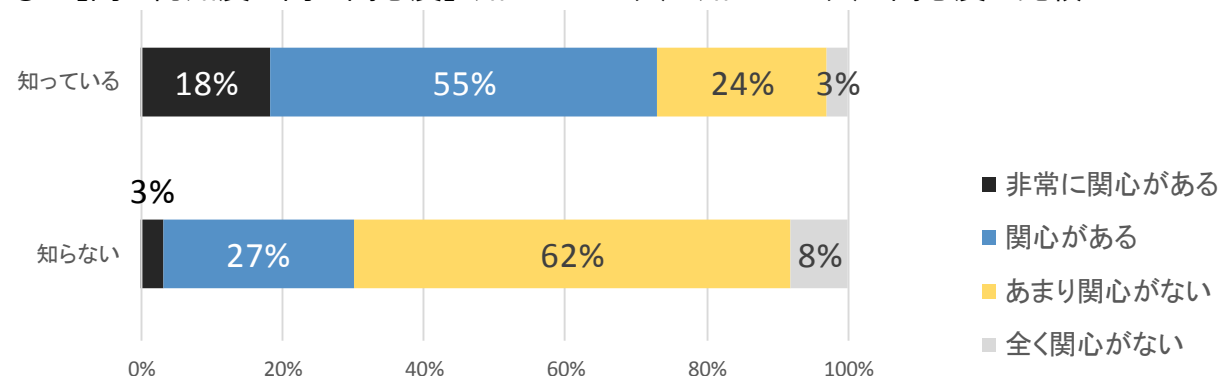
【問2 認知度×過去調査】 認知度の過去からの推移



② 【問2 認知度×年代別】 年代別の認知度を比較



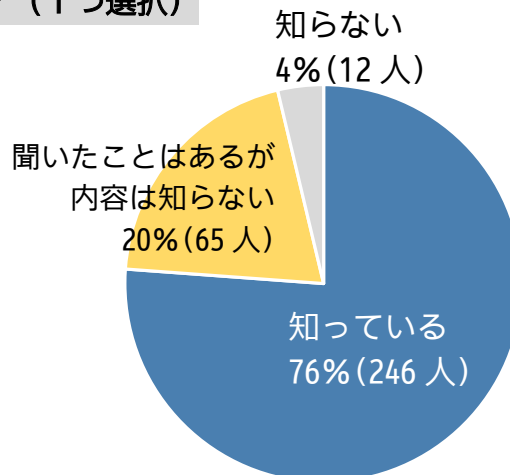
③ 【問2 認知度×問6 関心度】 知っている人と知らない人の関心度を比較



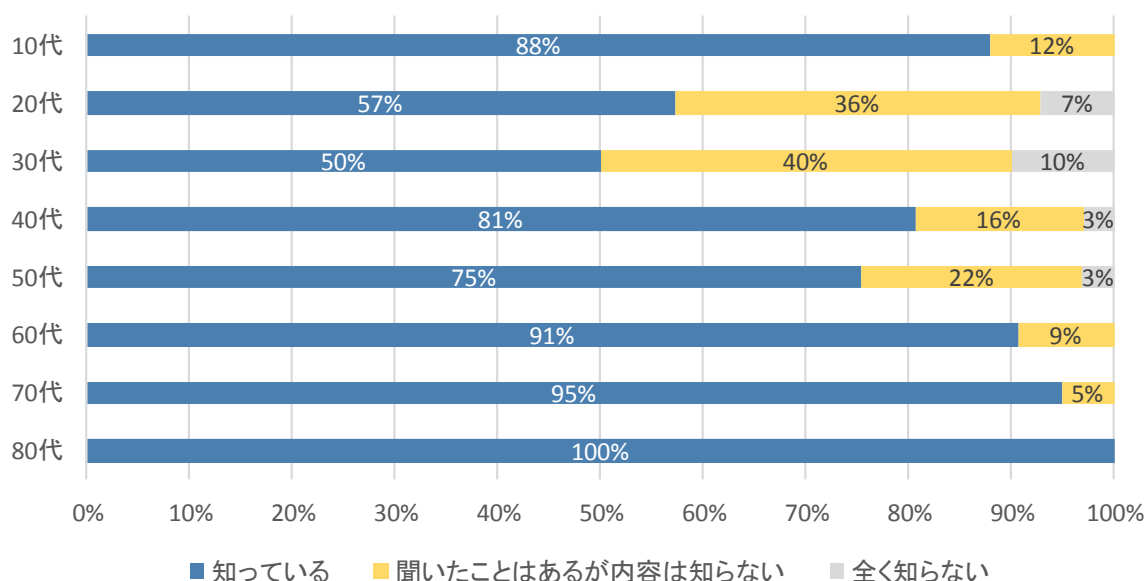
- ① 認知度推移は、全体的に上昇傾向にあり 65%に達した。
 ② 年代別に認知度をみると、全年代で5割を超え、50代以上は7割以上を占めている。
 ③ 問6 関心度との関連性をみると、認知している人の方が関心度は高い。
 →関心度を高めるため、引き続き認知度向上に努める。

問3 「安積開拓・安積疏水」をご存知ですか？（1つ選択）

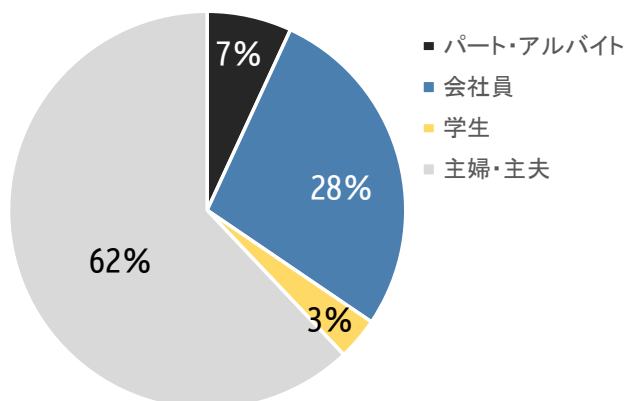
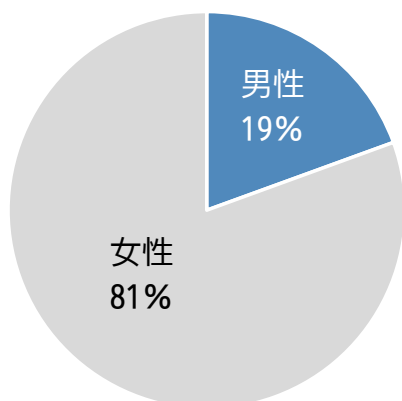
- ① 【問3 認知度】日本遺産認定に関わらず
安積開拓・安積疏水の
認知度を調査



- ② 【問3 認知度×年代別】年代別の認知度を比較



- ③ 【問3:20～30代の知らない人のうち、性別】 【問3:20～30代の知らない人のうち、職業別】

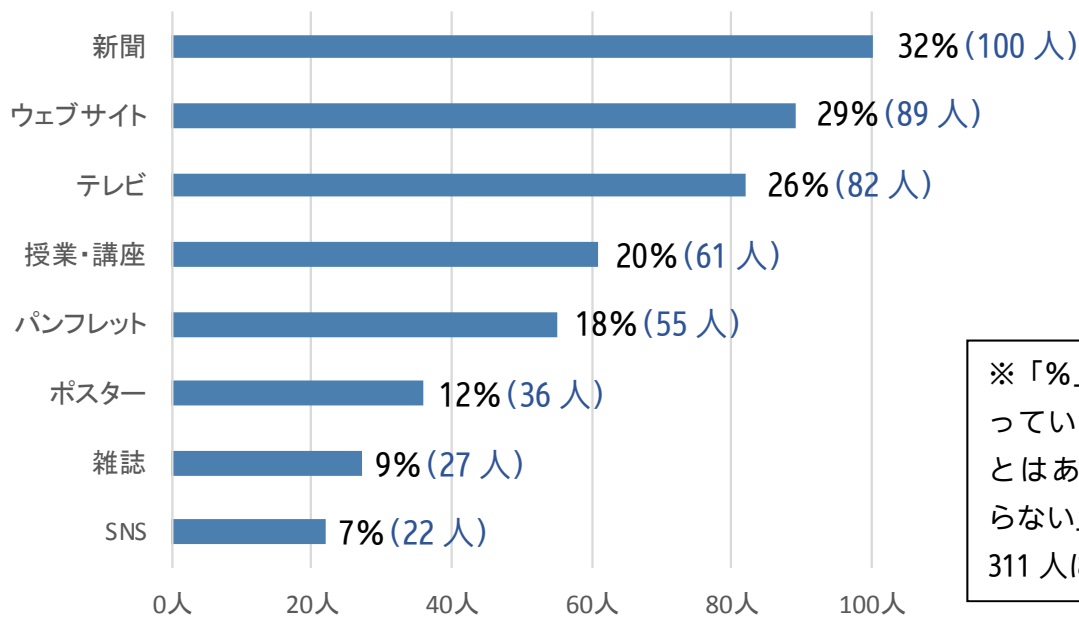


- ① 認知度は7割を超え、聞いたことがある人を含めると9割を超える。
 ② 年代別にみると、20～30代の認知度が目だって低い。
 ③ 性別でみると女性が、職業別にみると主婦（夫）や会社員の認知度が低い。
 →日本遺産認定に関わらず、「安積開拓・安積疏水」の認知度は高い。
 今後、ターゲットを絞り込んだプロモーションが求められる。

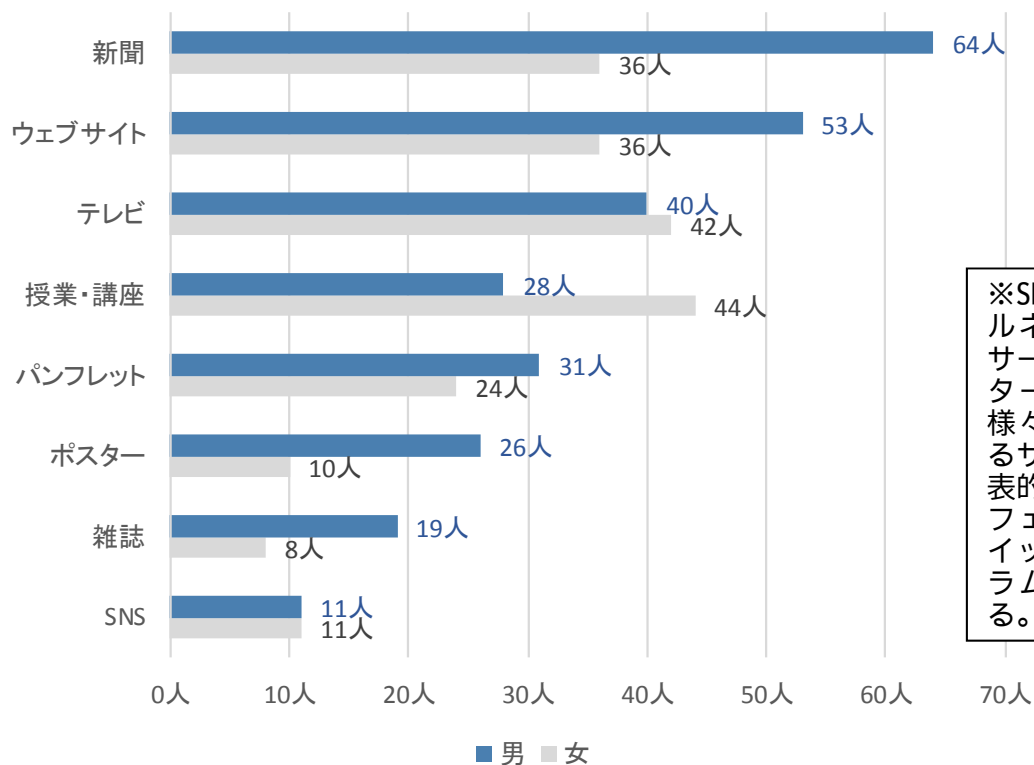
問4 問3で「知っている」「聞いたことはあるが内容は知らない」と選択した方にお伺いします。

「安積開拓・安積疏水」について、どのような媒体から知りましたか？（複数選択可）

① 【問4 認知媒体】 安積疏水・安積開拓を何の情報媒体から知ったか調査



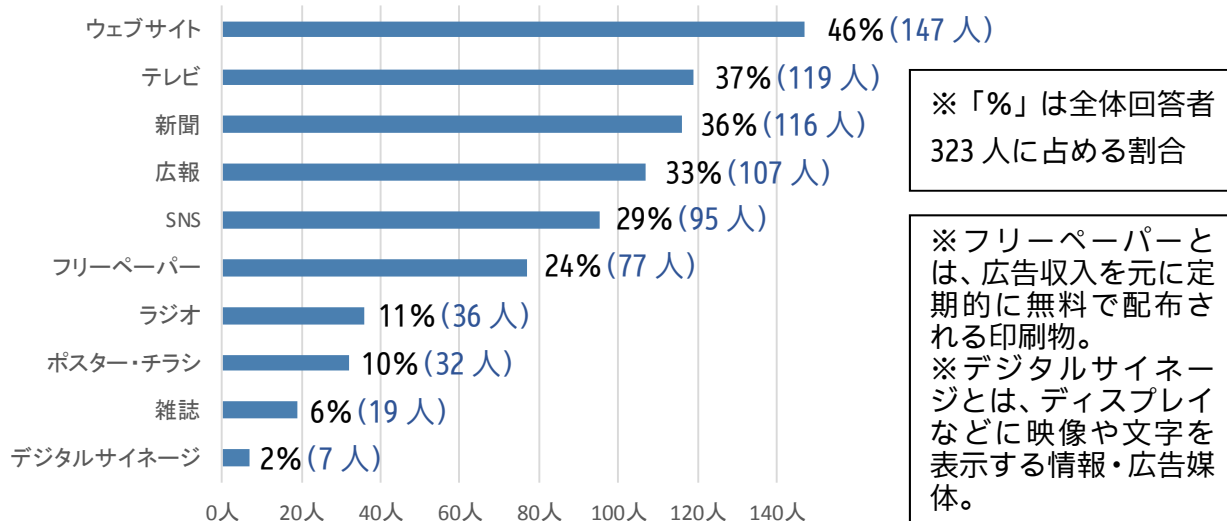
② 【問4 認知媒体×性別】 認知媒体を性別で比較



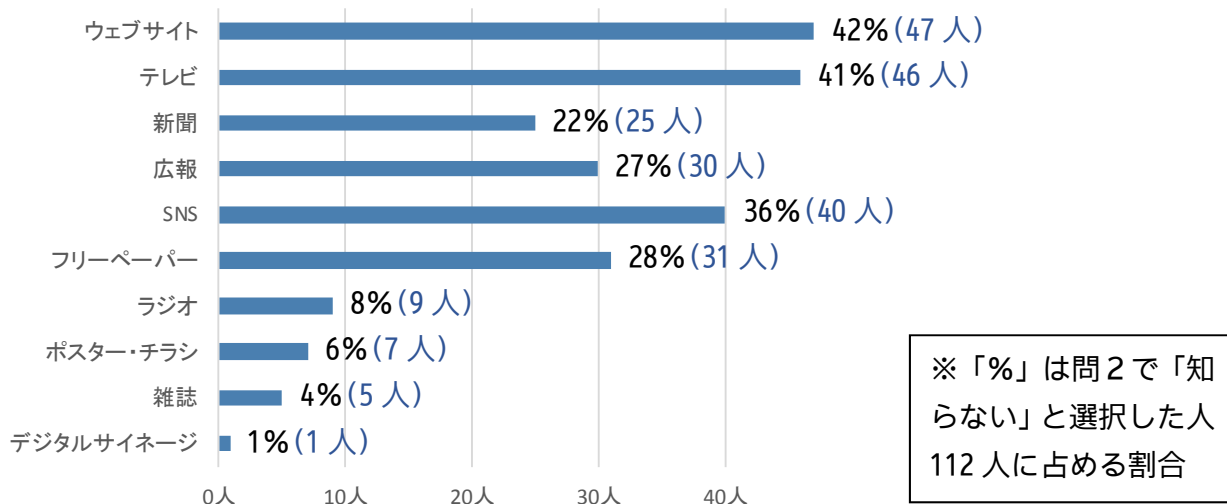
- ① 認知媒体としては、新聞やウェブサイト、テレビが多かった。
- ② 性別にみると、男性は新聞やウェブサイトが、女性はテレビや授業・講座が多かった。
- ③ 選択肢にないその他意見として、「授業・講座から認知した人」が圧倒的に多かった。→行政や関係団体に留まらず、家族や知人から認知した人も複数おり、地域内で広がりを見せた。対象者に応じて、活用する情報媒体の工夫など効果的なプロモーションが求められる。

問5 日頃から情報収集をする方法は、どのような媒体が一番多いですか？（複数選択可）

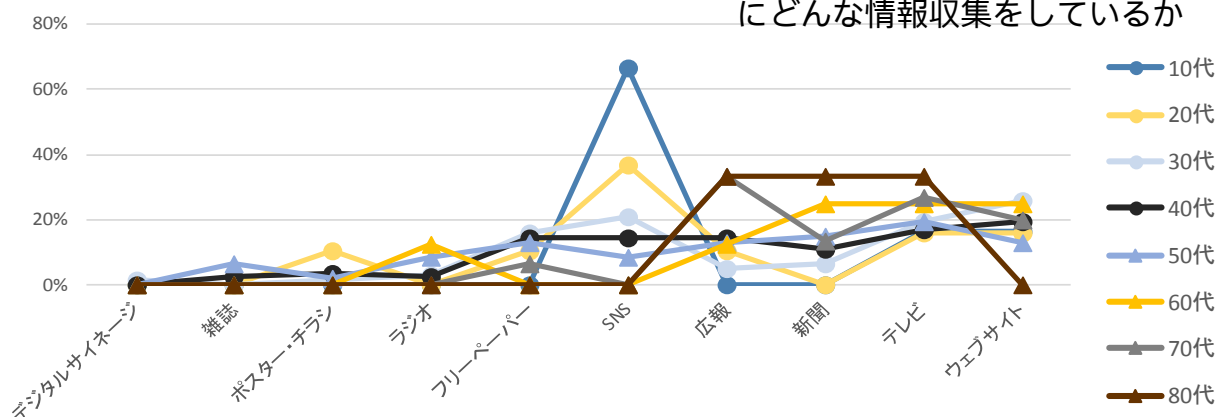
① 【問5 情報収集媒体】日頃から何の媒体で情報収集しているか調査



② 【問2:知らない人のうち、問5 情報収集媒体】日本遺産認定を知らない人はどんな情報収集をしているか



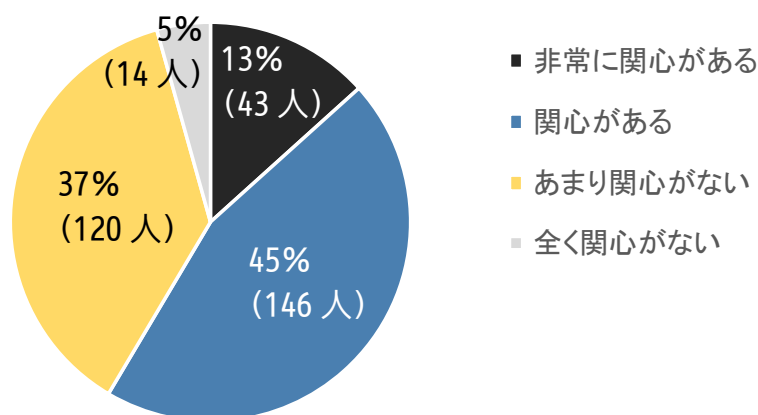
③ 【問2:知らない人のうち、問5 情報収集媒体×年代】日本遺産認定を知らない人は年代別にどんな情報収集をしているか



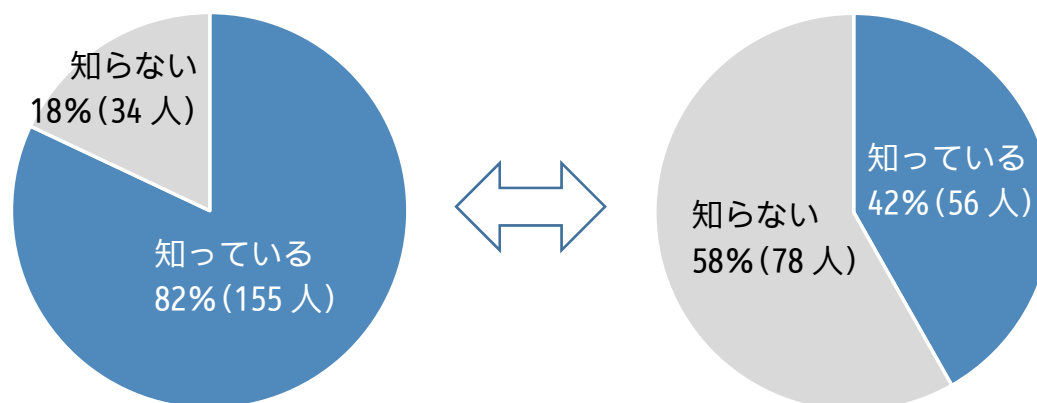
- ① 情報収集媒体としては、新聞や広報よりも、ウェブサイトやテレビと回答した人が多かった。
 - ② 問2 日本遺産認定を知らない人の情報収集媒体として、SNS やフリーペーパーが目立った。
 - ③ 特に年代別にみると、10～30代までは SNS が、60代以降は新聞・広報が多かった。
- 情報媒体を駆使し、ターゲットを絞り込んだプロモーションにより認知度向上を図りたい。

問6 「安積開拓・安積疏水」について、どの程度関心がありますか？（1つ選択）

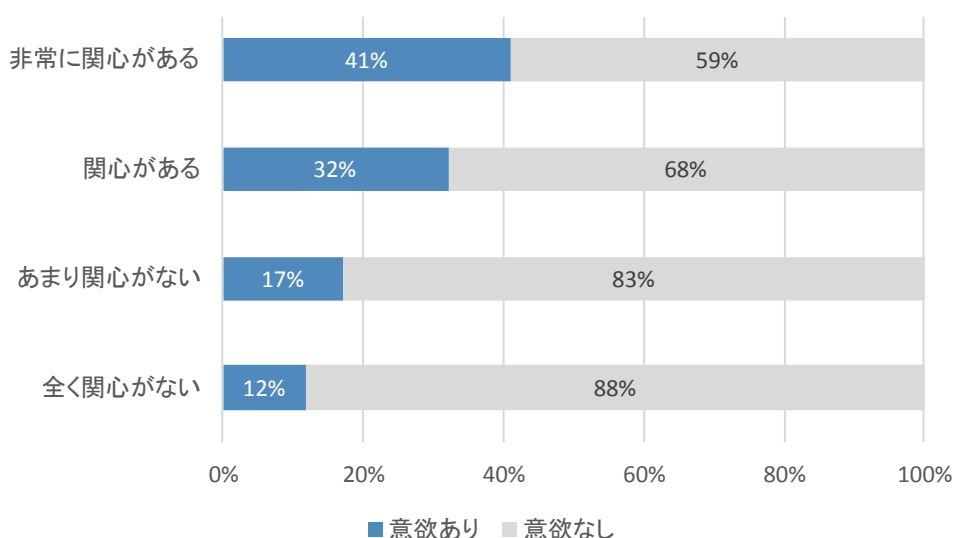
① 【問6 関心度】 安積開拓・安積疏水への関心度を調査



② 【問6：関心がある人のうち、問2 認知度】【問6：関心がない人のうち、問2 認知度】



④ 【問6 関心度×問12 活動意欲】 関心度と日本遺産に関わる活動意欲の関係性

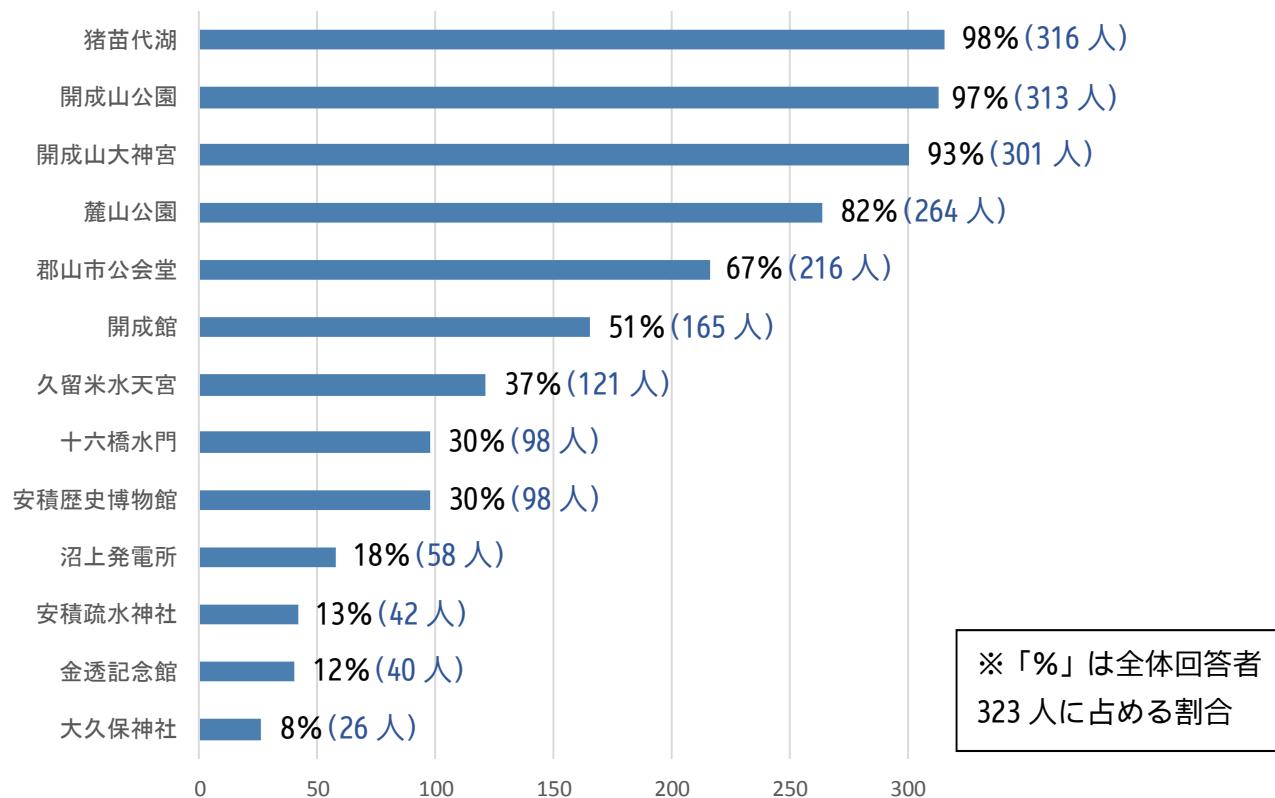


- ① 関心がある人（非常に興味がある+興味がある）は 59%、関心がない人は 41%であった。
- ② 問2 日本遺産認定を認知している人ほど関心度が高まりやすい傾向がある。
- ③ 問12 関心度が高いほど、日本遺産に関わる活動意欲が高まりやすい傾向がある。
- 地域全体で機運を高めるため、引き続き、日本遺産も含めた認知度向上に努めたい。

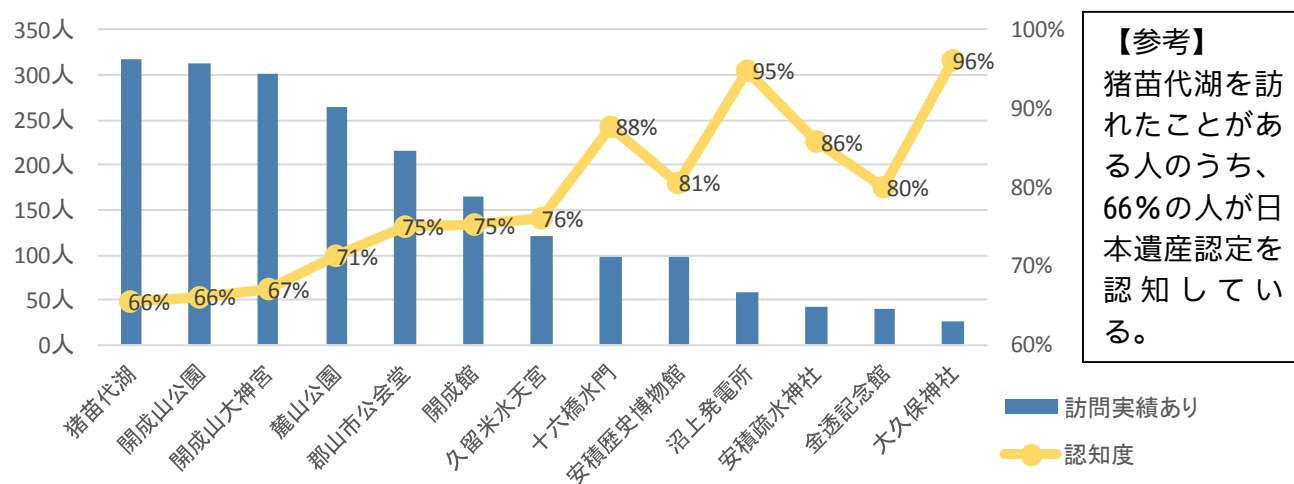
第2章 本市の日本遺産に関する取り組みについて

問7 日本遺産に認定された安積開拓・安積疏水ストーリー（以下、日本遺産ストーリー）は38の文化財で構成されています。構成文化財の中で、実際に訪れたことがある場所はどこですか？（複数選択可）

① 【問7 訪問実績】日本遺産に関係するスポットへの訪問実績を調査



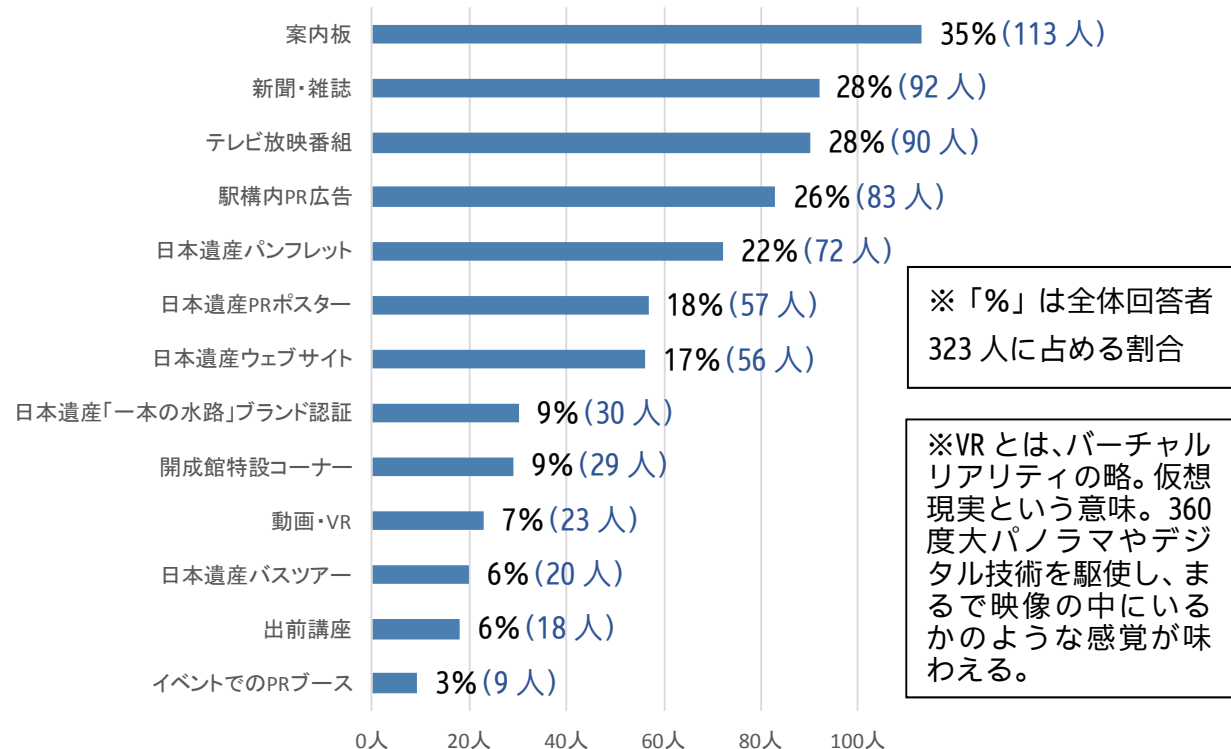
② 【問7 訪問実績×問2 認知度】各スポット訪問実績がある人のうち、どれくらい日本遺産認定を認知しているか



- ① 猪苗代湖、及び開成麓山地区の訪問実績は比較的高い。
安積疏水に限らず、様々な観光的要素が備わっている施設ほど訪問実績が高い傾向にある。
- ② 安積疏水の要素が強い施設ほど、日本遺産認定を認知している人が訪問している。
→訪問実績の多いスポットに安積疏水を感じられる仕掛けづくりが課題となる。

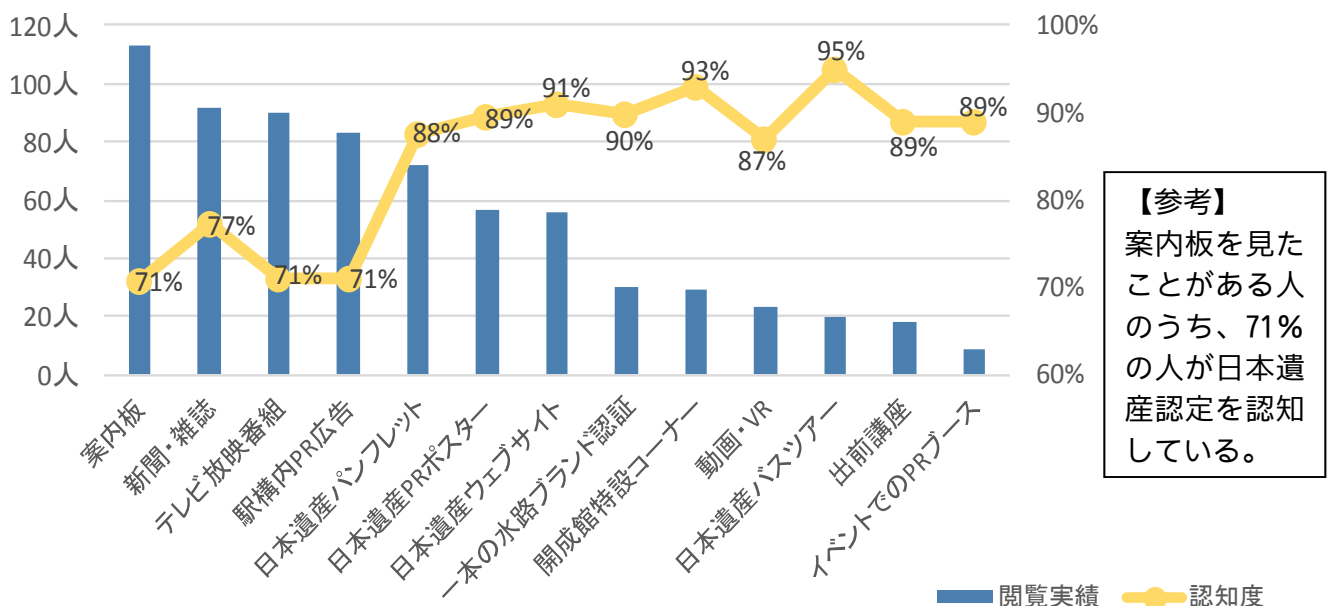
問8「日本遺産ストーリー」に関するPRで、実際に見たことがあるものはありますか？
(複数選択可)

① 【問8 閲覧実績】日本遺産 PR ツールの閲覧実績を調査



② 【問8 閲覧実績×問2 認知度】

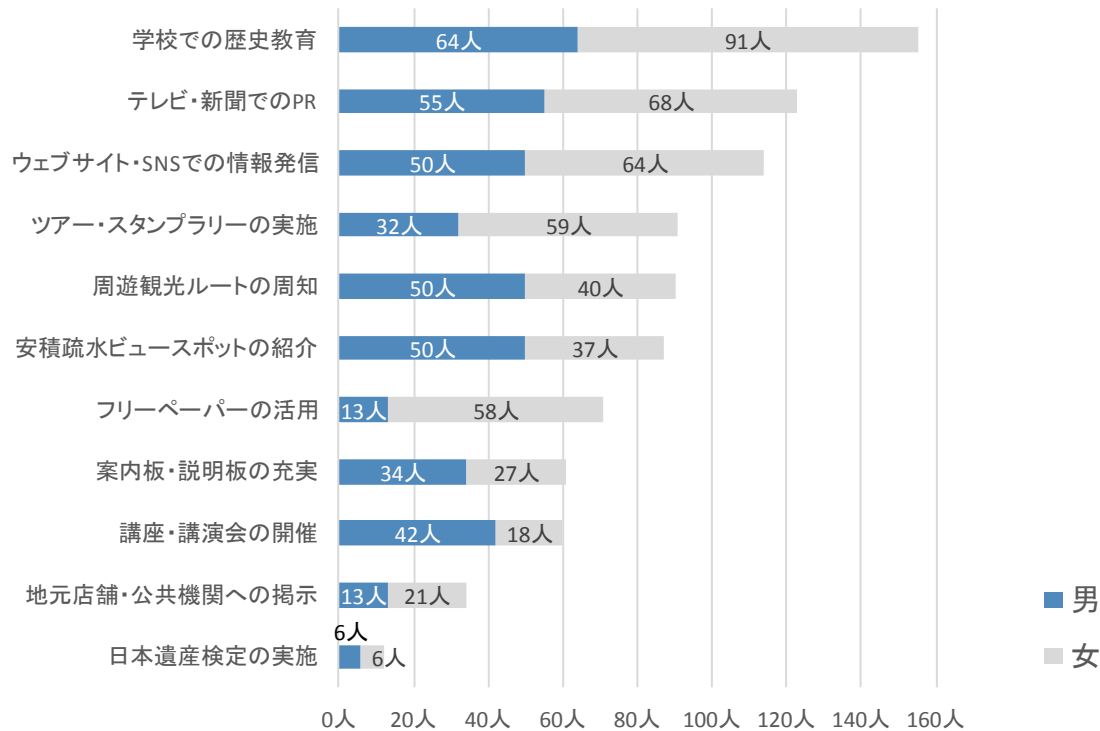
各閲覧実績がある人のうち、どれくらい日本遺産認定を認知しているか



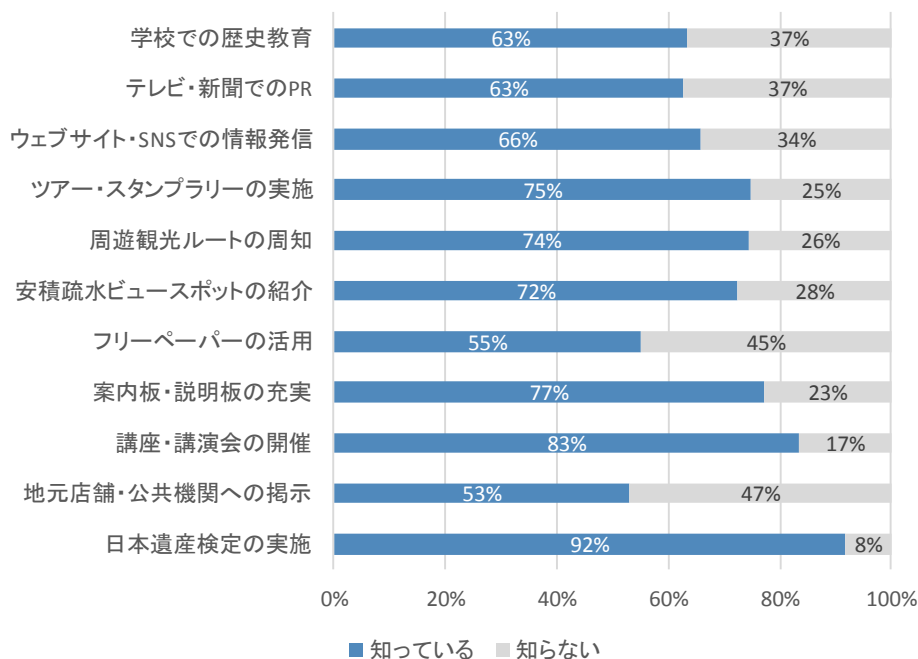
- ① 閲覧実績としては、無意識に目にする案内板や新聞、雑誌等の選択が多かった。
- ② 閲覧実績が少ないものの方が認知度は高くなっている。
- 意識的に閲覧するパンフレットやウェブサイト、開成館などは問2 認知度に繋がっている。
- PR ツールの性質を加味し、認知度向上につながるような仕掛けが必要。

問9 「日本遺産ストーリー」を身近に感じるようになるため、特に取り組んで欲しい事はなんですか？（3つまで選択）

① 【問9 取組要望×性別】 今後の取組要望を性別に比較



② 【問9 取組要望×問2 認知度】 今後の取組要望と日本遺産認定の認知度の関係性



① 取組要望としては、学校での歴史教育が最も多く選択された。

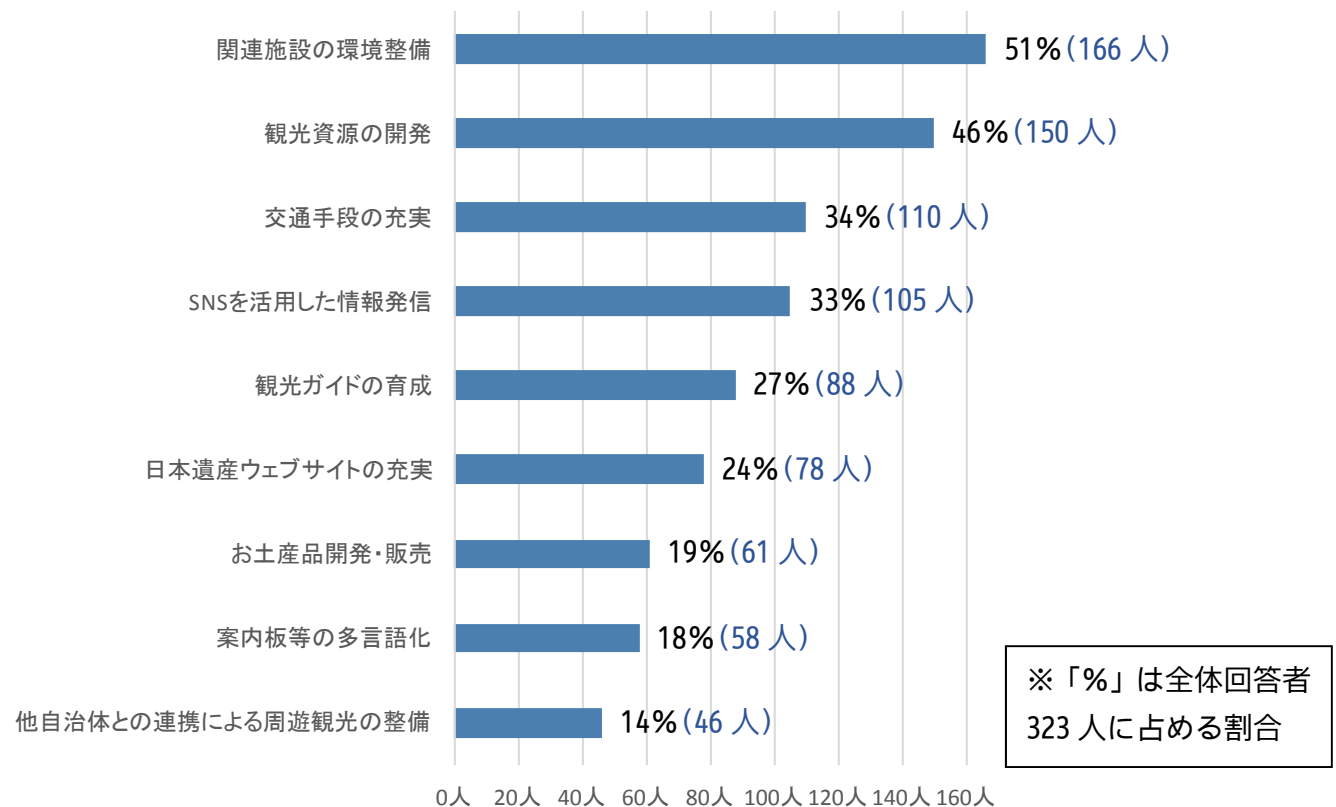
性別でみると、講座の開催では男性の比率が、フリーペーパーでは女性の比率が高かった。

② フリーペーパーや地元施設への掲示では日本遺産認定を知らない人の比率が高かった。

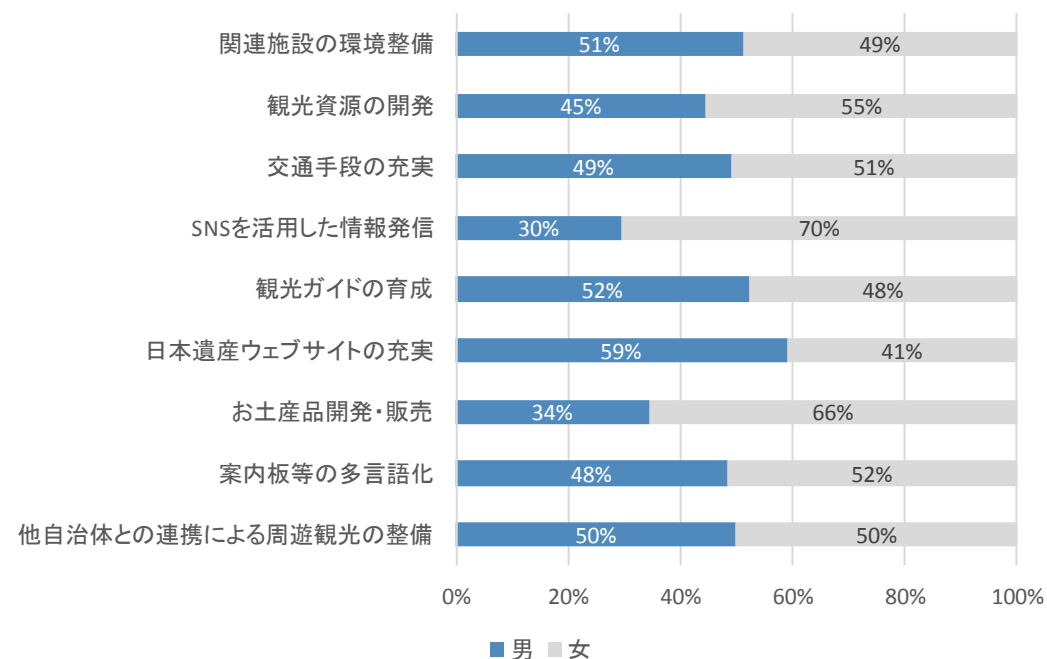
→さらなる郷土愛醸成のため、フリーペーパーや地元店舗等の活用を模索したい。

問 10 「日本遺産ストーリー」を発信し観光誘客に結び付けるため、特に取り組んで欲しい事はなんですか？（3つまで選択）

① 【問 10 取組要望】 今後の観光誘客に関する取組要望を調査



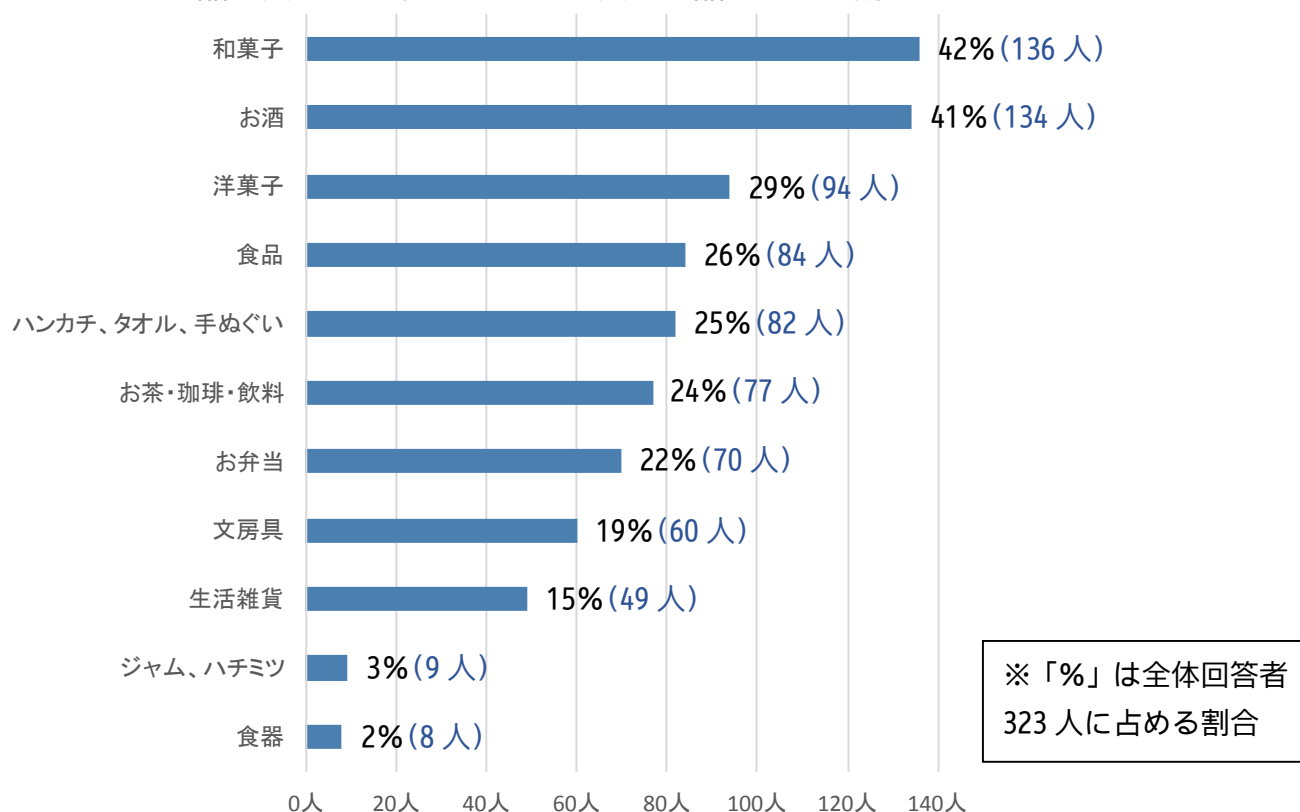
② 【問 10 取組要望×性別】 取組要望の男女比率



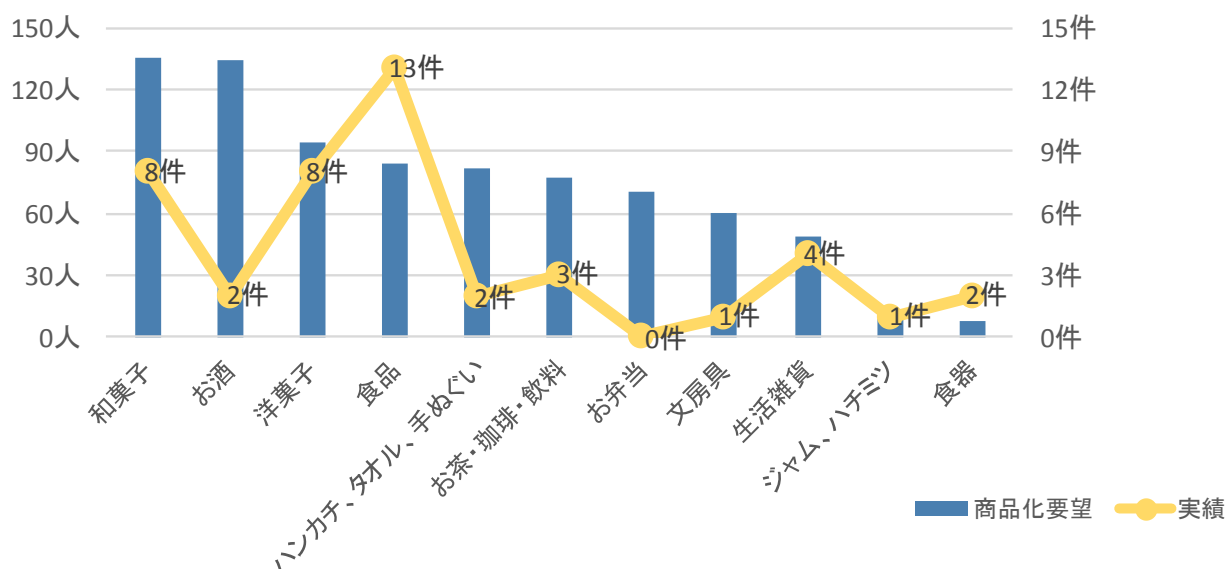
- ① 回答者のうち半数の方が、環境整備や観光資源開発を選択した。
- ② 性別でみると、SNS 発信やお土産品開発は女性からの要望が多かった。
→関連施設の磨き上げにより訴求力を上げることで観光誘客に結び付けたい。

問11 「日本遺産ストーリー」をPRするために、どのような商品であれば効果的だと思いますか？（3つまで選択）

① 【問11 商品化要望】日本遺産PRに必要な商品化の意向調査



② 【問11 商品化要望×関連商品開発実績】商品化の要望と実績を比較

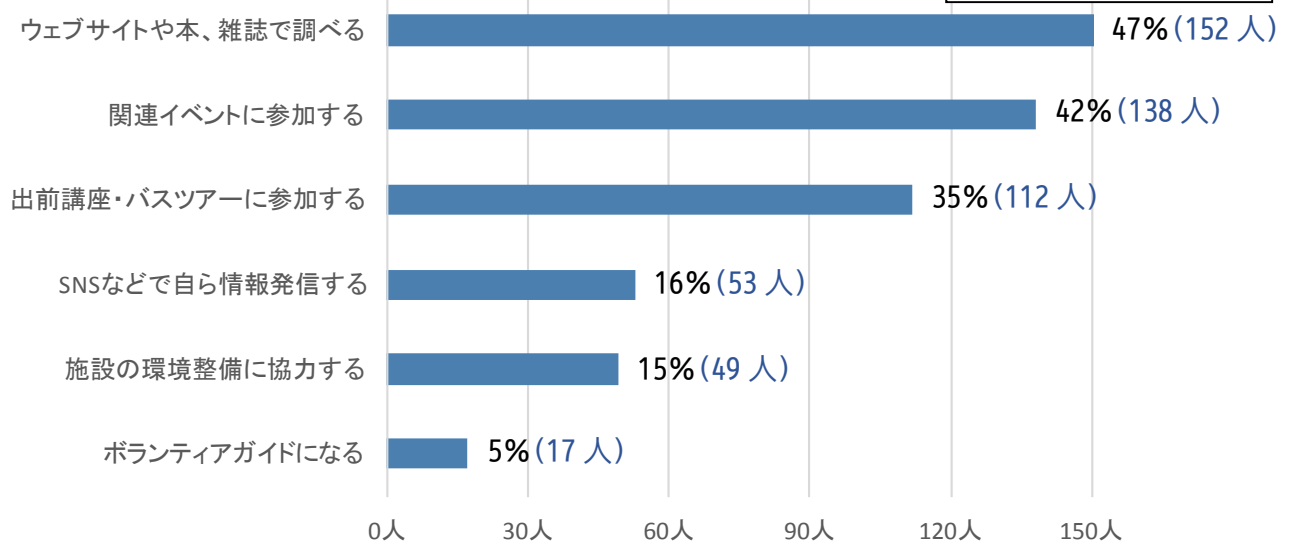


- ① 商品化要望としては、和菓子やお酒、洋菓子の選択が多かった。
 その他意見として、安積疏水の恩恵である水や米に関連した商品化要望が多かった。
- ② 要望と商品化実績を比較すると、お酒やお弁当の商品化が求められている。
 →日本遺産「一本の水路」ブランド認証を活用し、さらなる商品開発に繋げたい。

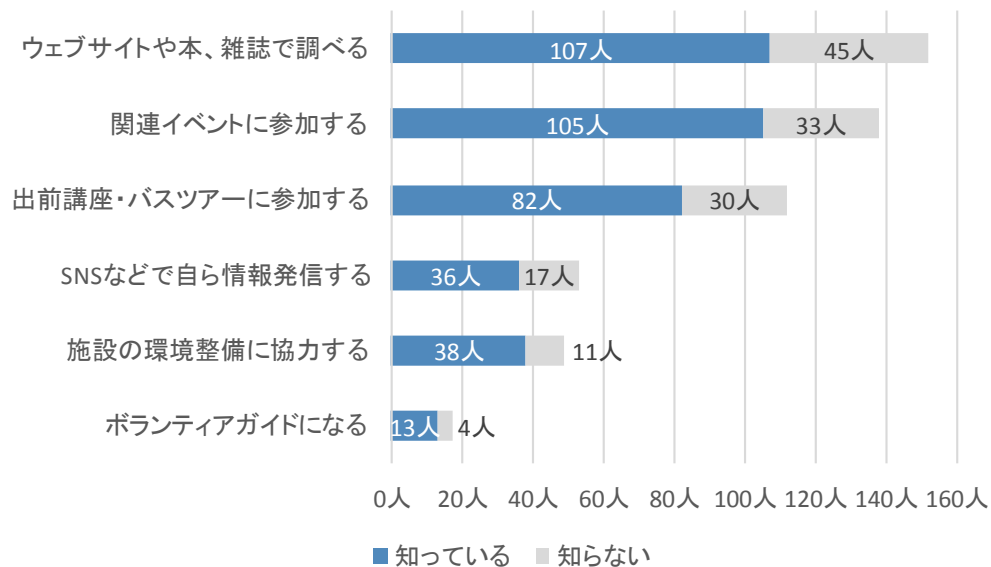
問 12 地域で「日本遺産ストーリー」を盛り上げるために、あなたが取り組んでみたい事がありますか？（3つまで選択）

① 【問 12 活動意欲】 日本遺産に関わる活動意欲を調査

※「%」は全体回答者
323 人に占める割合



② 【問 12 活動意欲×問 2 認知度】 活動意欲と日本遺産認定の認知度の関係性



- ① 活動意欲としては、ウェブサイト検索やイベント等、受動的な活動意欲が高かった。
地域プレイヤーとなり得る情報発信やボランティア等、能動的な活動意欲は低かった。
- ② 日本遺産認定を知っている人ほど活動意欲は比較的高い。
→地域全体で機運を高めるため、引き続き、認知度向上に努めたい。

問13 その他、ご意見がございましたら、ご自由にお書きください。(自由記述)

- ・小学校での学習はとても意義があり、伝えていくことにつながると思います。
学力を伸ばすことも大切ですが、生まれ育った地域を知ることが、誇りを持つことにもつながるのではないかと思います。(50代女性)
- ・小学校で安積開拓を学びました。大人になり友人と開成館に行き、当時の勉強を懐かしく感じていました。内容を知れば知るほど安積開拓は面白いです。関連施設が沢山あるので、勉強した大人向けにマニアックな切り口で再度興味をもたせたらいいと思います。三穂田のコンクリートの水路は最高です。(40代男性)
- ・まちづくりネットモニターに参加することになって「一本の水路」に興味を持ちました。あす初めて市主催のバスツアーに参加します。これを機会に少しでも周囲にも知らせることができるよう行動したいと思いました。(60代女性)
- ・現在、安積疏水の果たしている役割を発信してほしい。(50代男性)
- ・安積開拓や安積疏水の開削の歴史、そして現在利用している実情を、体験できるような遊び心がある施設がほしい。開拓当時の家屋での食事提供や、水路利用した舟遊びなど、特に開成や麓山地区にほしいです。(60代男性)
- ・有料でも、郡山市民を対象としたツアーがあるといいと思う。(70代男性)